EPSON

InterLaser LP-7700

ユーザーズガイド

プリンタドライバの機能説明やプリンタの操作方法、各種トラブルの解決方法について記載しています。

4020012-00

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

使用可能な用紙と給紙方法

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

添付されているフォントについて

オプションと消耗品について

プリンタのメンテナンス

困ったときは

付録

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい（操作）を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語[*1]　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の画面について

本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 98 の画面を使用しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98」のように Windows の表記を省略することがあります。

使用可能な用紙と給紙方法

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などについて説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

本機は、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照してください。

本書 23 ページ「特殊紙への印刷」

また、用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

普通紙	普通紙 再生紙 *1	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙または再生紙です。 紙厚は 60 〜 90g/m² の範囲内のものをお使いください。
	レターヘッド *2 (プレプリント紙)	罫線や会社のロゴなどが印刷された紙です。モノクロレーザープリンタ、またはカラーレーザープリンタやインクジェットプリンタなどで一度印刷した用紙をプレプリント紙として使用することはできません。
	色つき *2	色上質紙など用紙全体が染められている用紙です。カラーレーザープリンタやインクジェットプリンタなどで印刷された用紙や表面にコーティングされている用紙は使用しないでください。
特殊紙	官製ハガキ *3	官製ハガキが使用可能です。往復ハガキの場合は、中央に折り跡のないものをお使いください。
	封筒 *5	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号 /4 号、長形 3 号、角形 2 号です。これ以外のサイズの洋形封筒に印刷するときは、ユーザー定義サイズを設定してください。紙厚が 85g/m² のものをお勧めします。
	ラベル紙	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	OHP シート	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートをお使いください。
	不定形紙	用紙幅が 87 〜 297mm、用紙長が 100 〜 508mm、紙厚が 60 〜 135g/m² の範囲内のものをお使いください。
	厚紙	紙厚が90〜 135g/m² *4の範囲内の用紙(ケント紙を含む)をお使いください。
	長尺紙	用紙サイズ 297mm × 508 〜 900mm、紙厚 60 〜 135g/m² の範囲内のものをお使いください。

*1 再生紙は、一般の室温環境下(温度 15 〜 25 度、湿度 40 〜 60%)以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 耐熱温度 210 度以下でインクなどが変質・変色する用紙は使用しないでください。

*3 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
本書233 ページ「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」
また、四面連刷ハガキは使用できません。

*4 厚紙の用紙厚は 90g/m² を超えて 135g/m² 以下のものを指しますが、本書では「90 〜135g/m²」という記載をしています。

*5 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

- 紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、官製ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷した後の用紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で一度印刷した後の裏紙
- カラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙

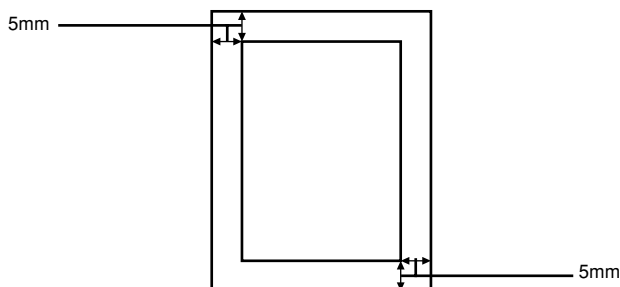
給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる（59g/m^2 以下）用紙、厚すぎる（官製ハガキ（190g/m^2）以外の 136g/m^2 以上）用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

耐熱温度 210 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙
- アイロンプリント紙

印刷できる領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷できます。

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

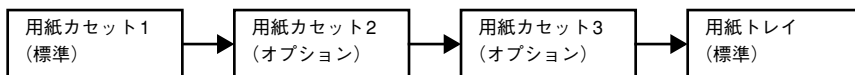
給紙装置と用紙のセット方法

セットできる用紙サイズと容量

給紙装置		使用できる用紙	容量	用紙サイズ （　）内は、プリンタドライバでの表記です。
標準	用紙トレイ*1	普通紙	200 枚*3	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）*5、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4、不定形紙
		厚紙	10 枚*4	
		ラベル紙	75 枚	
		OHP シート		
		封筒*6	10 枚	洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号
		長尺紙	1 枚	297 × 508 ～ 900mm
		官製ハガキ	50 枚	100 × 148mm
		往復ハガキ		148 × 200mm
	用紙カセット*2	普通紙	250 枚*3	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
オプション	ユニバーサルカセットユニット（LPUC2）	普通紙	250 枚*3	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
	大容量カセットユニット（LPDC7）	普通紙	500 枚*3	A4
	用紙カセット*7（LPYC6）	普通紙	250 枚*3	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）

*1 用紙トレイにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（↓表示）までです。
*2 用紙カセットにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（↑表示）までです。
*3 64g/m^2 の場合です。
*4 135g/m^2 の場合です。
*5 ［トレイ紙サイズ］スイッチまたは［カセット紙サイズ］スイッチでは［LG14”］に設定します。
*6 定形サイズ以外の封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで使用する封筒のサイズを設定して使用してください。
*7 標準の用紙カセットまたはオプション（LPUC2）の用紙カセットと差し替えて使用します。

給紙装置の優先順位

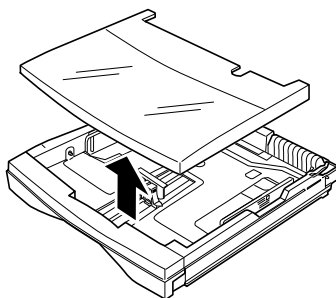
プリンタドライバの設定で給紙装置を［自動］（初期設定）にすると、プリンタはドライバで設定された用紙サイズおよび用紙タイプが一致する用紙がセットされている給紙装置を次の順序で検索し、給紙します。

すべての給紙装置に印刷するデータの用紙サイズの用紙をセットすれば標準で 450 枚（用紙カセット 1 ＋用紙トレイ）、オプションの給紙装置（LPDC7 × 2 段）を装着すると最大 1450 枚が連続給紙ができます。

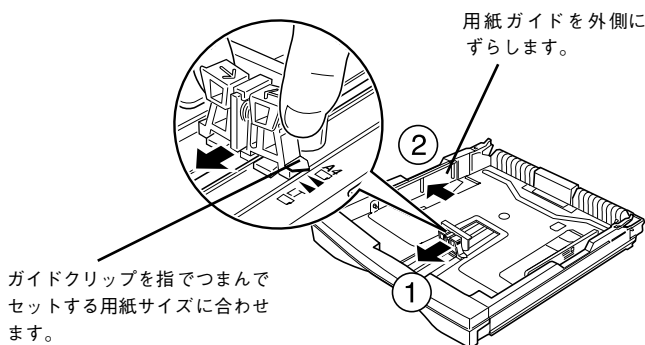
用紙カセットへの用紙のセット

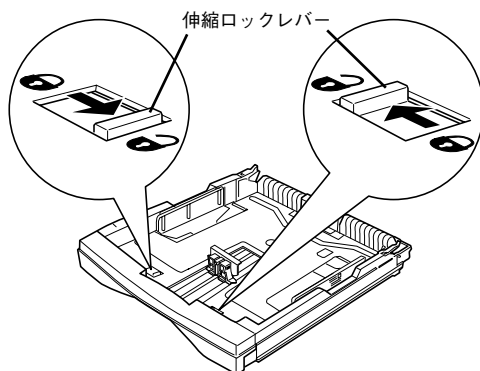
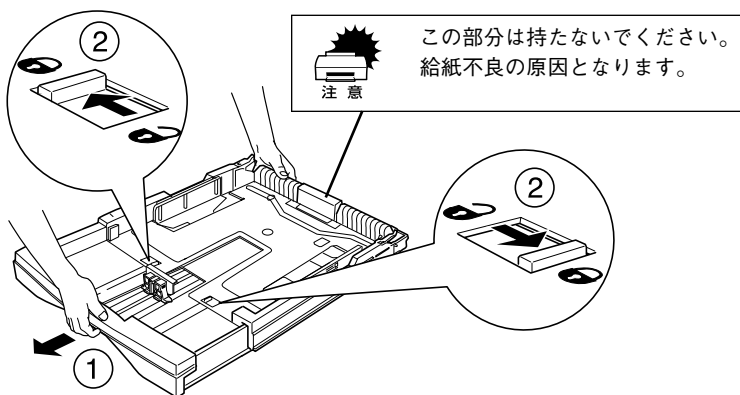
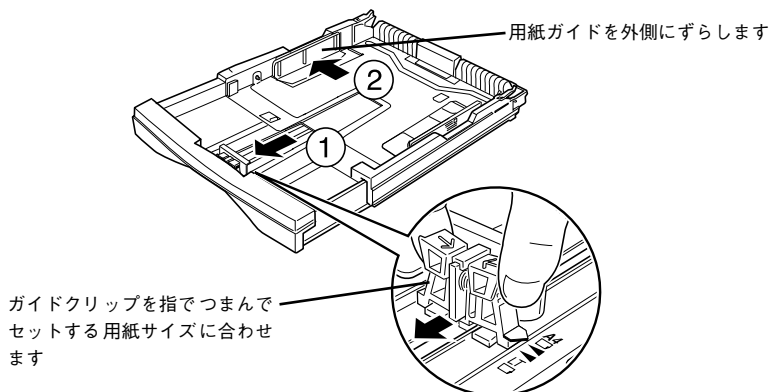
ここでは、標準装備の用紙カセットへの用紙のセット方法を説明します。

用紙カセットにセットできる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。

本書 13 ページ「セットできる用紙サイズと容量」

1. 用紙カセットのカバーを取り外します。

2. ガイドクリップ、用紙ガイドをずらします。

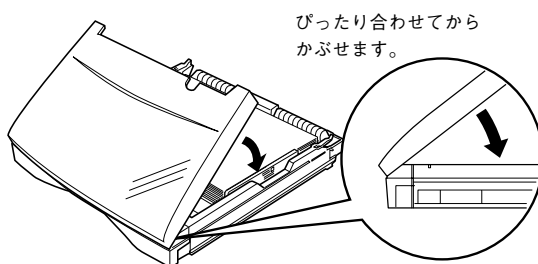
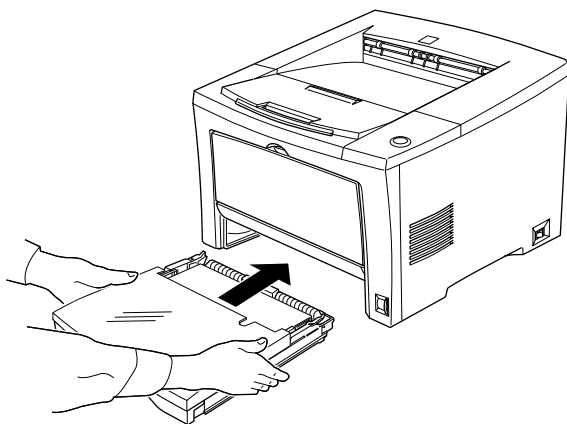
- A5、B5、A4、Letter（LT）サイズの用紙の場合：

- B4、A3、Legal（LGL）サイズの用紙の場合：

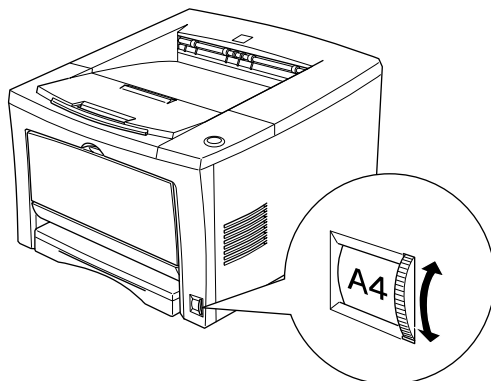
① 用紙カセットの左右の伸縮ロックレバーをアンロック（🔓）位置にします。

② 用紙カセット伸縮部をいっぱいに引き出し、左右の伸縮ロックレバーをロック（🔒）位置にします。

③ ガイドクリップ、用紙ガイドをずらします。

3 用紙をセットし、用紙ガイドを用紙の側面に合わせます。

A5、B5、A4、Letter サイズの用紙は横長にセットします。	B4、A3、Legal サイズの用紙は縦長にセットします。

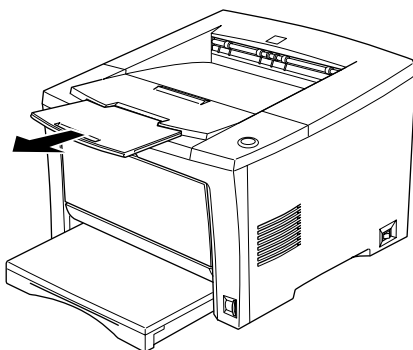
どちらの場合も、用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。用紙は最大 250 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。最大枚数を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

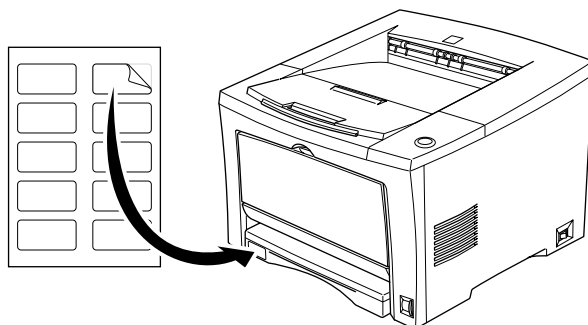
4 **用紙カセットにカバーを取り付けます。**

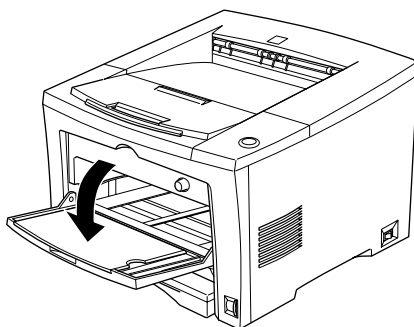
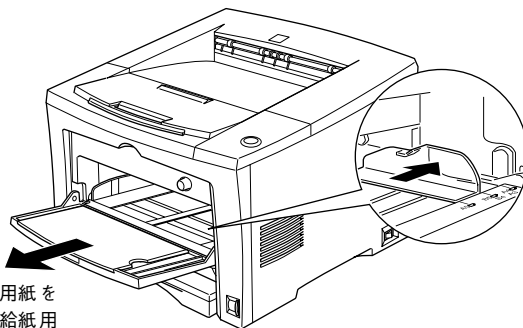
用紙カセットの側面にカバーをぴったり合わせてカバーをかぶせます。

5 **用紙カセットをプリンタに差し込みます。**

6 **［カセット紙サイズ］スイッチをセットした用紙サイズに設定します。**

設定できる用紙サイズは、A4、A3、A5、B4、B5、Letter、Legal（LG14"）です。

本機ではセットした用紙のサイズを［カセット紙サイズ］スイッチの設定値から検知します。［カセット紙サイズ］スイッチはセットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。

印刷中は［カセット紙サイズ］スイッチを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。

7 **B4 以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙用延長トレイを引き出します。**

8 **用紙サイズ表示ラベルをカセット前面に貼り付けます。**

本機には、用紙サイズシールが同梱されています。セットした用紙サイズのシールを用紙カセットや用紙トレイに貼ってご利用ください。

用紙トレイへの用紙のセット

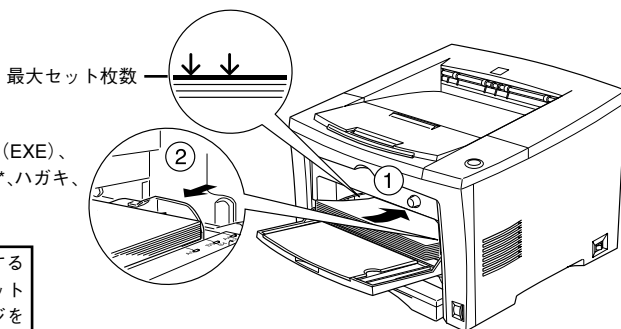
1 用紙トレイを開きます。

2 用紙ガイドを外側にずらします。

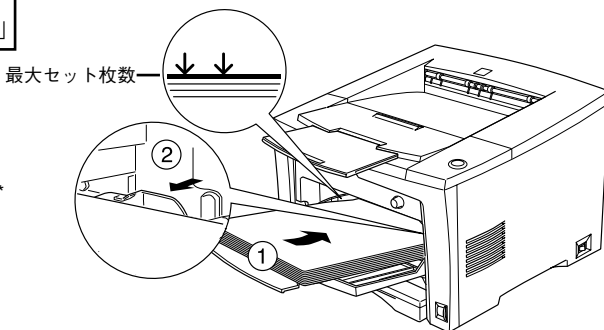
3 印刷する面を上にして用紙をセットし、用紙ガイドを合わせます。

用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く当たるまで入れます。

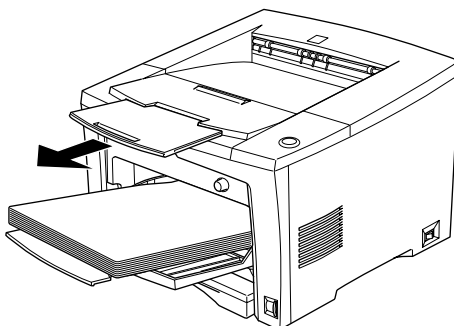
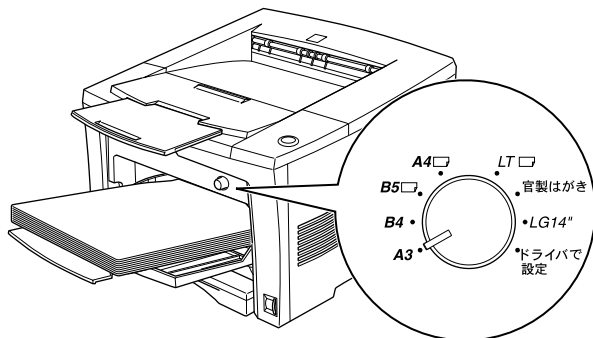
横長にセットする用紙：

A4、A5、B5、Letter（LT）、
Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、
Government Letter(GLT)、封筒*、ハガキ、
往復ハガキ

* 封筒は種類によってセットする方向が異なります。封筒のセット方向については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 25 ページ「封筒への印刷」

縦長にセットする用紙：

A3、B4、Legal（LGL）、
Government Legal（GLG）、
Ledger（B）、F4、長尺紙、封筒 *

- 最大 200 枚（普通紙 64g/m²）セットできます。
- 長尺紙に印刷する場合は、用紙に手を添えて給紙するようにしてください。

4 セットした用紙のサイズに応じて、排紙用延長トレイを引き出します。

B4 以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙用延長トレイを引き出します。

5 ［トレイ紙サイズ］スイッチを、セットした用紙のサイズに合わせて設定します。

セットした用紙のサイズが、［トレイ紙サイズ］スイッチの設定値にない場合は、［トレイ紙サイズ］スイッチを［ドライバで設定］に合わせ、プリンタドライバ（Windows）またはEPSONリモートパネル！（Macintosh）で設定します。

Windows：本書63ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
Macintosh：本書172ページ「［設定］ダイアログ」

ポイント

- 不定形紙、長尺紙をセットした場合は［トレイ紙サイズ］スイッチを［ドライバで設定］に合わせますが、プリンタドライバやEPSONリモートパネル！での設定は必要ありません。
- ［トレイ紙サイズ］スイッチを［ドライバで設定］にしない場合、プリンタドライバやEPSONリモートパネル！の設定は有効になりません。

注意

印刷中は［トレイ紙サイズ］スイッチを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキや封筒など、特殊紙への印刷方法について説明します。

両面印刷ユニットを装着して両面印刷を行う場合、特殊紙への両面印刷はできません。

ハガキへの印刷

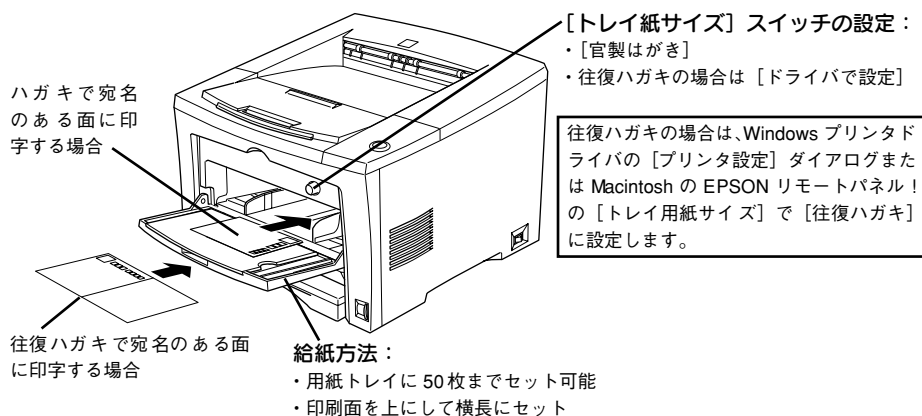
ハガキに印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

以下のハガキは使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンタ用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷したハガキ
- カラーレーザープリンタやカラー複写機で印刷した後のハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキ、四面連刷ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 中央に折り跡のある往復ハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。万一給紙できなくなった場合は、以下のページを参照して給紙ローラをクリーニングしてください。
  本書 233 ページ「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」

［トレイ紙サイズ］スイッチの設定：
・［官製はがき］
・往復ハガキの場合は［ドライバで設定］

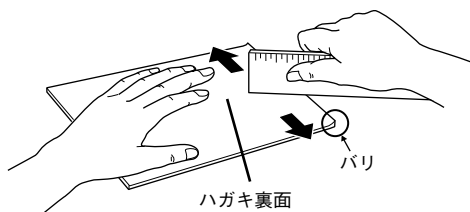
往復ハガキの場合は、Windows プリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログまたは Macintosh の EPSON リモートパネル！の［トレイ用紙サイズ］で［往復ハガキ］に設定します。

給紙方法：
・用紙トレイに 50 枚までセット可能
・印刷面を上にして横長にセット

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
官製ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[ハガキ 100 × 148mm]
			給紙装置	[用紙トレイ]
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
往復ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[往復ハガキ 148 × 200mm]
			給紙装置	[用紙トレイ]
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		プリント	給紙装置	[用紙トレイ]

- ハガキあるいは往復ハガキを選択した場合、プリンタドライバの[用紙種類]の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面(または表面)に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。

ハガキの「バリ」除去について

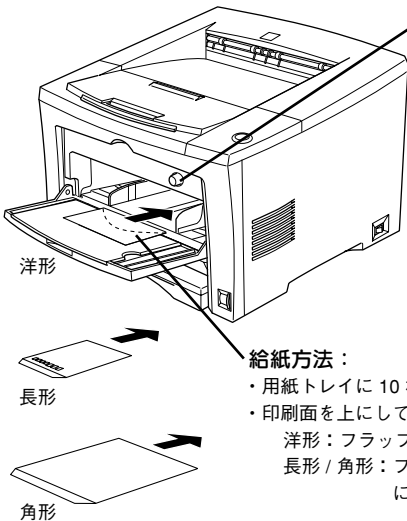
ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1~2回こすり、「バリ」を除去します。

「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。
☞本書 233 ページ「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」

封筒への印刷

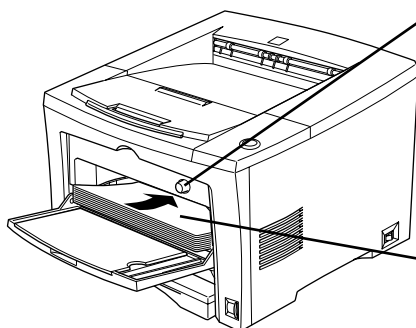
封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

以下の封筒は使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷した封筒
- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 宛名用窓付きの封筒

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［洋形 0］［洋形 4］［長形3］［角形 2］
		給紙装置	［用紙トレイ］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［洋形 0］［洋形 4］［長形3］［角形 2］
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］

- 本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形0号/4号、長形3号、角形2号です。定形サイズ以外の封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで、使用する封筒のサイズを設定してください。
- 封筒を選択した場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 印刷効果が思う向きにならない場合は、［逆方向から印刷］（Windows プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログ）/［180 度回転印刷］（Macintosh プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログ）をご利用ください。

厚紙への印刷

厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

［トレイ紙サイズ］スイッチの設定：
使用する用紙サイズに合わせ設定

［トレイ紙サイズ］スイッチを［ドライバで設定］に合わせた場合は、Windows プリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログまたは Macintosh の EPSON リモートパネル！の［トレイ用紙サイズ］で使用する用紙サイズを設定します。

給紙方法：
・用紙トレイに 10 枚（135g/m²）までセット可能
・印刷面を上にしてセット

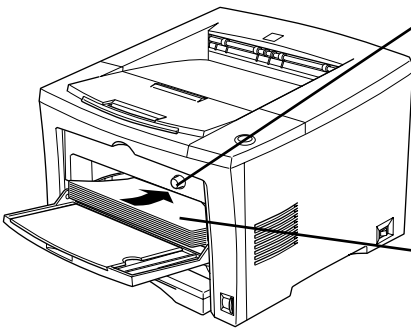
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙］

135g/m² 以下の厚紙を使用してください。

ラベル紙への印刷

ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙

［トレイ紙サイズ］スイッチの設定：
使用する用紙サイズに合わせ設定

［トレイ紙サイズ］スイッチを［ドライバで設定］に合わせた場合は、Windows プリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログまたは Macintosh の EPSON リモートパネル！の［トレイ用紙サイズ］で使用する用紙サイズを設定します。

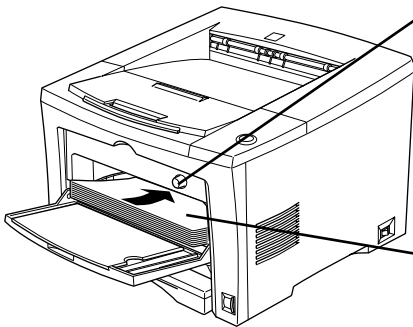
給紙方法：
・用紙トレイに 75 枚までセット可能
・ラベルが貼ってある面を上にセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［ラベル］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［ラベル］

- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙を使用してください。
- 紙が厚い（90 ～ 135g/m^2）場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
  本書 26 ページ「厚紙への印刷」

OHP シートへの印刷

OHP シートの品質は、製造メーカーによって異なります。大量の OHP シートを購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなりますのでご注意ください。
- カラー複写機やカラーページプリンタ / インクジェットプリンタ専用のOHP シートは使用しないでください。故障の原因となります。

［トレイ紙サイズ］スイッチの設定：
使用する用紙サイズに合わせ設定

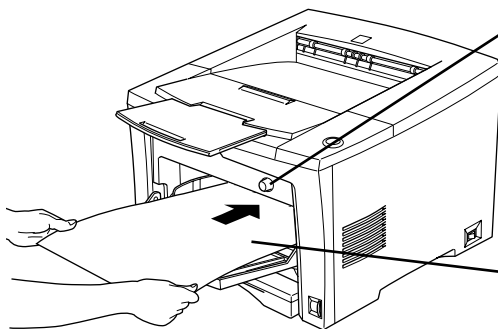
［トレイ紙サイズ］スイッチを［ドライバで設定］に合わせた場合は、Windows プリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログまたは Macintosh のEPSON リモートパネル！の［トレイ用紙サイズ］で使用する用紙サイズを設定します。

給紙方法：
・用紙トレイに 75 枚までセット可能
・印刷面を上にしてセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］

- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートを使用してください。
- OHPシートに付属している説明書などで裏表を確認してください。裏表がある場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- OHP シートは、種類によって用紙厚が異なります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。

長尺紙への印刷

裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。斜めに給紙されるなど給紙不良の原因になります。

トレイ紙サイズスイッチの設定：
［ドライバで設定］

Windowsプリンタドライバまたは Macintoshの EPSON リモートパネル！で、トレイにセットする用紙サイズを設定する必要はありません。

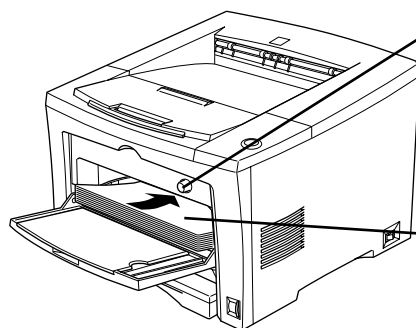
給紙方法：
・用紙トレイに 1 枚セット可能
・印刷する面を上にしてセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］

- 印刷する面を上に向けて、1 枚ずつ手で支えて給紙してください。
- 紙が厚い（90 ～ 135g/m^2）場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。
- 印刷内容によっては、メモリの不足で印刷できないことがあります。この場合は、メモリを増設してください。
  本書 206 ページ「増設メモリの取り付け」
- 印刷する文書は、縦向きに印刷する時は下余白を 15mm 以上、横向きに印刷する時は右余白を 15mm 以上あけて作成してください。
- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、長尺紙への印刷はできません。
- プリンタドライバ上の［印刷品質］は［はやい］（300dpi）に固定されます。

不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは以下の通りです。

- 用紙幅：8.70 ～ 29.70cm（3.43 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長：10.00 ～ 90.00cm（3.94 ～ 35.43 インチ）

［トレイ紙サイズ］スイッチの設定：
［ドライバで設定］

Windows プリンタドライバまたはMacintosh のEPSON リモートパネル！で、トレイにセットする用紙サイズを設定する必要はありません。

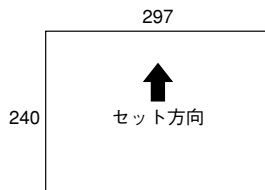
給紙方法：
・用紙トレイにセット
（セット枚数は用紙種類によって異なります）
・印刷面を上にしてセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］

ポイント

- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。
- 紙が厚い（90 ～ 135g/m^2）場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
  本書 26 ページ「厚紙への印刷」
- 用紙のセット方向は、ユーザー定義サイズで設定した通りにプリンタにセットしてください。

<例>ユーザー定義サイズを「240 x 332mm」に設定した場合

<例>ユーザー定義サイズを「297 x 240mm」に設定した場合

用紙タイプ選択機能

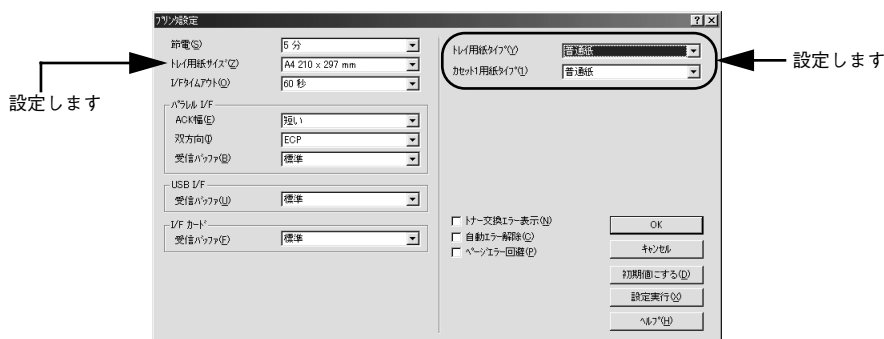
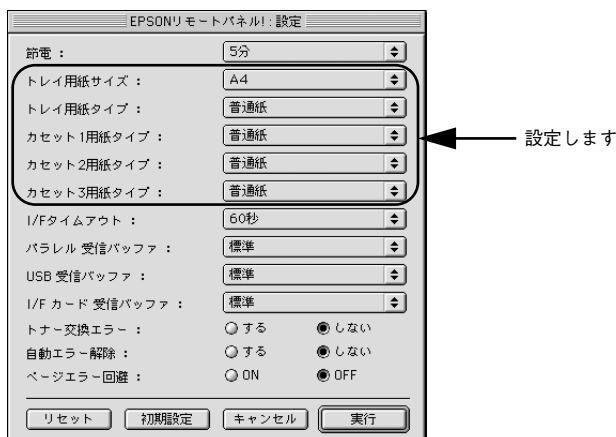
各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定しておくことで、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぐことができます。

1 各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。

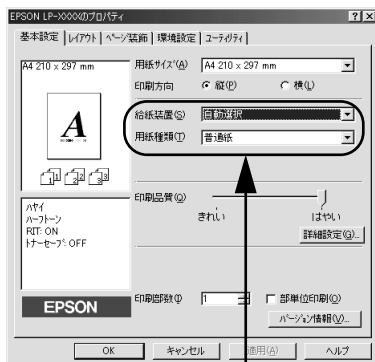
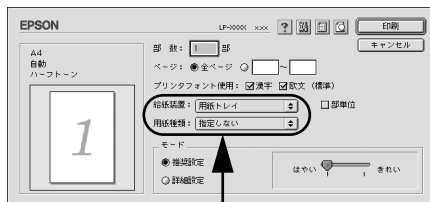
設定値：普通紙 / レターヘッド / 再生紙 / 色つき /OHP シート*/ ラベル*

* 用紙カセットの場合は、OHP シート、ラベルは選択できません。

プリンタドライバまたはユーティリティから設定します。

- Windows の場合は、［プリンタ設定］ダイアログの［用紙タイプ］で設定します。
本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

- Macintosh の場合は、EPSON リモートパネル！の［用紙タイプ］で設定します。
本書 169 ページ「EPSON リモートパネル！」

2 **印刷実行時にプリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定し、［用紙種類］の中から、印刷したい用紙のタイプを選択します。**

印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

Windows［基本設定］ダイアログ

Macintosh［プリント］ダイアログ

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報について説明しています。

プロパティの開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、この方法で設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。標準的な方法は、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックして [印刷] ダイアログを表示させ、[プロパティ] ボタンをクリックします。

[プリンタ] フォルダからの開き方

[プリンタ] フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定および管理と新しいプリンタの追加が実行できます。[プリンタ] フォルダでのプリンタドライバの設定値は、アプリケーションソフトからプリンタドライバを開いた際の初期値になります。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせてから、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタ] フォルダ内のお使いのプリンタのアイコンを右クリックしてから、Windows 95/98/Me の場合は [プロパティ] を、Windows NT4.0 の場合は [ドキュメントの既定値] を、Windows 2000 の場合は [印刷設定] をクリックします。

Windows NT4.0/2000 の場合、プリンタに装着したオプションを設定したり、フォントの置き換えを設定するときは、[プロパティ] を選択する必要があります。プリンタドライバの設定値を変更する場合、Windows NT4.0 では Power Users 以上の権限で [ドキュメントの既定値] を選択してください。Windows 2000 の場合は、Users（制限ユーザー）以上の権限で [印刷設定] を選択してください。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷に関わる基本的な設定を行うには、以下のページを参照してください。

☞ 本書 36 ページ「[基本設定] ダイアログ」

レイアウトの設定

拡大 / 縮小印刷や割り付け印刷など、レイアウトに関する設定を行うには、以下のページを参照してください。

☞ 本書 43 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

ページ装飾

スタンプマークを重ねて印刷したり、日付やユーザー名を印刷したり、さらにオプションのフォームオーバーレイユーティリティを使ってあらかじめ作成したフォームを重ねて印刷するには、以下のページを参照してください。

☞ 本書 50 ページ「[ページ装飾] ダイアログ」

プリンタの環境設定

プリンタに装着したオプションを認識させたり、ステータスシートを印刷したり、またプリンタの動作環境を設定するには、以下のページを参照してください。

☞ 本書 59 ページ「[環境設定] ダイアログ」

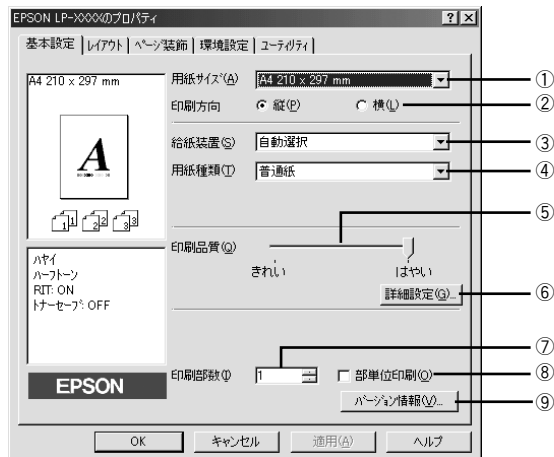
ユーティリティの起動

プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動するには、以下のページを参照してください。

☞ 本書 74 ページ「[ユーティリティ] ダイアログ」

［基本設定］ダイアログ

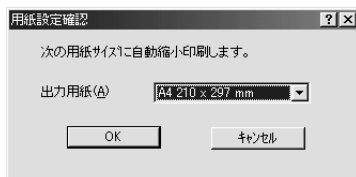
プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印［▲］［▼］をクリックして表示させてください。

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。

自動縮小印刷：

プリンタがサポートするサイズより大きい A3 ノビ、A3W（ノビ）、A2 を選択した場合、［用紙設定確認］ダイアログが開きます。このダイアログの［出力用紙］で選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：
［用紙サイズ］リストにない用紙サイズは、［ユーザー定義サイズ］を選択して［用紙サイズ定義］ダイアログを開いて設定できます。
本書 41 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

② 印刷方向
印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。

③ 給紙装置
給紙装置を選択します。

自動選択：
印刷実行時に、［用紙サイズ］と［用紙種類］の設定に合った用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。

用紙トレイ：
用紙トレイから給紙する場合に選択します。

用紙カセット 1：
標準の用紙カセットから給紙する場合に選択します。

用紙カセット 2 ～ 3：
オプションの増設カセットユニット（ユニバーサルカセットユニットまたは大容量カセットユニット）にセットしている用紙カセットから給紙する場合に選択します。オプションの用紙カセットは、上から２～３の番号が割り当てられています。

- 用紙トレイにセットした用紙のサイズは、プリンタ本体の［トレイ紙サイズ］スイッチで必ず設定してください。また、［トレイ紙サイズ］スイッチに表示のない用紙サイズを使用する場合は、［トレイ紙サイズ］スイッチを［ドライバで設定］に合わせ、プリンタドライバで設定します。
  本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
  本書 67 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書 43 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

④用紙種類

特殊紙（OHP シート、ラベル紙、厚紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。

本書 31 ページ「用紙タイプ選択機能」

項目	説明
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。「給紙装置」は［自動選択］に設定されます。
OHP シート、ラベル、厚紙	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］は［用紙トレイ］に設定されます。
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。

ポイント

- プリンタドライバで用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
- 用紙サイズをハガキ、往復ハガキ、または封筒にした場合は、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なくプリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑤印刷品質

印刷品質（解像度）は、［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

- ［はやい］：文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
- ［きれい］：写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。

ポイント

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。

⑥［詳細設定］ボタン

グラフィックの印刷方法、RIT（輪郭補正機能）、トナーセーブ、高速グラフィックを設定するには、［詳細設定］ボタンをクリックして、［詳細設定］ダイアログを開きます。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 39 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

⑦印刷部数

印刷する部数（1 ～ 999）を設定します。

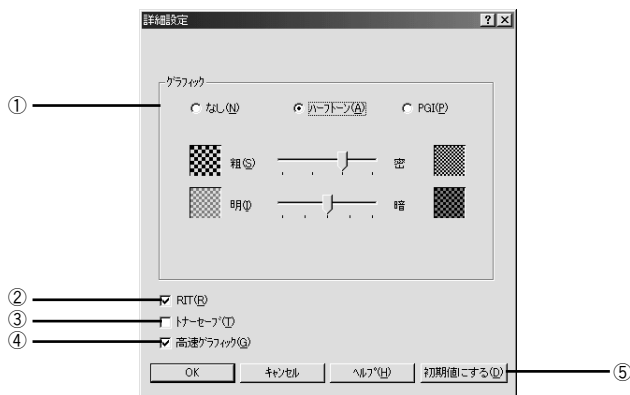
⑧部単位印刷

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［印刷部数］で指定します。

アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［部単位印刷］で設定してください。

⑨［バージョン情報］ボタン
プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［詳細設定］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［詳細設定］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。印刷条件の詳細な設定ができます。

①グラフィック
グラフィックの印刷方法を設定します。

なし：
グラフィックの印刷処理を行いません。グレイスケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。

ハーフトーン：
グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

PGI：
PGI*1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を PGI 処理してきれいに印刷できます。

*1　PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

- プリンタのメモリが少ないと、[PGI] で印刷できない場合があります。[PGI] 処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [はやい] (300dpi) に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[PGI] を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は [PGI] 以外の設定にして印刷してください。

粗密：

[ハーフトーン] または [PGI] 選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 4 段階に調整できます。[密] 側にスライドするとより細かく、[粗] 側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

[密] にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になります。コピーをする場合は、[密] にしないで印刷することをお勧めします。

明暗：

[ハーフトーン] または [PGI] 選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[明] 側にスライドするとより明るく、[暗] 側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。

② RIT

[RIT] [*1] (Resolution Improvement Technology) を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の輪郭補正機能です。

RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に階調が変化する画像）を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

③ トナーセーブ

文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約（トナーセーブ）します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

④ 高速グラフィック

グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷する機能です。

グラフィックが正常に印刷されなかった場合はチェックを外してください。

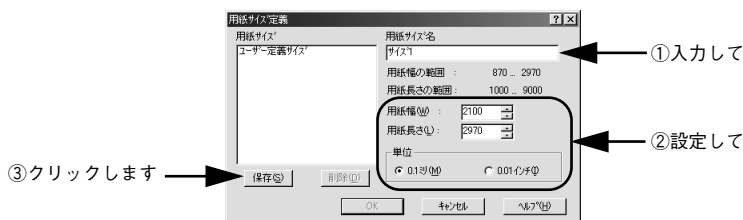
⑤ [初期値にする] ボタン

[詳細設定] ダイアログの設定を初期値に戻します。

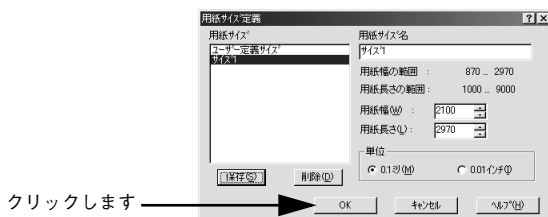
任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

1 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

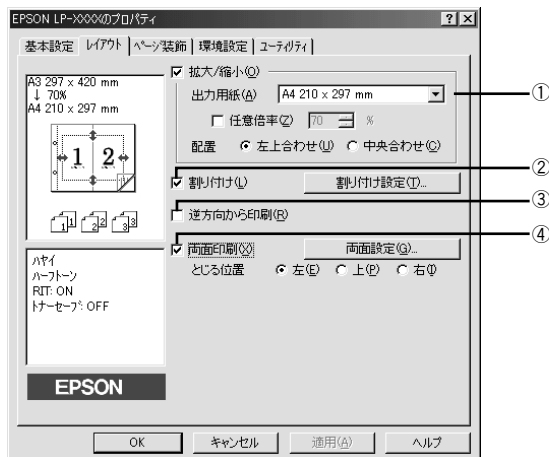
2 **登録名を［用紙サイズ名］に入力し、［単位］、［用紙幅］、［用紙長さ］を設定してから［保存］ボタンをクリックします。**

設定できるサイズの範囲は以下の通りです。
用紙幅：8.70 ～ 29.70cm（3.43 ～ 11.69 インチ）
用紙長：10.00 ～ 90.00cm（3.94 ～ 35.43 インチ）

- 登録できる用紙サイズの数は20までです。
- ［用紙長］の最大値は、［基本設定］ダイアログの［印刷品質］の設定によって異なります。［きれい］で印刷できる用紙長の最大値は50.80cm（20.00インチ）となります。50.80cmを超える用紙長の用紙に印刷する場合の印刷品質は［はやい］に固定となります。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択して保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

- 定義した用紙サイズは［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。
- 不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書30ページ「不定形紙への印刷」

［レイアウト］ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

<例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。詳しくは以下のページを参照してください。

☞ 本書 44 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

②割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け設定］ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。

☞ 本書 45 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

割り付け機能と両面印刷の製本機能を同時に設定して印刷することはできません。

③逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択できます。チェックマークを付けると、両面印刷を行います。両面印刷時の［とじる位置］は、［左］、［上］、［右］いずれかにチェックマークを付けます。また、製本印刷の設定も行えます。製本印刷とは、1 枚の用紙の両面にそれぞれ 2 ページずつ印刷をし、まとめて 2 つ折りにすることで本のように 1 ページ目から順番にとじることができるように配置して印刷することです。詳しくは以下のページを参照してください。

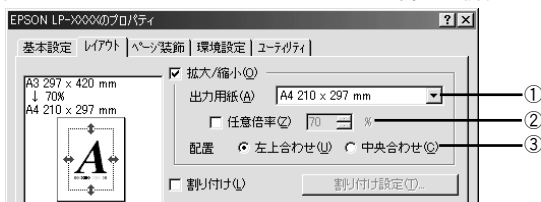
本書 47 ページ「両面印刷 / 製本印刷をするには」

両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。

- 両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できるのは、A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）サイズの普通紙だけです。それ以外のサイズの用紙、および特殊紙には両面印刷ユニットを使用しての両面印刷はできません。
- 両面印刷の製本機能と割り付け機能を同時に設定することはできません。
- 用紙トレイや用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせ、［トレイ紙サイズ］スイッチや［カセット紙サイズ］スイッチを正しく設定してください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックすると、拡大 / 縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。

<例> Windows 98でアプリケーションソフトから開いた場合

①出力用紙

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、その用紙サイズをリストから選択します。縮小拡大率をその下の［倍率］ボックスに表示します。

②任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

- ［左上合わせ］を選択した場合は、用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
- ［中央合わせ］を選択した場合は、用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

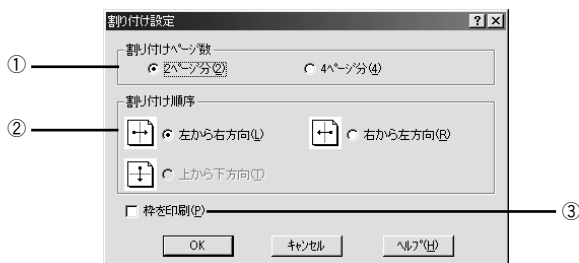
1 プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックし、［出力用紙］から［ハガキ 100 x 148 mm］を選択します。

この場合［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

3 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。[印刷方向]（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

③枠を印刷

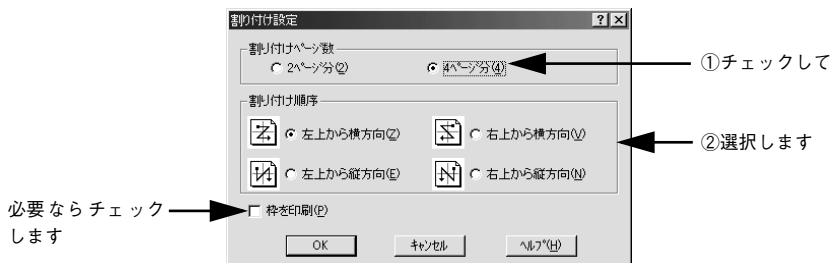
割り付けたページの周りに枠線を印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［割り付け］のチェックボックスをチェックします。

2. ［割り付け設定］ボタンをクリックして、［割り付け設定］ダイアログを開きます。

3. ［割り付けページ数］の［4 ページ分］をクリックし、［割り付け順序］を選択します。割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは［枠を印刷］のチェックボックスをチェックします。

4. ［OK］ボタンをクリックして［割り付け設定］ダイアログを閉じます。

5. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷 / 製本印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅を、用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

②1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

③製本する

［基本設定］ダイアログの［印刷方向］に応じて製本した場合の開き方が選択できます。

- ［印刷方向］が［縦］の場合：［左開き］か［右開き］かを選択できます。
- ［印刷方向］が［横］の場合：［下開き］のみ設定できます。

さらに、製本するページの単位を設定できます。

- ［全ページ］：すべてのページをまとめて製本します。
- ［分割する］：指定枚数ごとに製本します。最大 10 枚毎まで分割することができます。

- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ幅］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

④［初期値にする］ボタン

両面印刷の設定を初期状態に戻します。

両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

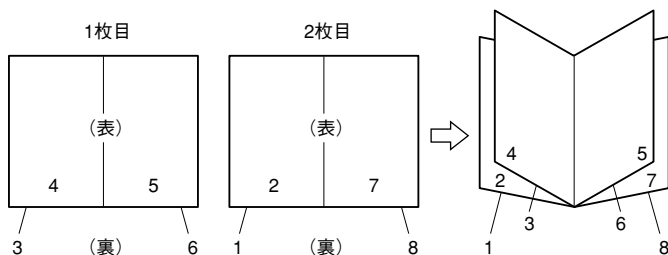
1. プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。
2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］のチェックボックスをチェックします。
3. ［とじる位置］の［左］をクリックします。
4. ［両面設定］ボタンをクリックして、［両面印刷設定］ダイアログを開きます。
5. 用紙の表と裏の［とじしろ幅］を設定し、［1 ページ目］を用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを設定します。
6. ［OK］ボタンをクリックして［両面印刷設定］ダイアログを閉じます。
7. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

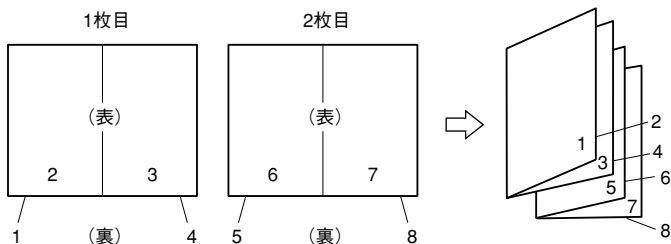
製本印刷の手順

8 ページの印刷データ（縦長）を右開きになるように製本印刷する場合の手順は以下の通りです。

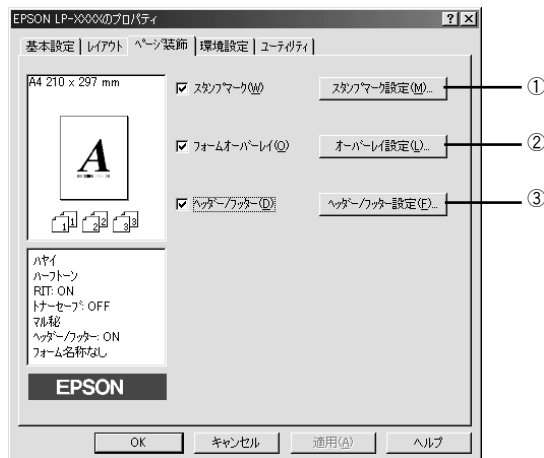
1. プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙がセットされていることを確認します。
   A4 サイズのデータを A4 サイズの大きさに印刷して製本したい場合は、A3 サイズの用紙をセットして、［基本設定］ダイアログの用紙サイズを A3 に設定してください。A4 サイズの用紙をセットした場合は、自動縮小して印刷します。
2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］のチェックボックスをチェックします。
3. ［両面設定］ボタンをクリックして、［両面印刷設定］ダイアログを開きます。
4. ［製本する］のチェックボックスをチェックします。
5. ［開き方］の［右開き］をクリックして、［全ページ］をクリックします。
6. ［OK］ボタンをクリックして［両面印刷設定］ダイアログを閉じます。

7 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ､［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

以下のように印刷されますので､2枚の用紙をまとめて2つ折りにしてとじてください。

ポイント

［製本する］の［分割する］を選択する（例：分割数=1枚毎）と、以下のように印刷されます。この場合は、1枚ずつ2つ折りにしてからまとめてとじます。

［ページ装飾］ダイアログ

［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷、フォームオーバーレイ印刷を行う場合に設定するダイアログです。

<例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。印刷するスタンプマークを設定するには、［スタンプマーク設定］ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 53 ページ「スタンプマークを印刷するには」

②フォームオーバーレイ

フォームデータを重ね合わせて印刷します。

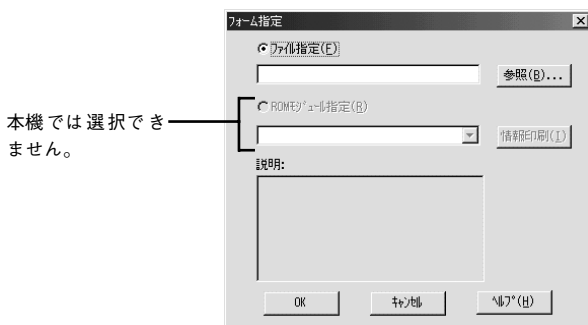
- フォームオーバーレイとは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能のことです。この機能を利用することにより、あらかじめ印刷された帳票などを用意する必要がなくなり、また、フォームの変更などに迅速に対応することができるようになります。
- 本ドライバにはフォームデータは添付されておりません。フォームデータを作成・編集するには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティ EPSON Form!4 が必要です（オーバーレイユーティリティをインストールすると、［オーバーレイ設定］ダイアログの機能が拡張されます）。詳細はフォームオーバーレイユーティリティに添付の取扱説明書を参照してください。
- ［拡張設定］ダイアログの［印刷モード］で［標準（PC）］を選択している場合は、フォームオーバーレイ印刷はできません。
  ☞ 本書 67 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

重ね合わせるフォームデータを選択するには、[オーバーレイ設定] ボタンをクリックして [オーバーレイ設定] ダイアログを開きます。

[フォーム] リスト：

フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示されません。

[詳細] ボタン：

- [フォーム]リストでフォーム名を選択して[詳細]ボタンをクリックすると、[フォーム詳細] ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。
- [フォーム] リストで [フォーム名称なし] を選択して [詳細] ボタンをクリックした場合は、[フォーム指定] ダイアログが開きます。フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）で作成したフォームファイルを指定できます。

ファイル指定：

コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、[ファイル指定] をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。[参照] ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。

オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）をインストールすると、オーバーレイデータが作成できるように標準の［オーバーレイ］ダイアログの機能が拡張されます。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。

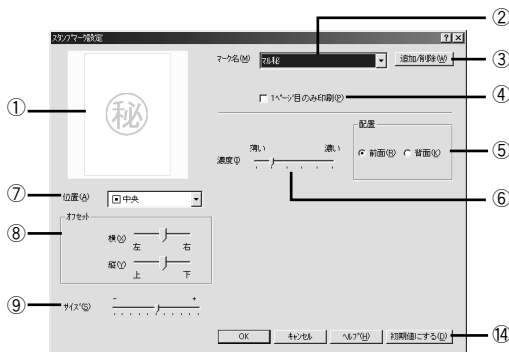
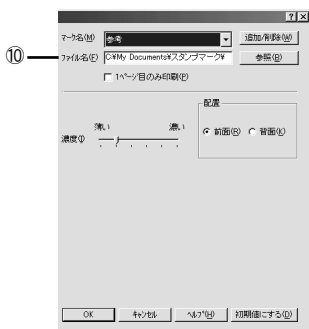
③ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/2000 の場合、［ヘッダー / フッター］の設定は［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の影響を受けます。
本書 72 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

スタンプマークを印刷するには

［ページ装飾］ダイアログで［スタンプマーク］のチェックボックスをチェックして［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、［スタンプマーク］ダイアログが開きます。

登録したビットマップマーク選択時

登録したテキストマーク選択時

①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (BMP[*1] 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除するには、［追加 / 削除］ボタンをクリックして［追加 / 削除］ダイアログを開きます。登録 / 削除の手順については、以下のページを参照してください。

本書 55 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

*1　BMP：画像データを保存する際のファイル形式の 1 つ。

④1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

⑤配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合がありますので、注意してください。

⑥濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

ポイント

［サイズ設定］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を超えないように注意してください。

⑨サイズ
印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑩ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）
登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加／削除］ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑫フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬回転（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーをスライドしてください。

⑭［初期値にする］ボタン
［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期値に戻します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

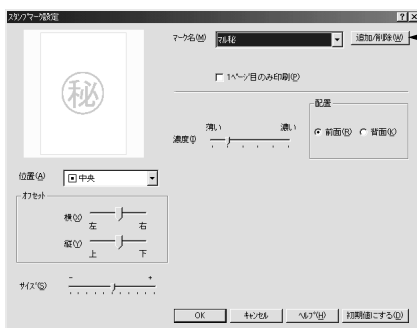
1. ［ページ装飾］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］のチェックボックスをチェックします。
2. ［スタンプマーク設定］ボタンをクリックして［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。
3. ［マーク名］のリストボックスの中から印刷したいスタンプマークを選択します。
4. 印刷位置や濃度、配置など、スタンプマークの印刷条件を設定します。
5. ［OK］ボタンをクリックして［スタンプマーク設定］ダイアログを閉じます。
6. ［OK］ボタンをクリックして［ページ装飾］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

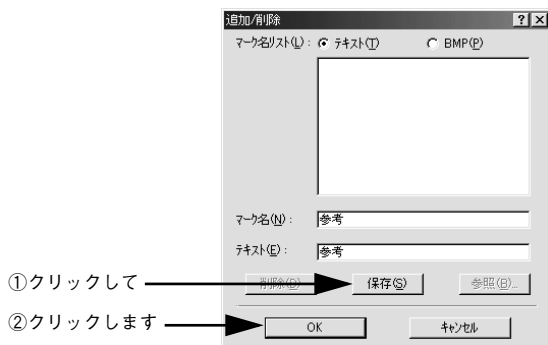
- オリジナルスタンプマークは 10 件登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1. ［スタンプマーク設定］ダイアログを開いて、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

直接［テキスト］に文字を入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。

3 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

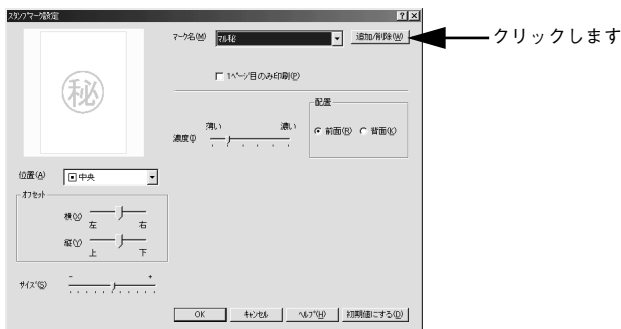
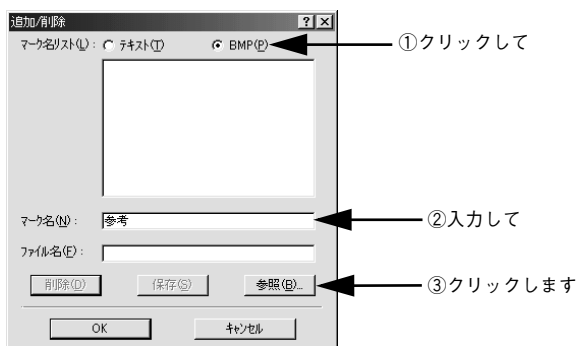
これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

4 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

2. ［スタンプマーク設定］ダイアログを開いて、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］ボタンをクリックします。

4. ❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

ポイント

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

6 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いの OS や機種または開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。以下に代表的な画面を掲載して項目の説明をします。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000 管理者	Windows NT4.0/2000 管理者以外	Windows NT4.0/2000 管理者	Windows NT4.0/2000 管理者以外
		ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
プリンタ設定	○	－	－	○	△
拡張設定	○	○	○	－	－
動作環境設定	○	△	△	○	△

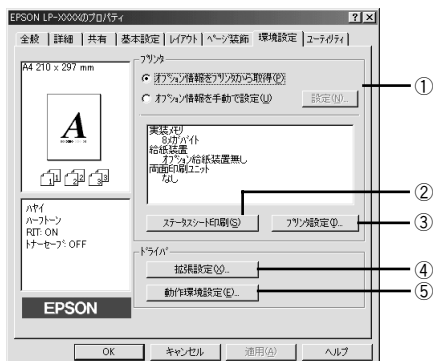
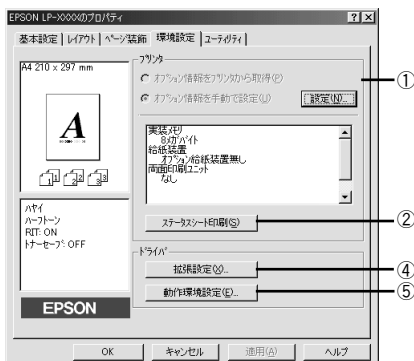
アプリケーションソフトから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000 管理者	Windows NT4.0/2000 管理者以外
ステータスシート印刷	○	○	○
プリンタ設定	－	－	－
拡張設定	○	○	○
動作環境設定	△	△	△

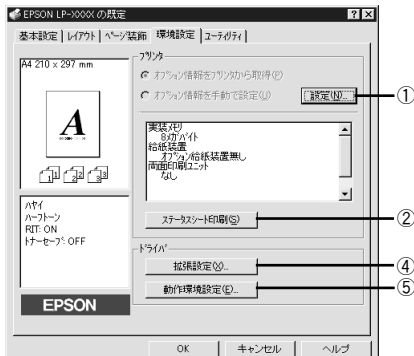
○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）
－ :非表示（選択・設定できません）

オプションの設定は、［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して［環境設定］ダイアログを開かないと設定できません。また、Windows NT4.0/2000 の場合は、管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーのみが設定を変更でき、［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。

本書 34 ページ「プロパティの開き方」

<例> Windows 95/98/Me

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

<例> Windows NT4.0/2000

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合（アプリケーションソフトから開いた場合）

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得：
EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていれば、プリンタドライバが自動的にオプション情報を取得することができます。

オプション情報を手動で設定：
［設定］ボタンをクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。
本書 62 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」

- オプションの設定方法については以下のページを参照してください。
  本書 223 ページ「オプション装着時の設定（Windows)」
- アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値]、Windows 2000 の場合は［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。［設定］ボタンも表示されますが設定はできません。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③［プリンタ設定］ボタン

このボタンをクリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、プリンタのさまざまな機能が設定できます。詳しくは、以下のページを参照してください。
本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

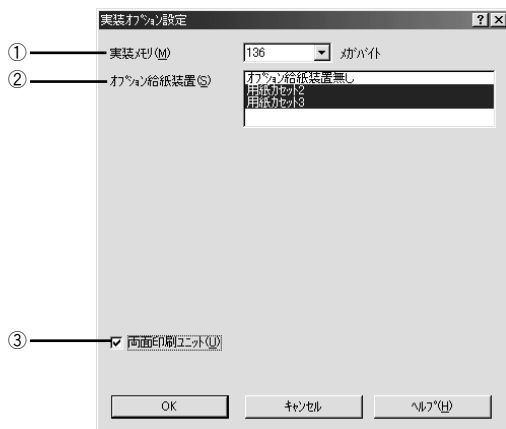
④［拡張設定］ボタン

印刷モード、TrueType フォントの置き換え、印刷位置のオフセット値、印刷濃度、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行うときにクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。
本書 67 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑤［動作環境設定］ボタン

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］ダイアログを開くと、［動作環境設定］ボタンがあります。このボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。詳しくは、以下のページを参照してください。
本書 72 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］ボタンをクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

設定を変更した場合は［OK］ボタンをクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

標準メモリ（8MB）と増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイト（MB）です。

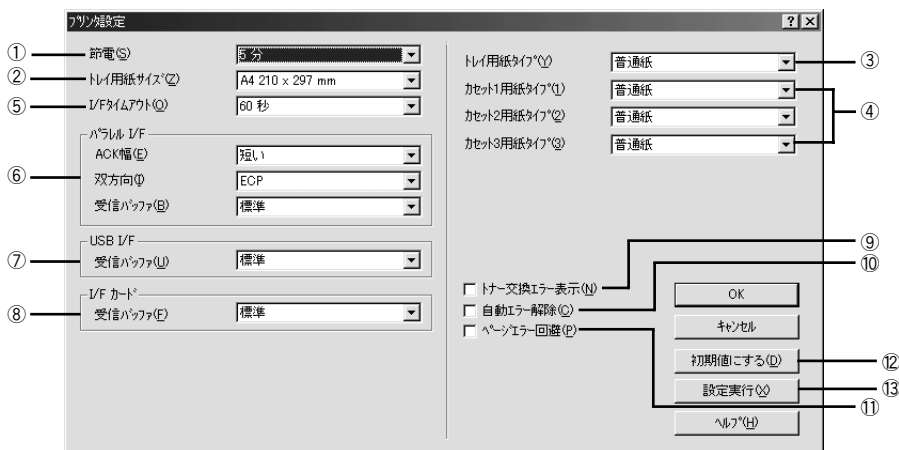
②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再クリックします。

③両面印刷ユニット

オプションの両面印刷ユニットを装着した場合は、チェックマークを付けます。

［プリンタ設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［プリンタ設定］ボタンをクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。

① 節電

節電状態に入るまでの時間（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 5 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

② トレイ用紙サイズ

用紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

［基本設定］ダイアログで設定した［ユーザー定義サイズ］は選択できません。
☞本書 41 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

③ トレイ用紙タイプ

用紙トレイにセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHP シート、ラベル）を設定します。

- 印刷時に設定する［基本設定］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイ / カセットとオプションの用紙カセットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［基本設定］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
  ☞ 本書 31 ページ「用紙タイプ選択機能」

④カセット 1 ～ 3 用紙タイプ

標準の用紙カセット 1 またはオプション用紙カセット 2 ～ 3 にセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき）を設定します。

- 印刷時に設定する［基本設定］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイ / カセットとオプションの用紙カセットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［基本設定］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
  本書 31 ページ「用紙タイプ選択機能」

ポイント

［カセット 2 ～ 3 用紙タイプ］は、オプションのユニバーサルカセットユニットまたは大容量カセットユニットを装着している場合のみ設定できます（カセット番号は、上から装着した順番に対応しています）。

⑤I/F タイムアウト

インターフェイスを自動切り替えするときのタイムアウト時間を、20 ～ 600 秒の範囲で 10 秒単位で設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。

⑥パラレル I/F

パラレルインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

ACK 幅：

パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。

設定値	短い（初期設定）	約 1μS に設定します。
	標準	約 10μS に設定します。

双方向：

パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。

設定値	ECP（初期設定）	双方向通信について、ECP モードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。
	ニブル	双方向通信について、ニブルモードに対応します。

ポイント

- ［ニブル］と［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
- ［ECP］で使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。

受信バッファ：

パラレルインターフェイスの受信バッファを設定します。

設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑦USB I/F：受信バッファ

USB インターフェイスの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑧I/F カード：受信バッファ

本機に装着したオプションのインターフェイスカードの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってから電源の再投入をしてください。

設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑨トナー交換エラー表示

ET カートリッジのトナーがなくなった場合の対応を設定できます。

設定値	チェックなし－オフ（初期設定）	トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。
	チェックあり－オン	トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

⑩自動エラー解除

一部のエラー（ページエラーオーバーラン、用紙交換、メモリオーバー）が発生した場合、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。

設定値	チェックなし－オフ（初期設定）	上記のエラーが発生した場合、［印刷可］スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。
	チェックあり－オン	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約 5 秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

⑪ページエラー回避

複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。

設定値	チェックなしーオフ（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
	チェックありーオン	ページエラー回避機能を使用します。

- ページエラー回避機能を使用すると場合によっては印刷時間が長くなりますので、通常はオフに設定し、ページエラーが発生するときだけオンに設定してください。
- ［ページエラー回避］をオンにすると、メモリ不足によるメモリオーバーエラーも回避できる場合があります。なお、オンにしてもメモリオーバーエラーが発生した場合は、メモリを増設してください（使用する［受信バッファ］の設定を［最小］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

⑫［初期値にする］ボタン

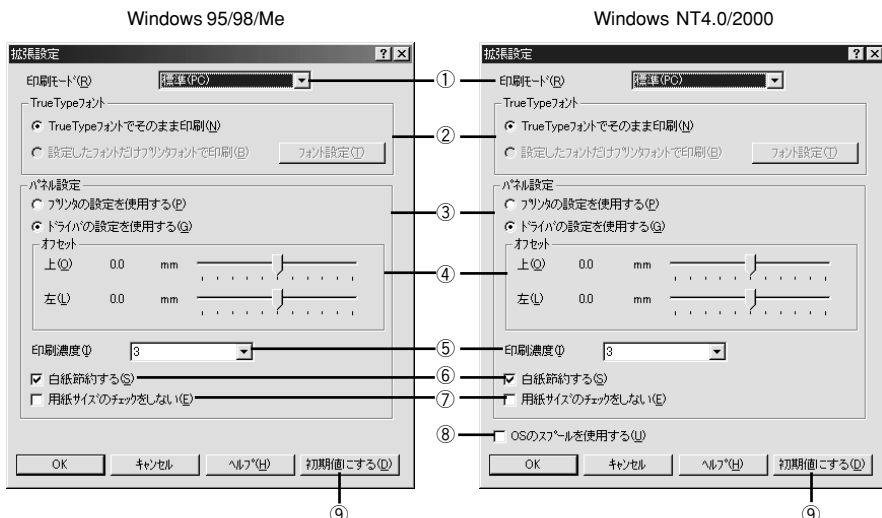
［プリンタ設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

⑬［設定実行］ボタン

［プリンタ設定］ダイアログの設定を変更した場合に、設定した内容を有効にするときにクリックします。

設定を変更しただけでは有効になりません。設定を有効にするには、［設定実行］ボタンをクリックしてから［OK］ボタンをクリックして［プリンタ設定］ダイアログを閉じてください。

［拡張設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］ボタンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが開きます。

①印刷モード

印刷モードを選択します。

標準（PC）：

印刷処理をコンピュータ側で行う場合に選択します。［標準（PC）］を選択している場合は、フォームオーバーレイ印刷またはフォントの置換はできません。

標準（プリンタ）：

印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。

- お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は［標準（PC）］を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。
- お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は［標準（プリンタ）］を選択してください。コンピュータ側の負荷を軽くすることができます。

②TrueType フォント

TrueType フォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

TrueType フォントでそのまま印刷：
TrueType フォントをそのまま印刷します。

設定したフォントだけプリンタフォントで印刷：
TrueType フォントを、［フォントの置換設定］ダイアログで指定したプリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。［フォントの置換設定］ダイアログを開くには、［フォント設定］ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 70 ページ「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

- Windows 95/98/Me の場合、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのダイアログを開いてください。アプリケーションソフトから開いても、フォント置き換えの設定を変更できません。
- ［印刷モード］が［標準（PC）］の場合、フォントの置き換えはできません。
- Windows NT4.0/2000 の場合、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのダイアログを開き、［フォント置換］タブでフォントの置き換えを指定します。［拡張設定］ダイアログの［フォント設定］ボタンをクリックしても、置き換えフォントのリストを表示するだけで、実際に置き換えるフォントを指定できません。

③プリンタの設定を使用する / ドライバの設定を使用する

以下の④［オフセット］、⑤［印刷濃度］、⑥［白紙節約する］、⑦［用紙サイズのチェックをしない］は、プリンタ本体とプリンタドライバのどちらの設定を優先するかをクリックして選択できます。

プリンタの設定を使用する：
プリンタ本体の設定を優先します（プリンタドライバでは設定できません）。

ドライバの設定を使用する：
ここ（プリンタドライバ）での設定を優先します（プリンタ本体の設定を無視します）。

④オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）
左（水平位置）：-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

⑤印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

⑥白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約することができます。

⑦用紙サイズのチェックをしない

チェックマークを付けると、選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても、用紙サイズエラーにしません。

⑧OS のスプールを使用する（Windows NT4.0/2000）

OS のスプール機能を使用します。

アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になったり、印刷に要する時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。このような場合は、チェックマークを外してお使いください。

⑨［初期値にする］ボタン

［拡張設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるには

Windows 95/98/Me と Windows NT4.0/2000 では､フォント置き換えを設定するダイアログが違います。お使いの OS に合わせて、以下の手順に従ってください。

［印刷モード］が［標準（PC)］の場合、フォントの置き換えはできません。

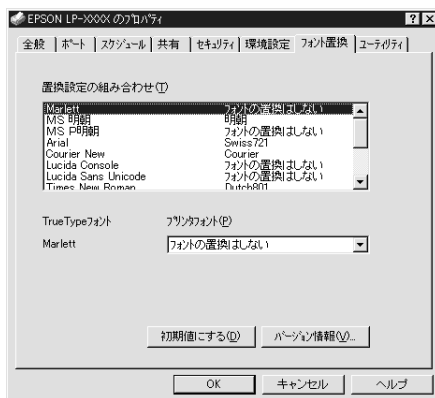
1 **［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開きます。**

2 **フォントを置き換えるためのダイアログを開きます。**

- Windows 95/98/Me の場合

① ［環境設定］タブをクリックして開き、［拡張設定］ボタンをクリックします。
② ［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］をクリックし、［フォント設定］ボタンをクリックします。

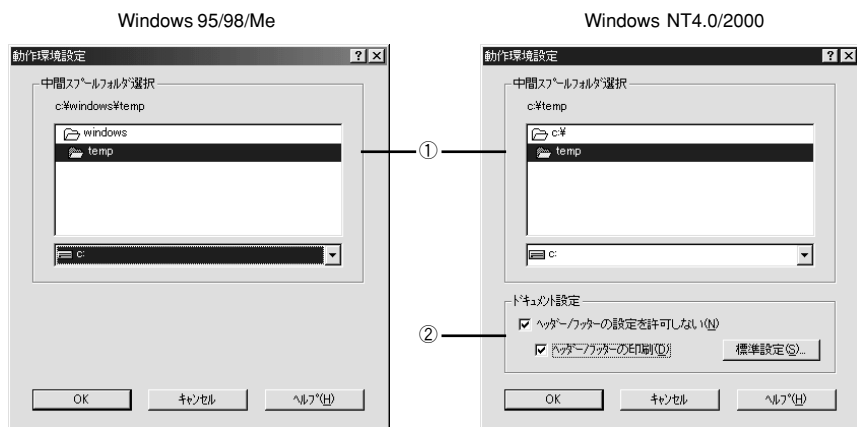
- Windows NT4.0/2000 の場合

［フォント置換え］タブをクリックします。

3 ［置換設定の組み合わせ］リストの中から、TrueTypeフォントをクリックして選択します。

4 ［プリンタフォント］リストから、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。

5 3 と 4 を繰り返して置き換えるフォントをすべて設定したら、［OK］ボタンをクリックして作業を終了します。

［動作環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］ボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。

① 中間スプールフォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定の必要がありません。

ポイント

- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は、現在の設定状態を表示するだけで設定はできません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- Windows NT4.0/2000 で中間スプールフォルダを選択する場合は、選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定が「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。

② ドキュメント設定（Windows NT4.0/2000）

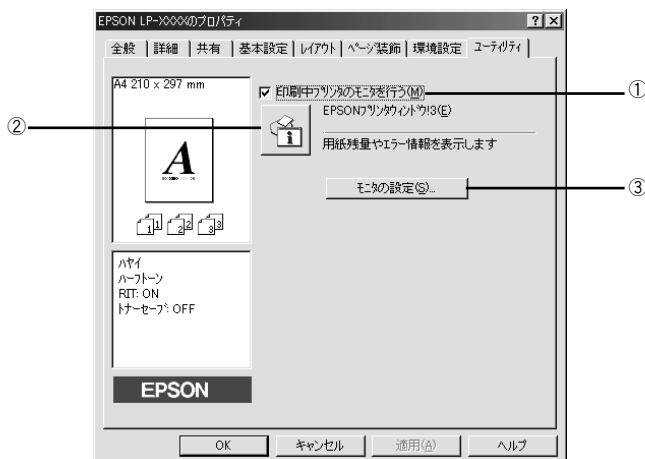
［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］と［ヘッダー / フッターの印刷］の両方をチェックして［標準設定］ボタンをクリックすると、ヘッダー / フッターに関する設定ができます。［ページ装飾］ダイアログのヘッダー / フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

本書 50 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」

	［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］		
	チェックなし	チェックあり	
	ー	［ヘッダー / フッターの印刷］	
		チェックなし	チェックあり
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックス	［ページ装飾］ダイアログで設定を変更できます。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックスはチェックなしのままで、設定は変更できません。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックスはチェックありのままで、設定は変更できません。
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタン	［ページ装飾］ダイアログで設定を変更できます。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックしてヘッダー / フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー / フッターの印刷は［ページ装飾］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザーでも自由にヘッダー / フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー / フッターは印刷できません。	ヘッダー / フッターの印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。［標準設定］ボタンをクリックして［ヘッダー / フッター設定］ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。

- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザーしか設定できません。ヘッダー / フッター印刷を管理する必要がある場合はここで設定してください。

［ユーティリティ］ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSONプリンタウィンドウ!3に関わる設定を行います。

①印刷中プリンタのモニタを行う

チェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。

- Windows NT4.0/2000で、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。
- NetBEUIを使用した直接印刷、IPP印刷、Novell NDPS印刷時、または16進ダンプモード時には［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してください。

②EPSONプリンタウィンドウ!3

中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ!3が起動します。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書75ページ「EPSONプリンタウィンドウ!3とは」

③［モニタの設定］ボタン

EPSONプリンタウィンドウ!3の動作環境を設定する場合にクリックします。

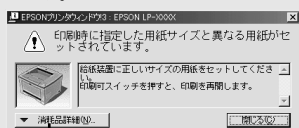
本書77ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

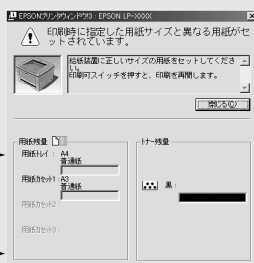
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

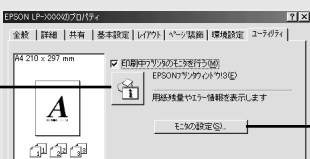
プリンタの状態を表示します

ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、[対処方法] ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。[消耗品詳細] ボタンをクリックすると、用紙やトナーの残量が確認できます。

[プリンタ詳細] ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開きます

[ユーティリティ] ダイアログ

プリンタのプロパティから EPSON プリンタウィンドウ !3 を呼び出すことができます。

プリンタのプロパティからモニタの設定画面を開くことができます。

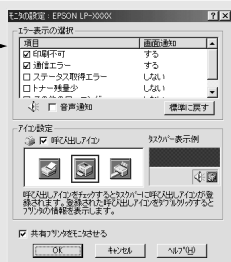
タスクバー

タスクバーの呼び出しアイコンから EPSON プリンタウィンドウ !3 を呼び出すことができます。

タスクバーの呼び出しアイコンからモニタの設定画面を開くことができます。

動作環境を設定します

[モニタの設定] ダイアログ

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、以下の接続形態において使用できます。

- ローカル接続
- TCP/IP 直接接続
- Windows 共有プリンタ
- NetWare 共有プリンタ

NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷、Novell NDPS 印刷の場合はモニタすることができません。

また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

ジョブ管理を行うための条件

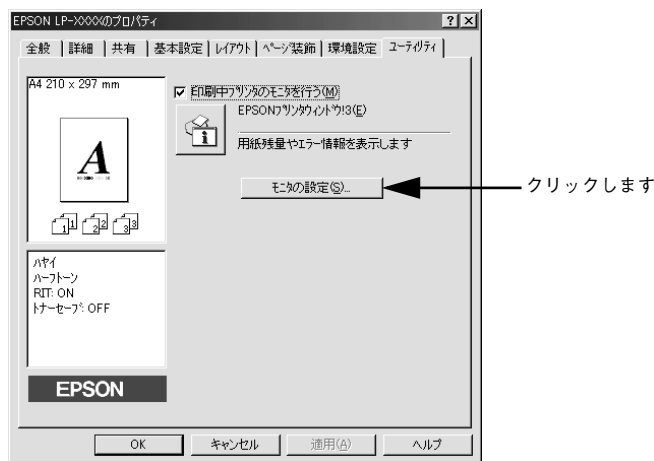
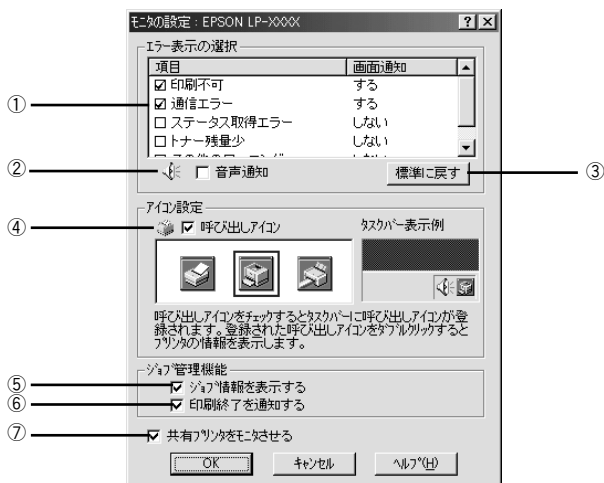
ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下のネットワーク形態で接続されている必要があります。

- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP 接続
- Windows NT4.0 での LPR 接続
  （共有プリンタを Windows クライアントから利用する場合）
- Windows 2000 での TCP/IP または LPR 接続
  （共有プリンタを Windows クライアントから利用する場合）

- Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。
- NetWare および NetBEUI、EpsonNet Internet Print を利用してネットワーク印刷を行う場合、ジョブ管理機能は使用できません。
- Windows NT4.0 での LPR 接続、または、Windows 2000 での TCP/IP あるいは LPR 接続の共有プリンタを、Windows NT4.0/2000 クライアントから利用する際に、クライアントへのログオンユーザーとサーバへの接続ユーザーが異なる場合、ジョブ管理機能は使用できません。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］
プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［モニタの設定］ボタンをクリックします。

［方法 2］
上記［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを、画面通知するかどうかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックマークを付けると、EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスで右クリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に［プリンタ詳細］ウィンドウにジョブ情報を表示します。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 82 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

⑥印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合にジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

☞ 本書 83 ページ「[印刷終了通知] ダイアログ」

⑦共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

☞ 本書 87 ページ「プリンタを共有するには」

ポイント

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、[ジョブ情報を表示する] と [印刷終了を通知する] が表示されます。

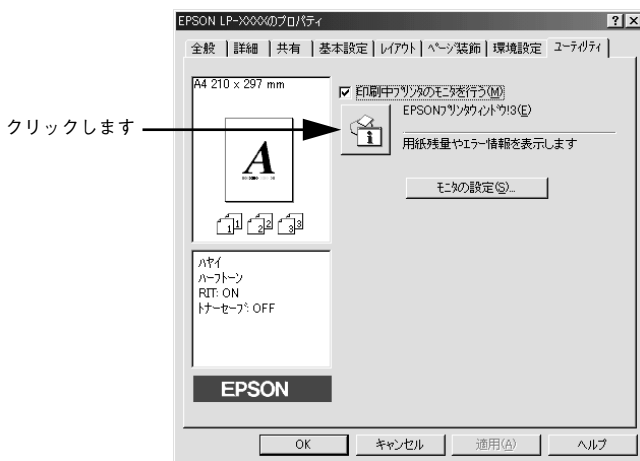
☞本書 76 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、3 通りの方法で [プリンタ詳細] ウィンドウを開くことができます。この [プリンタ詳細] ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

☞ 本書 81 ページ「[プリンタ詳細] ウィンドウ」

[方法 1]

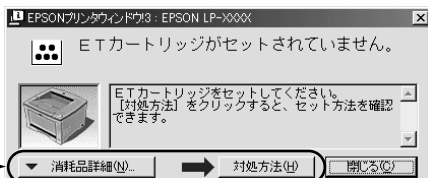
プリンタのプロパティを開き、[ユーティリティ] の [EPSON プリンタウィンドウ !3] アイコンをクリックします。

［方法 2］

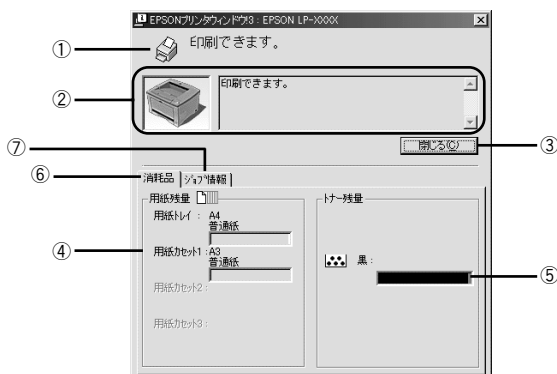
［方法 1］の画面にある［モニタの設定］ボタンから呼び出しアイコンを設定した場合、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

［方法 3］

アプリケーションソフトから印刷を実行して、エラーが発生した場合にプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 84 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤トナー残量

ET カートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

⑥消耗品

ジョブ管理ができる場合に［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。

⑦ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示します。詳細は、以下のページを参照してください。

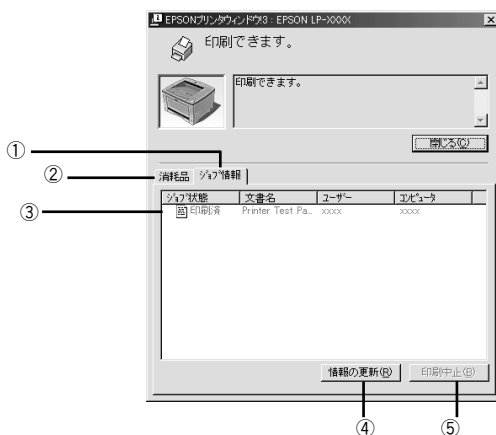
本書 82 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

ポイント

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。

本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

[ジョブ情報] ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリンタジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示します。

②消耗品

[プリンタ詳細] ウィンドウを表示します。詳細は、以下のページを参照してください。

本書 81 ページ「[プリンタ詳細] ウィンドウ」

③ジョブリスト

ジョブの状態(待機中、印刷中、印刷済、削除済)、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

④[情報の更新] ボタン

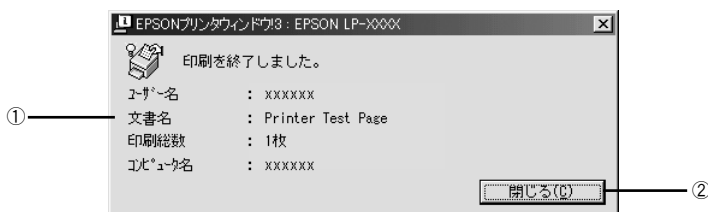
最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

⑤[印刷中止] ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、[印刷中止] ボタンをクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

① 印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

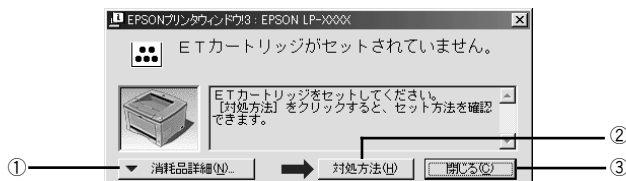
②［閉じる］ボタン

ダイアログを閉じます。

［ユーティリティ］ダイアログの［印刷中プリンタのモニタを行う］がチェックされていない場合は、印刷終了通知は行われません。

本書 74 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。エラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①［消耗品詳細］ボタン

クリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 81 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

③［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

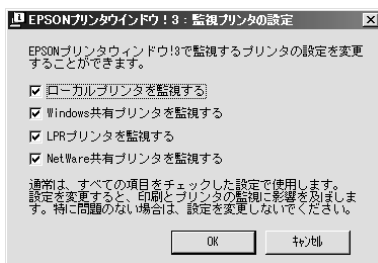
Windows 共有プリンタを監視できない場合は、以下の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワーク設定内に Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログ内の［モニタの設定］で［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークが付いていること。
- プリントサーバ側とクライアント側で、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に IPX/SPX 互換プロトコルが設定されていないこと（Windows 95/98/Me のみ）。

監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで､EPSON プリンタウィンドウ !3とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1. **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］から［Epson］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。**

2. **監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。**

3. **［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。**

［キャンセル］ボタンをクリックすると設定した内容をキャンセルします。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順

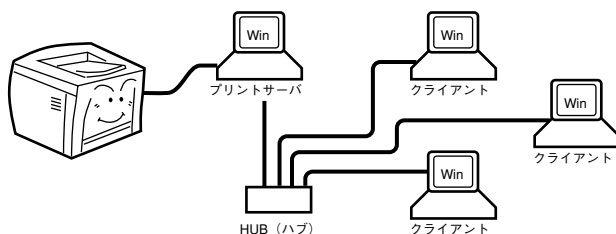
EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバと一緒にインストールされます。EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを単独でインストールする手順は以下の通りです。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
2. 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名（LP-7700）をクリックして［次へ］をクリックします。
3. 下の画面が表示されたら、［EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

4. お使いのプリンタ名（LP-7700）が選択されていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。
5. 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックするとインストールを開始します。

プリンタを共有するには

Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

設定を始める前に、必ず以下のページを参照してください。

スタートアップガイド 36 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバと、共有プリンタを利用するクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。

本書 88 ページ「Windows 95/98/Me プリントサーバの設定」
本書91 ページ「Windows NT4.0/2000プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール」
本書 96 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
本書 100 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
本書 102 ページ「Windows 2000 クライアントでの設定」

- EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように設定してください。
- 本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」
- Windows 95/98/Me で EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用している場合、IPX/SPX互換プロトコルが設定されていると通信エラーが発生することがあります。IPX/SPX 互換プロトコルの設定を解除することで通信エラーの回避ができます。
- 本章の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

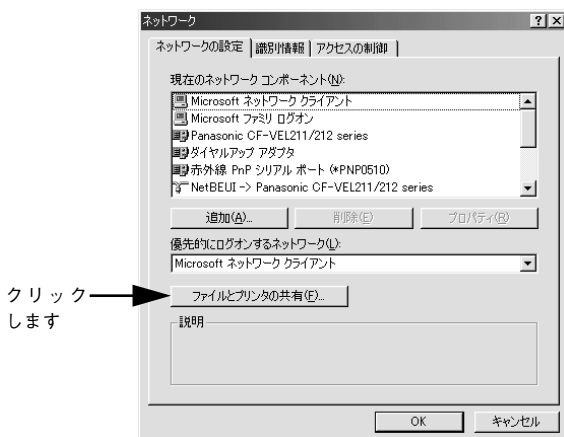
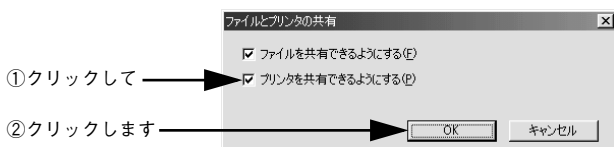
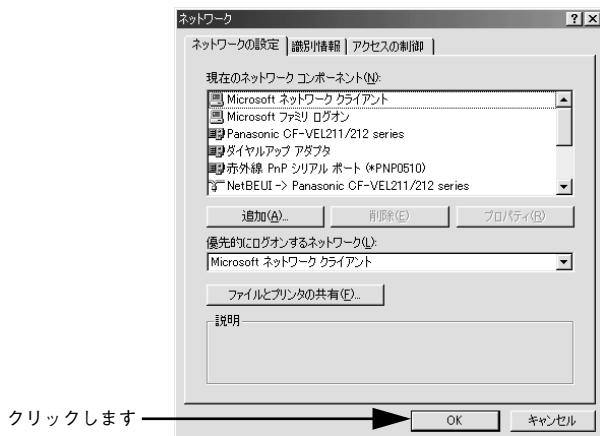
プリントサーバの設定

Windows 95/98/Me プリントサーバの設定

Windows 95/98/Me が稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

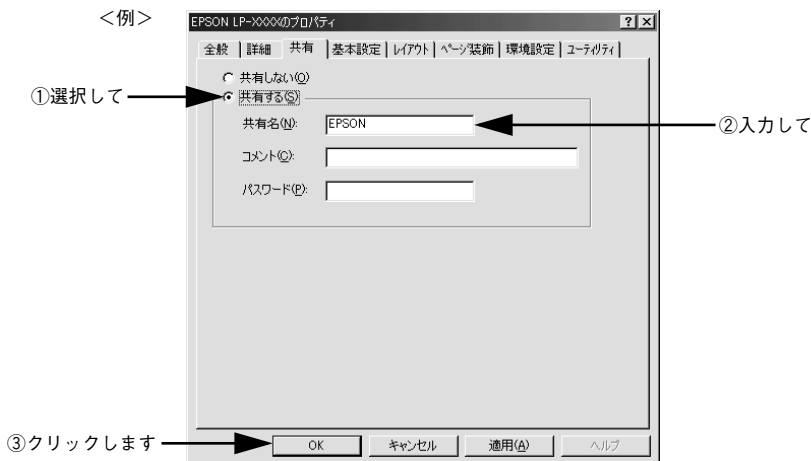
2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 LP-7700のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように設定してください。
本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書 96 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
本書 100 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
本書 102 ページ「Windows 2000 クライアントでの設定」

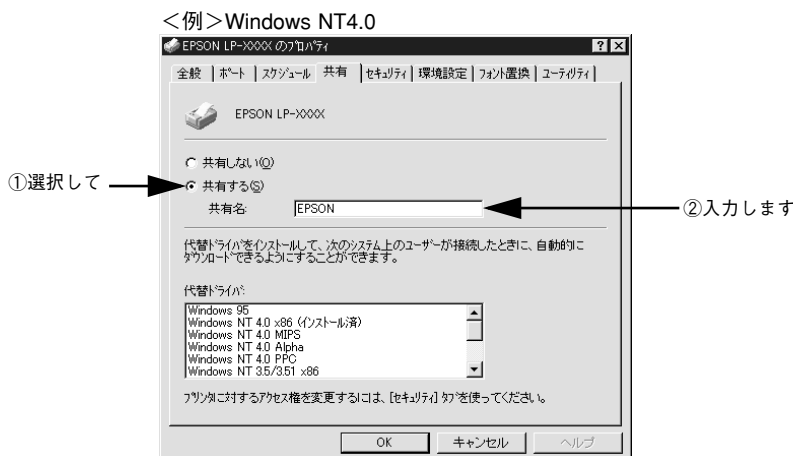
Windows NT4.0/2000 プリントサーバの設定と代替/追加ドライバのインストール

Windows NT4.0/2000 が稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。クライアントとサーバの OS が異なる場合のクライアント用の代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。

- ローカルマシンの管理者権限（Administrators）のあるユーザーで Windows NT4.0/2000 にログオンする必要があります。
- Windows NT4.0 で代替ドライバ機能を使用する場合は、Windows NT4.0 Service Pack 4 以降が対象となります。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. LP-7700 のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

3. ［共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

<例>Windows NT4.0

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

- 代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、次の ❹ へ進んでください。
- 代替 / 追加ドライバをインストールしない場合は、[OK] ボタンをクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。

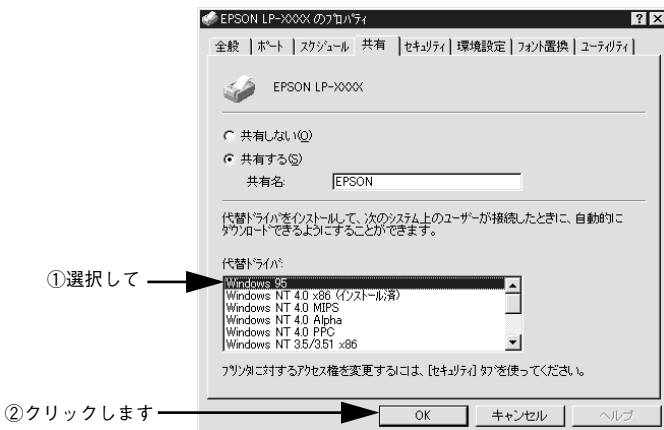
本書 96 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
本書 100 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
本書 102 ページ「Windows 2000 クライアントでの設定」

クライアントとサーバが同じ OS の場合は、代替 / 追加ドライバをインストールする必要がありません。

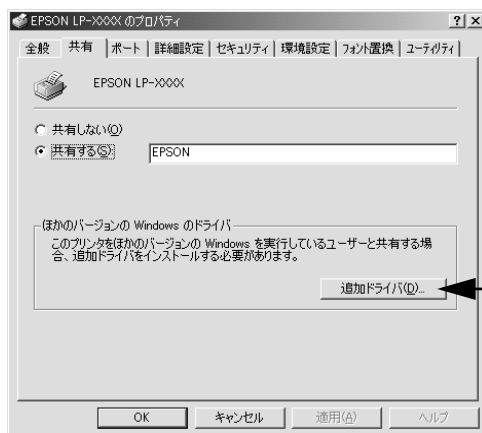
❹ クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。

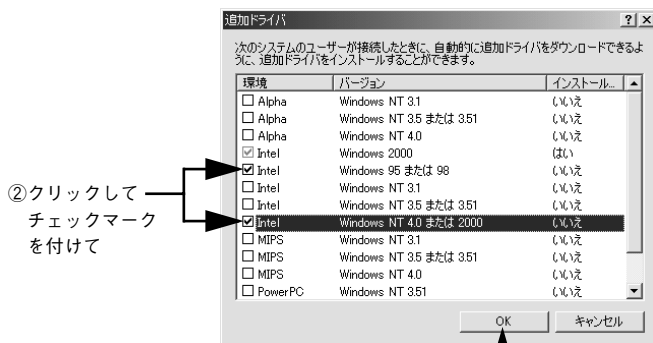
- Windows NT4.0 プリントサーバの場合：

① クライアントの Windows バージョンを選択します（クリックして、ハイライトさせます）。
Windows 95/98/Me クライアント用の代替ドライバをインストールする場合は、［Windows 95］をクリックして選択します。

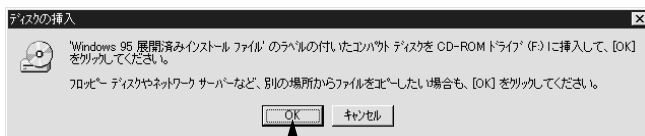
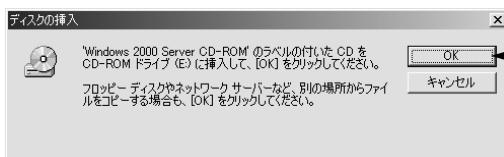
② ［OK］ボタンをクリックします。

- Windows NT4.0 クライアント用の代替ドライバ［Windows NT 4.0 x86］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- ［Windows 95］以外の代替ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していないOSの代替ドライバはインストールできません。

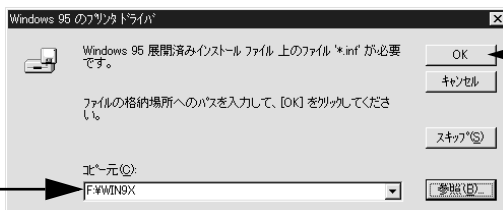
- Windows 2000 サーバの場合：

①［追加ドライバ］ボタンをクリックします。

②クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます）。
Windows 95/98/Me クライアント用の追加ドライバをインストールする場合は、［Intel Windows 95 または 98］を選択します。
Windows NT4.0 クライアント用の追加ドライバをインストールする場合は、［Intel Windows NT 4.0 または 2000］を選択します。

③［OK］ボタンをクリックします。

- Windows 2000 専用のプリンタドライバ［Intel Windows 2000］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- ［Intel Windows 95 または 98］と［Intel Windows NT 4.0 または 2000］以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

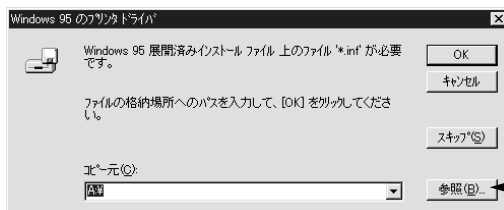
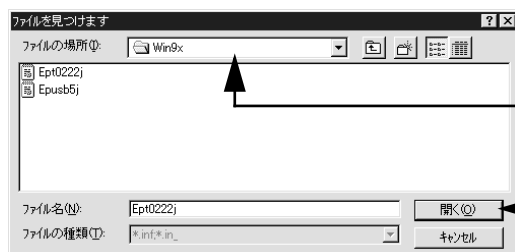
5. 以下のメッセージが表示されたら、本機の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして［OK］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 の場合

Windows 2000 の場合

*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6. メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。
4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

* クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ F ドライブ	
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X F:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40 F:¥WINNT40

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。

①［参照］ボタンをクリックします。

②入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。

- Windows 2000 をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］というメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 Windows 2000の場合は、［閉じる］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

Windows NT4.0 の場合は、代替ドライバがインストールされるとプロパティは自動的に閉じます。

プリンタを共有する場合は、次の点に注意してください。

- プリントサーバのEPSONプリンタウィンドウ!3で必ず共有プリンタをモニタできるように設定してください。
  本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」
- ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書 96 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
本書 100 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
本書 102 ページ「Windows 2000 クライアントでの設定」

クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

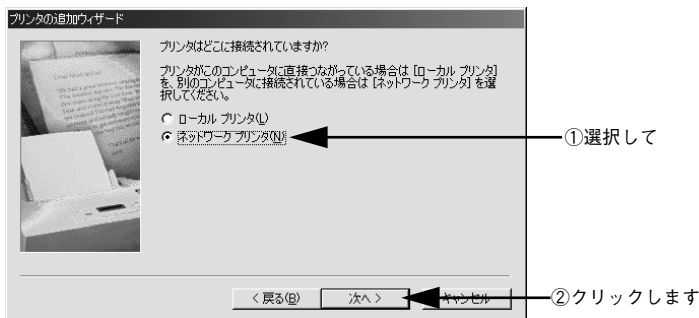
- Windows でプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定については、以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド36 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」
  本書 88 ページ「プリントサーバの設定」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- ここで説明する手順に従ってプリンタドライバをインストールする場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされません。EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールするには、クライアント OS にローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールしてからプリンタ接続先をネットワークプリンタに切り替えてください。
  スタートアップガイド 34 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」
  本書 105 ページ「プリンタ接続先の変更」

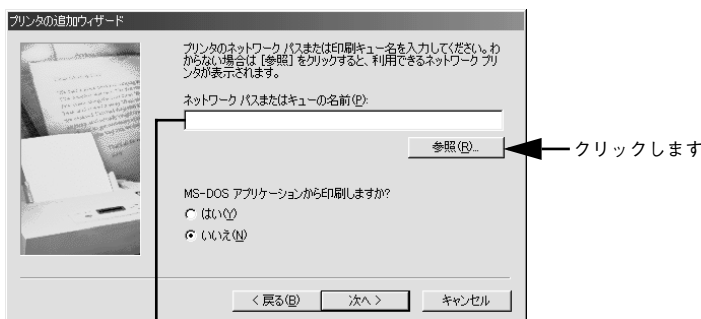
Windows 95/98/Me クライアントでの設定

Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

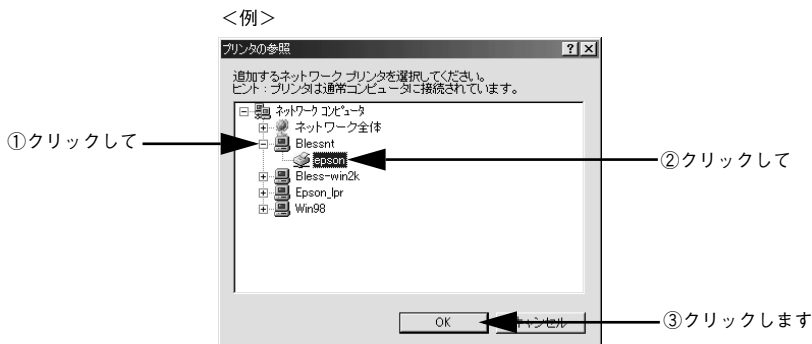
1. **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2. **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。**

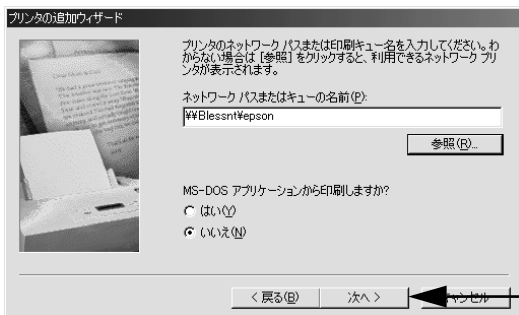
3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［参照］ボタンをクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

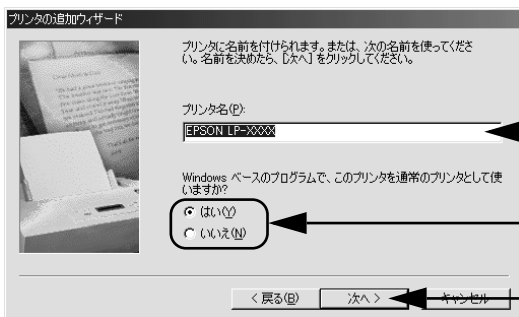
5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

<例>

ポイント

プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

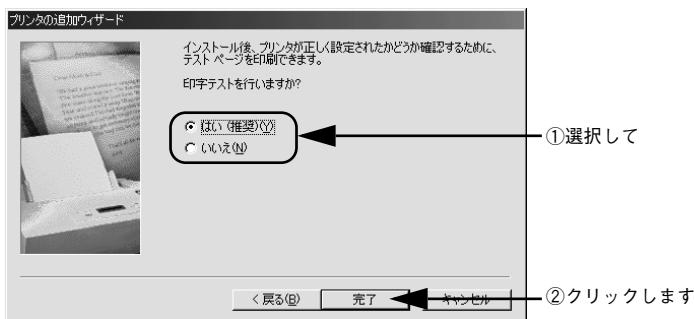
6 ［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント

既にプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7 接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント

プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8 **テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］ボタンをクリックします。**

印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］ボタンをクリックして対処してください。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

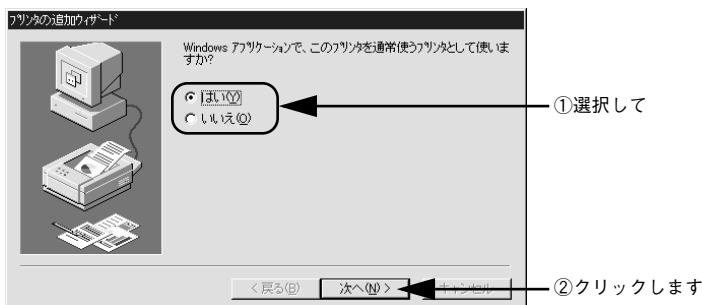
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

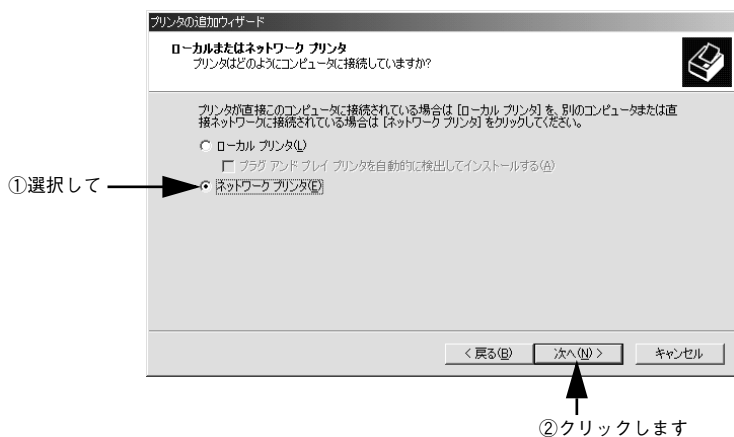
5 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

6 [完了] ボタンをクリックします。

Windows 2000 クライアントでの設定

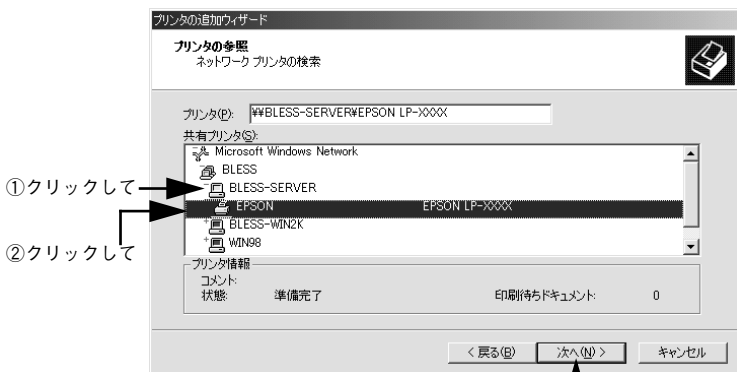
Windows 2000 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

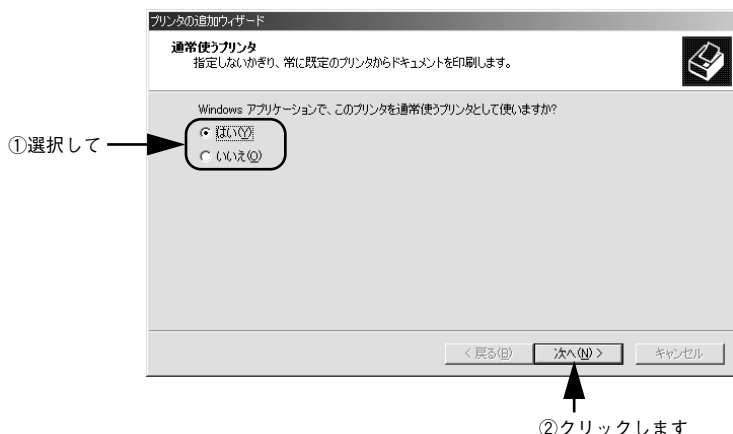
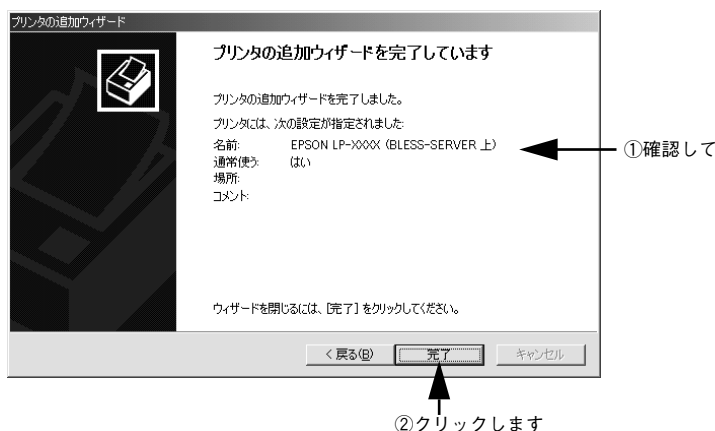
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3. ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 **ネットワークプリンタ名を入力するか、［次へ］ボタンをクリックします。**

ネットワークプリンタ名がわかっている場合は直接ボックスに入力できますが、ここではネットワーク名がわからないことを前提に［次へ］ボタンをクリックして手順を進めます。

5 **プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。**

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

6 通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

7 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。コンピュータにローカル接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

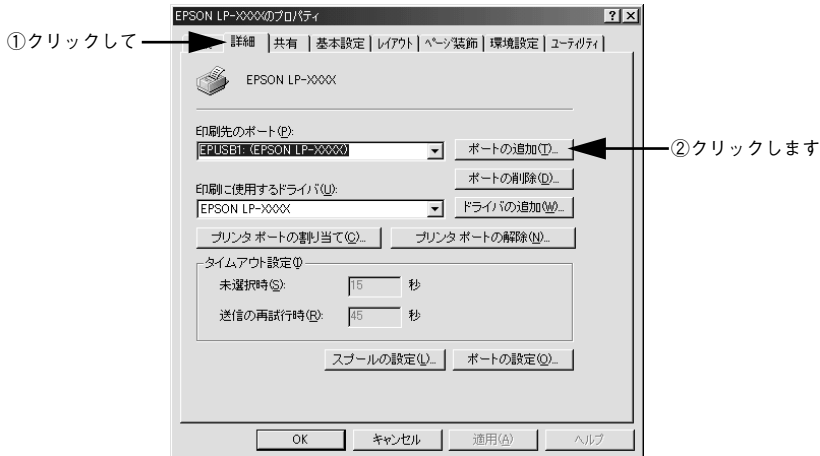
プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. LP-7700 のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

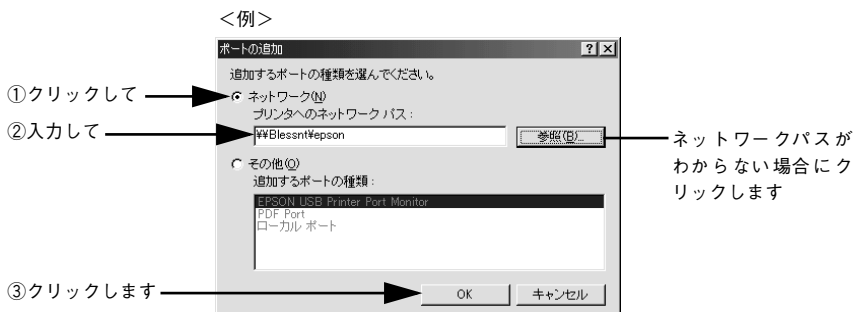
3 ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

ポイント

［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

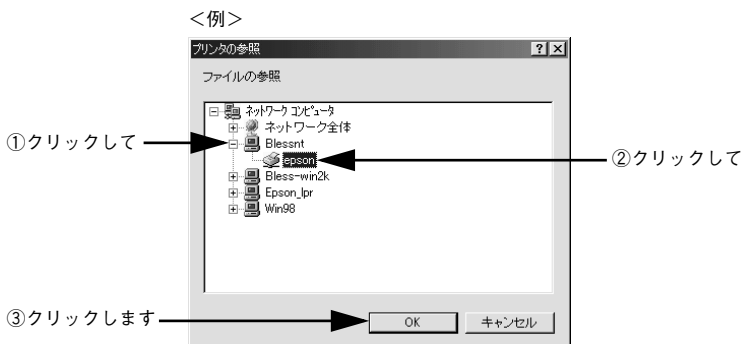
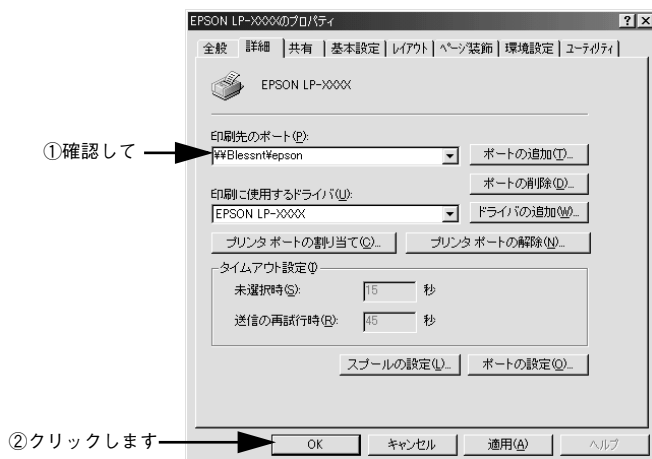
- PRN：EPSON PCシリーズ/NEC PCシリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 **［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

<例>

ポイント

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。

<例>

5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/2000 の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

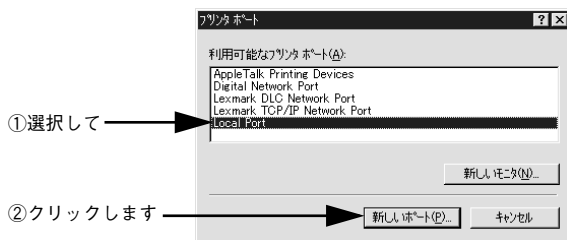
1 Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 LP-7700 のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000 をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

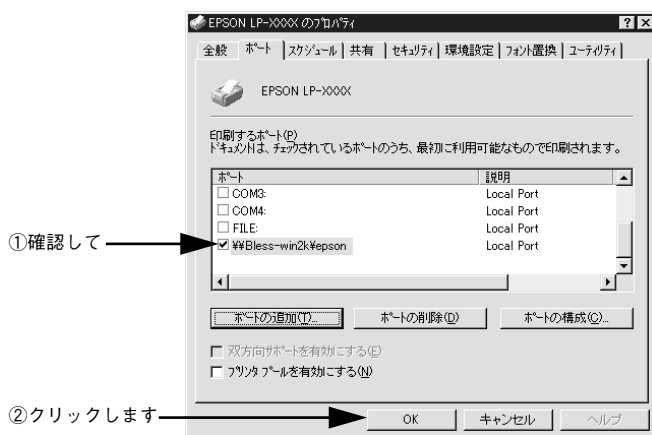
4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

5 **ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

ポート名は以下のように入力します。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

<例> Windows NT4.0

6 **［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。**

7 **ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。**

印刷を高速化するには（Windows NT4.0/2000）

Windows NT4.0/2000 をご利用で本機をパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、印刷データの転送方法として DMA 転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA 転送とは

通常、印刷データはコンピュータの CPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPU は同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法では CPU に負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP[*1] コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPU を経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法を DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1 ECP：Extended Capability Port の略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA 転送を設定する前に

プリンタドライバで DMA 転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- ご利用のコンピュータは DOS/V 機で ECP コントローラチップが搭載されていますか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- ご利用のコンピュータで DMA 転送が可能ですか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- BIOS[*1] セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS を設定してください。

*1 BIOS：Basic Input/Output System の略。パソコンを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

この BIOS の設定は、本機のプリンタソフトウェアを一旦削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
本書 120 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
スタートアップガイド 33 ページ「セットアップ」

- エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？

以上の確認と設定が済みましたら、次に進んでください。

Windows NT4.0 の場合

Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。ここでは設定されているか確認します。

ポイント

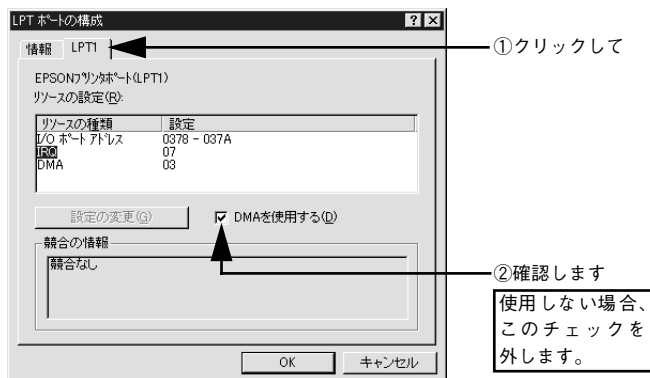
- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- DMA転送で印刷できないなどの問題が発生した場合は、手順4の［DMA を使用する］のチェックを外してください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. LP-7700 のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］のタブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 本機が接続されているポートのタブをクリック、［DMA を使用する］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認します。

コンピュータのLPT1ポートにプリンタを接続している場合は、[LPT1]を選択します。

コンピュータの拡張スロットに LPT ボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。

- LPT2やLPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。
- IRQ と DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

以上で確認の方法は終了です。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールしてください。

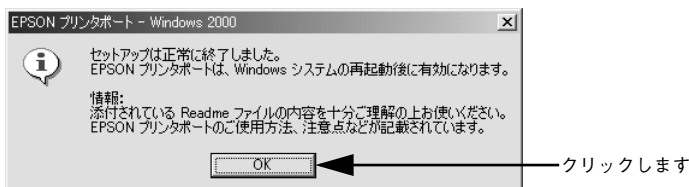
ポイント

- EPSON プリンタポートをインストールおよび設定するには、Administrators の権限が必要です。
- 添付の Readme ファイルを必ず一読してからインストールを行ってください。Readme ファイルには、注意事項やトラブル発生時の対処方法などの情報が掲載されています。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
2. 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名（LP-7700）をクリックして［次へ］をクリックします。
3. 以下の画面が表示されたら［ LPT 接続時の印刷の高速化 ］をクリックして［次へ］をクリックします。

4 ［はじめにお読みください］をダブルクリックして参考情報をお読みいただいてから、［EPSON プリンタポートのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

5 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

6 インストールが終了したら［OK］ボタンをクリックします。

7 Windows を再起動します。

必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。再起動させずに以降の作業を行うと、動作が不安定になります。

8 本機のプロパティ画面を表示します。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］を選択してから［プリンタ］をクリックします。本機のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

9 ［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
  ［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。［閉じる］ボタンをクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
  次の ⑩ へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
  次の ⑩ へ進みます。

⑩ **EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順でIRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させせます。**

① [ポートの構成] ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます）。

② [IRQ]、[DMA] の設定を行います。[リソースの設定] から [IRQ]、[DMA] をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。

EPS_LPT ﾎﾟｰﾄの構成
情報 | EPS_LPT1 | EPS_LPT2
EPSONﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ(EPS_LPT2)
ﾘｿｰｽの設定(R):

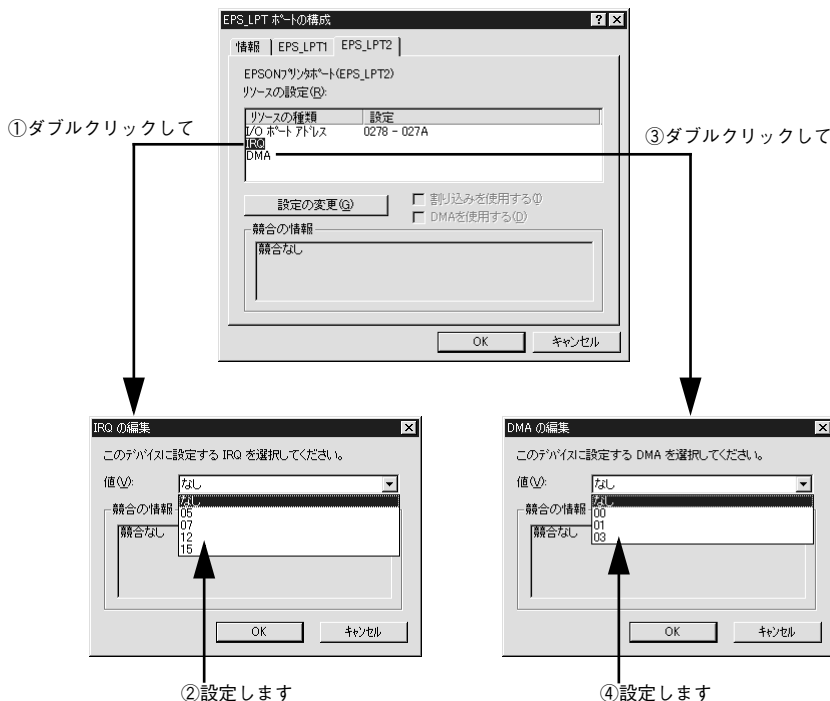
ﾘｿｰｽの種類	設定
I/O ﾎﾟｰﾄ ｱﾄﾞﾚｽ	0278 - 027A
IRQ	
DMA	

設定の変更(G)
割り込みを使用する(I)
DMAを使用する(D)
競合の情報
競合なし
OK キャンセル

①ダブルクリックして
③ダブルクリックして

IRQ の編集
このﾃﾞﾊﾞｲｽに設定する IRQ を選択してください。
値(V): なし
なし
05
07
12
15
競合の情報
競合なし
OK キャンセル

DMA の編集
このﾃﾞﾊﾞｲｽに設定する DMA を選択してください。
値(V): なし
なし
00
01
03
競合の情報
競合なし
OK キャンセル

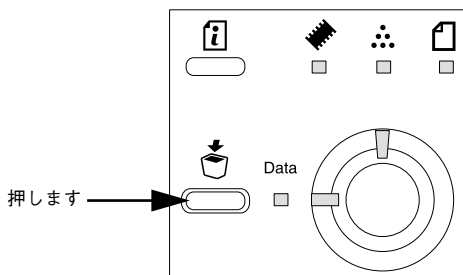
②設定します
④設定します

③ [OK] ボタンをクリックして [ダイアログ] 画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。[プロパティ] 画面を閉じてから再起動してください。

これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

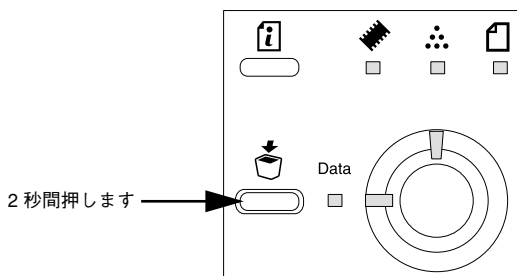
プリンタドライバを再インストールした場合には、⑧ 〜 ⑩ に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

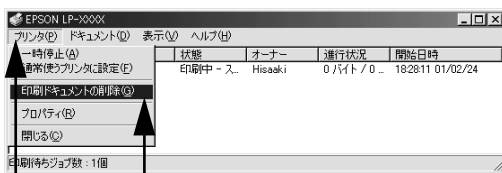
印刷の中止方法

プリンタ上の印刷処理を中止するときは、以下の方法で印刷データを削除します。

1 **［ジョブキャンセル］スイッチを押します。**

印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

2 **さらにすべての印刷データを削除するには、［ジョブキャンセル］スイッチを約 2 秒間押し続けます。**

プリンタが受信したすべての印刷データが消去され、データランプが消灯します。

コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。

1 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

2 ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］または［印刷ジョブのクリア］をクリックします。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /USB デバイスドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3）を削除する手順を説明します。

ポイント

- USBデバイスドライバは、USB接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- EPSON プリンタソフトウェアCD-ROM をコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

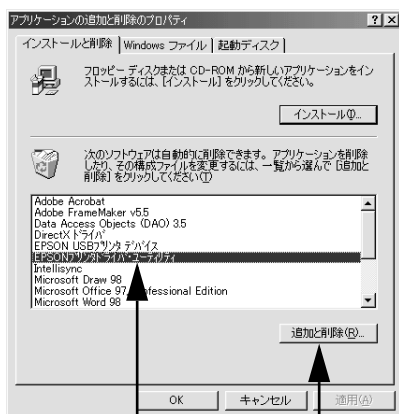
1. 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。
2. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。
3. ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 **削除するドライバを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。**

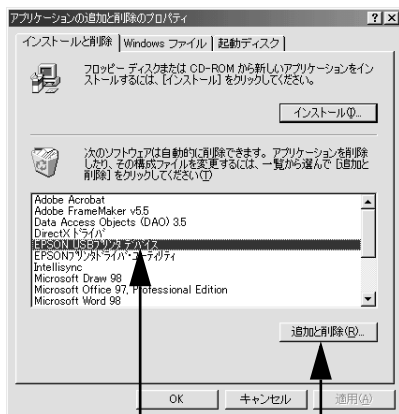
Windows2000 の場合は［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、削除対象となる項目をクリックして［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

- **プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合：**

  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックして、以下のページへ進みます。

  本書 123 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

- **USB デバイスドライバを削除する場合：**

  ［EPSON USB プリンタデバイス］をクリックして、以下のページへ進みます。

  本書 125 ページ「USB デバイスドライバの削除」

ポイント

- ［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。
- インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。

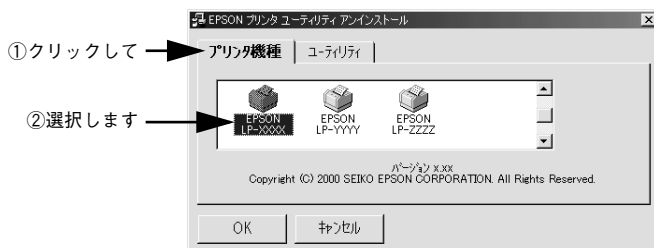
①コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

- **EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを削除する場合：**
  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックして、以下のページへ進みます。
  ☞ 本書 126 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除」

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

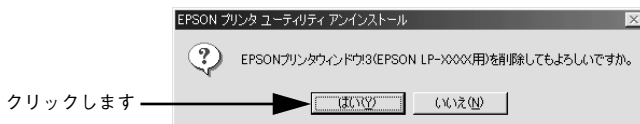
以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

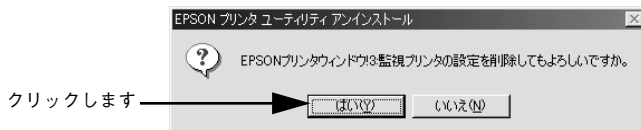
121 ページ手順 4 から続けてください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、お使いのプリンタ（LP-7700）のアイコンを選択します。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-7700 用）にチェックマークが付いていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ！ 3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-7700 用）の削除が始まります。

ポイント

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 **プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。

ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを [通常使うプリンタ] として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを [通常使うプリンタ] に設定します。メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

9 **終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。**

これでプリンタドライバとEPSON プリンタウィンドウ !3 の削除(アンインストール)は終了です。

ポイント

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB デバイスドライバの削除

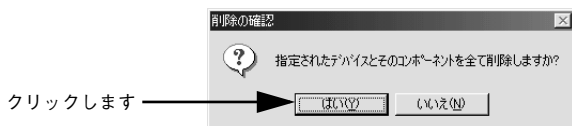
Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なドライバです。

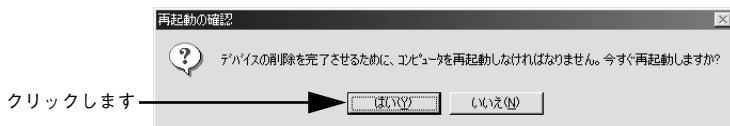
- USB デバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USBデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 121 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［はい］をクリックします。

USB デバイスドライバの削除が始まります。

❻ ［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。

これで USB デバイスドライバの削除は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

121 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

❻ ［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSONプリンタウィンドウ !3（LP-7700 用）］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ！ 3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

❼ 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-7700 用）の削除が始まります。

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

これでEPSONプリンタウィンドウ !3（LP-7700用）の削除（アンインストール）は終了です。

プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ!3 を再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

追加ドライバを削除するには（Windows 2000）

Windows 2000 プリントサーバにクライアント用の追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

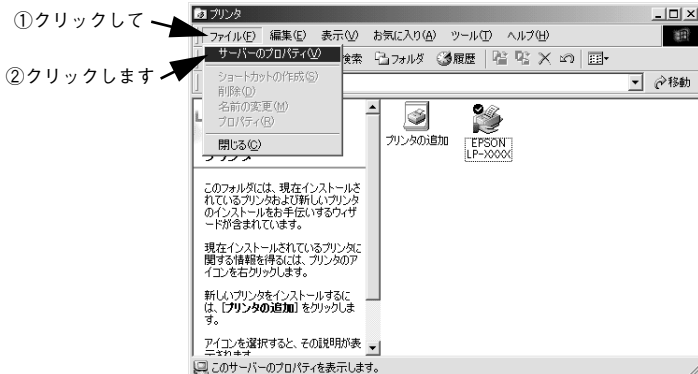
ポイント

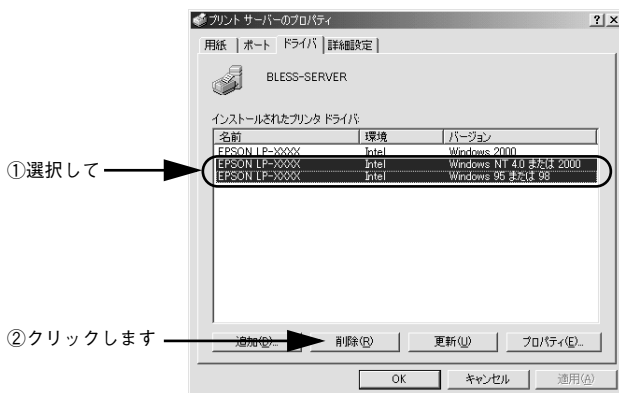
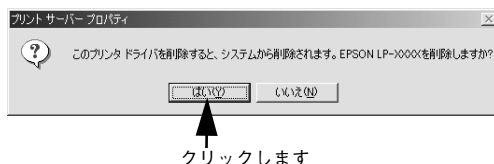
Windows NT4.0 プリントサーバにインストールされている代替ドライバは削除することができません。

- プリンタドライバ自体を削除しても代替ドライバは削除されません。
- プリンタドライバをバージョンアップする場合は、バージョンアップしたプリンタドライバを代替ドライバとして再度インストールしてください。上書きインストールされた代替ドライバは問題なく動作します。

1. 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［プリンタ］をクリックします。

3. ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。

4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタ ドライバ］リストを開きます。

5 削除したい追加ドライバをクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

7 ［閉じる］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Macintosh でお使いの際に関係する情報について説明しています。

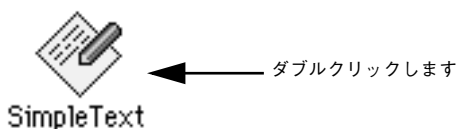
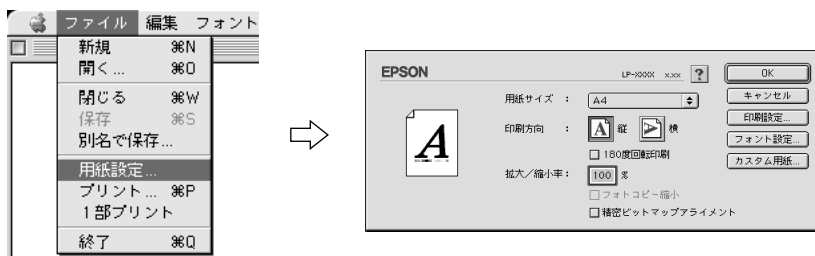
設定ダイアログの開き方

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。アプリケーションソフトによっては、独自の［用紙設定］ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

ポイント

用紙設定をする前に、お使いのプリンタ用のプリンタドライバをセレクタで選択してください。
☞スタートアップガイド 43 ページ「プリンタドライバの選択」

1 ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

2 ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。

3 **必要な項目を設定します。**

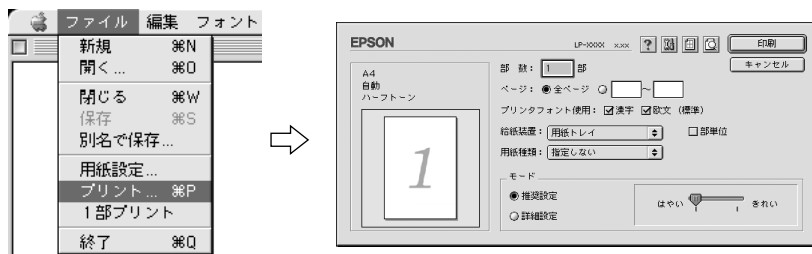
設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。
☞ 本書 133 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
☞ 本書 134 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」
☞ 本書 137 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

4 ［OK］ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

印刷の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

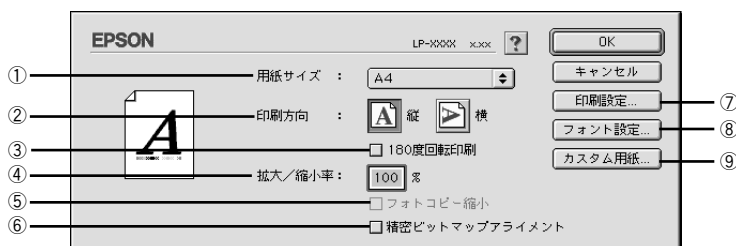
1 ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2 印刷に必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 139 ページ「［プリント］ダイアログ」
本書 144 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
本書 149 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

3 ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙にフィットページ印刷を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。

本書 149 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、［縦］、［横］のいずれかを選択します。

③180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

⑤フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合に、指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、［フォトコピー縮小］を選択している場合は選択できません。

⑦［印刷設定］ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

本書 139 ページ「［プリント］ダイアログ」

⑧［フォント設定］ボタン

Macintosh のディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントに置き換えるための設定を行います。設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 134 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

［印刷モード］が［CRT 優先］で［180 度回転印刷］をする場合は、フォントの置き換えはできません。

⑨［カスタム用紙］ボタン

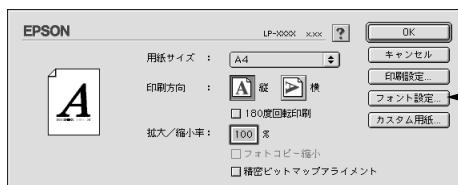
用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

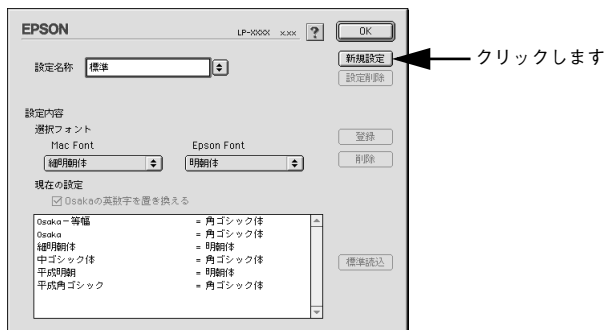
本書 137 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには

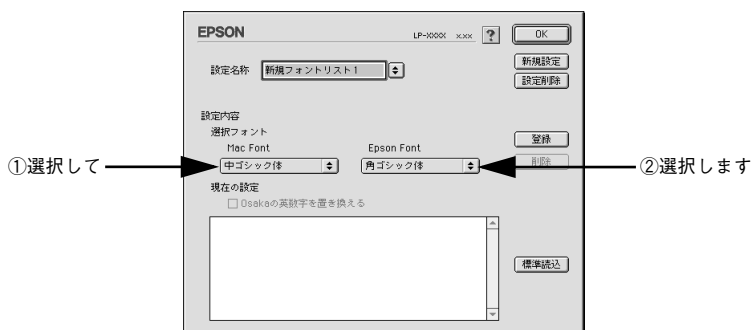
Macintosh のディスプレイ上で表示されているフォントを、プリンタに内蔵されているフォントに置き換えて印刷するための置き換えフォントの設定を行います。ここで設定した内容は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。プリンタフォントを使用して印刷すると、印刷速度が速くなります。

［印刷モード］を［CRT 優先］に設定して［180 度回転印刷］をする場合は、フォントの置き換えはできません。

1 ［用紙設定］ダイアログで［フォント設定］ボタンをクリックします。

2 ［新規設定］ボタンをクリックします。

- すでに登録されている設定を変更する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し 4 へ進みます。
- すでに登録されている設定を削除する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し、［設定削除］ボタンをクリックします。

3 ［設定名称］ボックスに、登録名を入力します。

4 ［Mac Font］リストから置き換え対象となるフォントを選択し、［Epson Font］リストから置き換えるプリンタフォントを選択します。

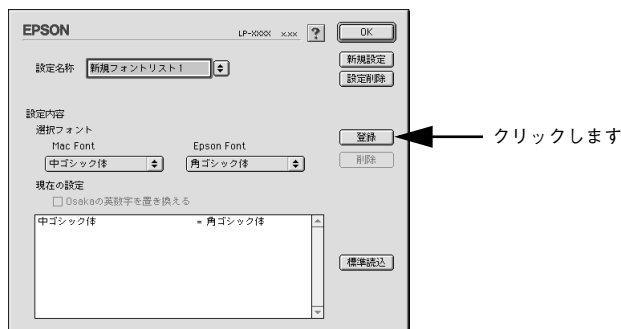
［標準読込］ボタンをクリックすると、標準で用意している置き換えフォントの設定を読み込むことができます。

［標準］以外の置き換えフォント登録では、Osaka フォントに限り漢字フォントと英数字フォントを別々に置き換え設定できます。

①［Mac Font］リストから Osaka フォントを選択します。

②Osaka の英数フォントを置き換えるには、［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを付けます。Osaka の漢字フォントを置き換えるには、［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを外します。

③［Epson Font］リストから置き換える英数フォントを選択します。

5 ［登録］ボタンをクリックします。

- ［現在の設定］に登録されます。
- ［現在の設定］に登録された置き換えの設定を削除する場合は、［現在の設定］の一覧から選択し、［削除］ボタンをクリックします。

6 ほかに置き換えたいフォントがある場合は、4 と 5 を繰り返します。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

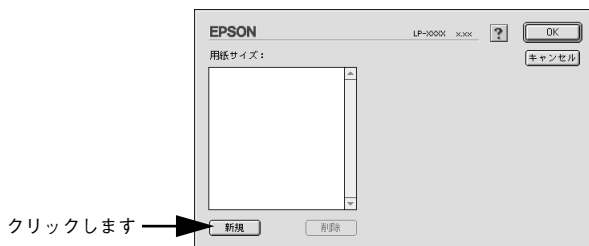
以上で、置き換えフォントの登録が保存されました。

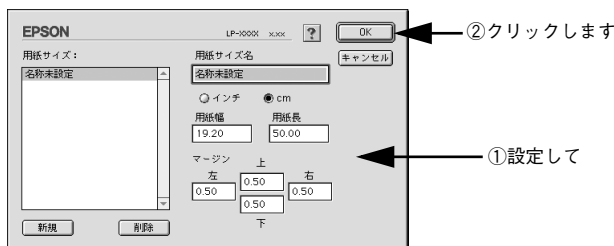
- 保存した置き換え方法を使用する場合は、［設定名称］のポップアップメニューから設定した名称を選択してください。
- 登録したフォント置き換えの設定は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。登録した置き換えフォントの設定は、［詳細設定］ダイアログからも選択できます。

任意の用紙サイズを登録するには

不定形の用紙サイズを設定 / 登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

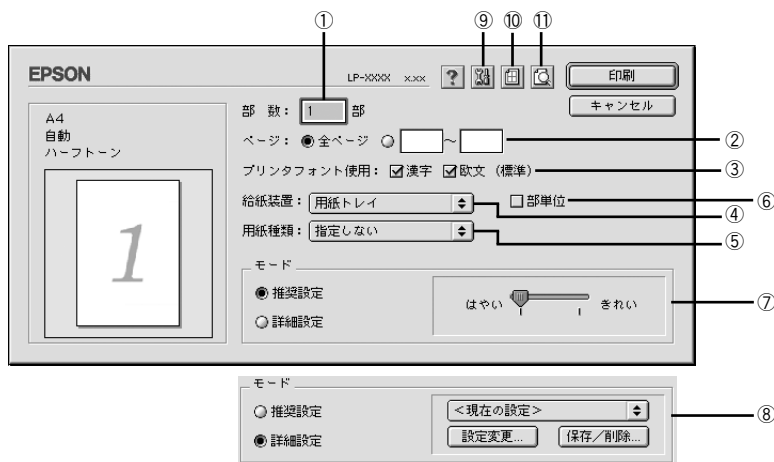
1 ［用紙設定］ダイアログを開き、［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

2 ［新規］ボタンをクリックします。

- 登録できる用紙サイズの数は、64 までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

3 用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

設定できるサイズの範囲は以下の通りです。
用紙幅：8.70 ～ 29.70cm（3.43 ～ 11.69 インチ）
用紙長：10.00 ～ 90.00cm（3.94 ～ 35.43 インチ）

- [用紙長] の最大値は、[プリント] ダイアログの [モード設定] の設定によって異なります。[きれい] で印刷できる用紙長の最大値は 50.80cm（20.00 インチ）となります。50.80cm を超える用紙長の用紙に印刷する場合の印刷品質は [はやい] に固定となります。
- 登録したカスタム用紙サイズは、[用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] リストから選択します。
- 不定形紙への印刷は、いくつか注意していただく点がありますので、以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 30 ページ「不定形紙への印刷」

［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑥の［部単位］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを1～9999の範囲で入力します。

③プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

本書134ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

漢字：

クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。

欧文：

クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

ポイント

- ［印刷モード］を［CRT優先］に設定して［180度回転印刷］をする場合は、フォントの置き換えはできません。
- 登録した置き換えフォントの設定名称は［フォント設定］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで選択し、現在選択されている設置名称が［プリント］ダイアログに表示されます。

④給紙装置
給紙装置を選択します。

自動選択：
印刷実行時に、[用紙サイズ] と [用紙種類] の設定に合った用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。

用紙トレイ：
用紙トレイから給紙する場合に選択します。

用紙カセット1：
標準の用紙カセットから給紙する場合に選択します。

用紙カセット2～3：
オプションの増設カセットユニット（ユニバーサルカセットユニットまたは大容量カセットユニット）にセットしている用紙カセットから給紙する場合に選択します。オプションの用紙カセットは、上から2～3の番号が割り当てられています。

- 用紙トレイにセットした用紙のサイズは、プリンタ本体の [トレイ紙サイズ] スイッチで必ず設定してください。また、[トレイ紙サイズ] スイッチに表示のない用紙サイズを使用する場合は、[トレイ紙サイズ] スイッチを [ドライバで設定] に合わせ、EPSON リモートパネル！で設定します。
  ☞本書 172 ページ「[設定] ダイアログ」
- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
  ☞本書 147 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
- [自動選択] を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、[レイアウト] ダイアログの [出力用紙] で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  ☞本書 149 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

⑤用紙種類
特殊紙（OHP シート、ラベル紙、厚紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。
☞本書 31 ページ「用紙タイプ選択機能」

項目	説明
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。「給紙装置」は [自動選択] に設定されます。
OHP シート、ラベル、厚紙	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。[給紙装置] は [用紙トレイ] に設定されます。
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。

- プリンタドライバで用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
- 用紙サイズをハガキ、往復ハガキ、または封筒にした場合は、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なくプリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑥部単位

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［部単位］で設定してください。

⑦推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。

はやい / きれい：

［推奨設定］を選択している場合は、印刷品質（解像度）を［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

- ［はやい］：文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
- ［きれい］：写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。

⑧詳細設定モード

詳細設定メニューと ［設定変更］/［保存 / 削除］ボタンが表示されます。

詳細設定メニュー：

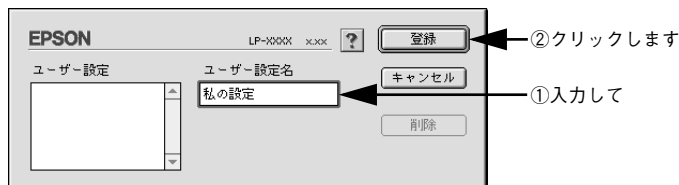
［保存 / 削除］ボタンで保存した設定を選択できます。

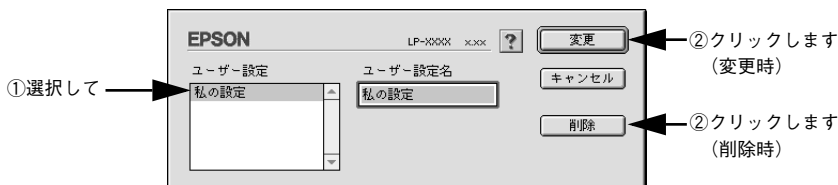
［設定変更］ボタン：

［詳細設定］ダイアログが開きます。以下のページを参照してください。

本書 144 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

［保存 / 削除］ボタン：

［プリント］ダイアログで設定した内容を保存または削除するためのダイアログが表示されます。［ユーザー設定名］を入力して、［登録］ボタンをクリックしてください。

保存した設定を変更または削除できます。

- 設定を変更する場合は、最初に［プリント］ダイアログで設定を変更してから変更の対象となる設定名を［ユーザー設定］リストから選択し、［変更］ボタンをクリックしてください。
- 設定を削除する場合は、削除する設定名を［ユーザー設定］リストから選択して［削除］ボタンをクリックしてください。

⑨ （［拡張設定］アイコン）

印刷位置のオフセット値、印刷濃度、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 147 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑩ （［レイアウト］アイコン）

レイアウトに関する設定ができます。詳細については、以下のページを参照してください。

本書 149 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑪ （［プレビュー］アイコン）

アイコンをクリックすると［印刷］ボタンが［プレビュー］ボタンに変わります。［プレビュー］ボタンをクリックすると、［プレビュー］ダイアログが表示されて印刷結果をモニタ上で確認できます。

※※※ EPSON LP-XXXX 用プリンタドライバについて ※※※

このファイルには EPSON LP-XXXX プリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
詳しい取り扱いに関しては、取扱説明書を参照してください。

--- インストーラについて ---
■ウイルス感染防止プログラムが起動していると、正常にインストーラプログラムが動作しません。
ウイルス感染防止プログラムをオフにしてから、インストールを開始して下さい。

--- プリンタフォント使用機能について ---
■プリンタフォントを使用して印刷する場合、文字と図形等を重ねて印刷すると、画面と同じように印刷されないことがあります。この場合、“プリンタフォント使用”のチェックをはずしてください。
■回転文字を印刷する場合、アプリケーションによってはプリンタフォントを使用できないものがあります。
■特殊文字（省略記号、単位、装飾文字、装飾英字、ローマ字、ギリシャ文字、ロシア文字、罫線の文字）を“プリンタフォント使用”で印刷した場合、正しく印字されない場合があります。この場合、“プリンタフォント使用”のチェックをはずしてください。
■180度回転を設定した場合、プリンタフォントは使用できません。

--- PGI使用について ---
■印刷ダイアログの印刷モードを“ PGI”にした場合、イメージと図形等を重ねて印刷したときに、画面と同じように印刷されないことがあります。この場合、印刷モードを“ハーフトーン”に設定してください。
■印刷ダイアログの印刷モードを“ PGI”にした場合、文字、図形、イメージがギザギザになったり線幅が変わったりする場合があります。この場合、 PGI設定の画質を“品質優先”にしてください。

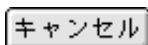
--- プレビュー機能について ---
■180度回転はプレビューに反映されません。
■図形やイメージなどの下に文字があるデータの場合、実際の印刷とプレビューが異なる場合があります。

--- その他 ---
■セレクタのセットアップの最高解像度を「高解像度」に設定した場合、アプリケーションによっては正常に印刷できない場合があります。この場合、最高解像度を「標準」にしてください。
■他のプリンタを使用して作成した文書を印刷する場合、印刷方向以外は初期設定になります。この場合の用紙サイズは A4になります。

- 1 -

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。
- ［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［自動］を選択している場合は、［標準］/［CRT 優先］のどちらで印刷されているかが表示されます。

：表示するページを 1 ページごとに切り替えるボタンです。

1 ／2：表示させるページ番号を直接入力します。

キャンセル ：［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。

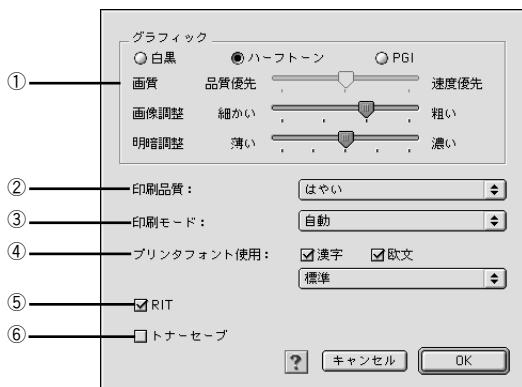
印刷 ：印刷を開始するボタンです。

：印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。

：印刷結果と同等のサイズで表示します。

：印刷データを拡大して表示します。

［詳細設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード］で［詳細設定］をクリックして［設定変更］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

①グラフィック

グラフィックスイメージを処理する方法を選択します。

白黒：

モノクロ印刷を行います。グレースケールや中間色は再現しません。

ハーフトーン：

グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

PGI：

PGI*1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を PGI 処理してきれいに印刷できます。

*1　PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

- プリンタのメモリが少ないと、［PGI］で印刷できない場合があります。［PGI］処理で印刷するには、メモリを増設するか、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、［PGI］を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は［PGI］以外の設定にして印刷してください。

画質：

［PGI］を選択したときのみ、［画質］を 3 段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は［速度優先］に、印刷品質を上げたい場合は［品質優先］に設定します。

画像調整：

［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 4 段階に調整できます。［細かい］側にスライドするとより細かく、［粗い］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

［細かい］にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になります。コピーをする場合は、［細かい］にしないで印刷することをお勧めします。

明暗調整：

［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［薄い］側にスライドするとより明るく、［濃い］側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。5 段階に調整できます。

②印刷品質

印刷品質（解像度）は、［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

- ［はやい］：文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
- ［きれい］：写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。

③印刷モード

印刷モードを選択します。

自動：

［標準］と［CRT 優先］を自動的に選択して印刷処理を行います。

標準：

印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。

CRT 優先：

すべてのデータをイメージとして印刷します。グラフィックと文字を重ね合わせて正常に印刷できない場合に選択してください。

［CRT 優先］を選択して［180 度回転印刷］をする場合、フォントの置き換えはできません。

④プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。登録してある置き換えフォントの設定は、リストから選択できます。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

本書 134 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

漢字：
文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。

欧文：
文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

［印刷モード］を［CRT 優先］を設定して［180 度回転印刷］する場合、フォントの置き換えはできません。

⑤RIT

［RIT］*1（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

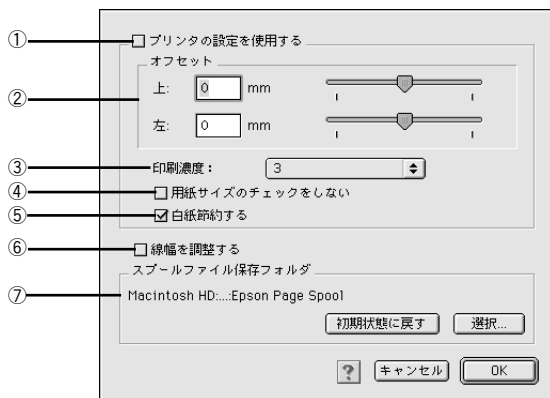
*1　RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の輪郭補正機能です。

RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に階調が変化する画像）を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

⑥トナーセーブ

文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約（トナーセーブ）します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。プリンタの拡張設定に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

①プリンタの設定を使用する

以下の②［オフセット］、③［印刷濃度］、④［用紙サイズのチェックをしない］、⑤［白紙節約する］は、プリンタ本体とプリンタドライバどちらの設定を優先するかを選択できます。

- クリックしてチェックマークを付けると、プリンタ本体の設定を優先します。
- クリックしてチェックマークを外すと、ここ（プリンタドライバ）での設定を優先します（プリンタ本体の設定を無視します）。

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-30mm（上方向）〜 30mm（下方向）
左（水平位置）：-30mm（左方向）〜 30mm（右方向）

③印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

④用紙サイズのチェックをしない

チェックマークを付けると、選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても、用紙サイズエラーにしません。

⑤白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約することができます。

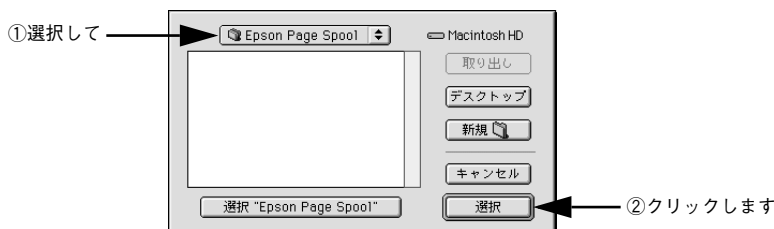
⑥線幅を調整する

図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

⑦スプールファイル保存フォルダ

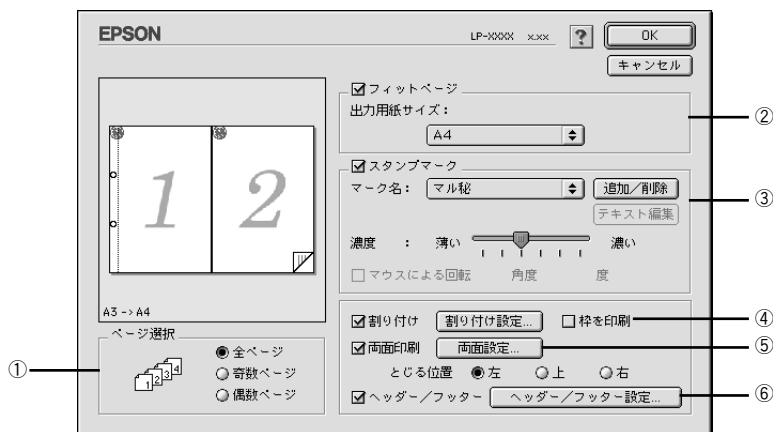
印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

［選択］ボタン：

［拡張設定］ダイアログで［選択］ボタンをクリックしてフォルダの選択ダイアログを表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］ボタンをクリックします。

［初期状態に戻す］ボタン：

スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻すには、［拡張設定］ダイアログで［初期状態に戻す］ボタンをクリックします。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定ができます。

①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小する機能です。フィットページ印刷をするには［フィットページ］にチェックマークを付けて、使用する用紙サイズを選択します。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 151 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

ポイント

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

③スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷するには、［スタンプマーク］にチェックマークを付けて、［マーク名］リストからスタンプマークを選択します。また、［濃度］スライドバーでスタンプマークの印刷濃度が設定できます。印刷するスタンプマークを登録・削除するには、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 152 ページ「スタンプマークを印刷するには」

④割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 157 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

⑤両面印刷

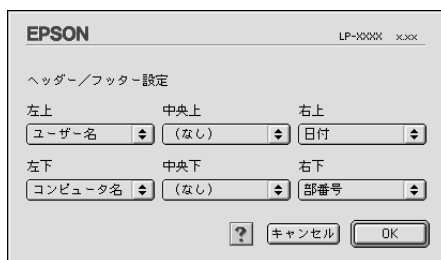
オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択できます。チェックマークを付けると、両面印刷を行います。両面印刷時の［とじる位置］は、［左］、［上］、［右］いずれかにチェックマークを付けます。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 158 ページ「両面印刷をするには」

両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。

- 両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できるのは、A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）サイズの普通紙だけです。それ以外のサイズの用紙、および特殊紙には自動両面印刷はできません。
- 用紙トレイや用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせ、［トレイ紙サイズ］スイッチや［カセット紙サイズ］スイッチを正しく設定してください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。

⑥ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

拡大 / 縮小して印刷するには

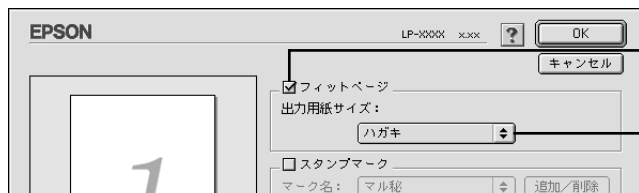
[レイアウト] ダイアログ内のフィットページ機能を使います。フィットページとは、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを拡大 / 縮小する機能のことです。[フィットページ] をチェックし、印刷する用紙のサイズを選択してから印刷を実行します。

- 拡大 / 縮小の倍率は [用紙設定] ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- [用紙設定] ダイアログの [拡大 / 縮小率] は無効になります。

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **[レイアウト] ダイアログを開いて、[フィットページ] をクリックしてチェックマークを付け、[出力用紙サイズ] から [ハガキ] を選択します。**
   この場合 [用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] は [A4] になります。

3. **[OK] ボタンをクリックして [レイアウト] ダイアログを閉じ、[印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のスタンプマーク機能を使います。

①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (PICT[*1] 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除するには、［追加 / 削除］ボタンをクリックして［追加 / 削除］ダイアログを開きます。登録 / 削除の手順については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 154 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］ボタンをクリックすると、登録時と同じダイアログが表示されて、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥マウスによる回転 / 角度

テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてチェックマークを付け、プレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］ボックスに回転角度を直接入力します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付けます。

2. ［マーク名］リストボックスの中から印刷したいスタンプマークを選択します。

3. 印刷位置、サイズなどスタンプマークの印刷条件を設定します。
   - ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグして印刷位置やサイズを変更します。
   - スタンプマークの印刷濃度を［濃度］バーで調整します。
   - テキストマークを選択した場合は、［マウスによる回転］をクリックしてチェックマークを付けてダイアログ左側の印刷イメージ上でテキストマークを回転させるか、直接［角度］を指定します。

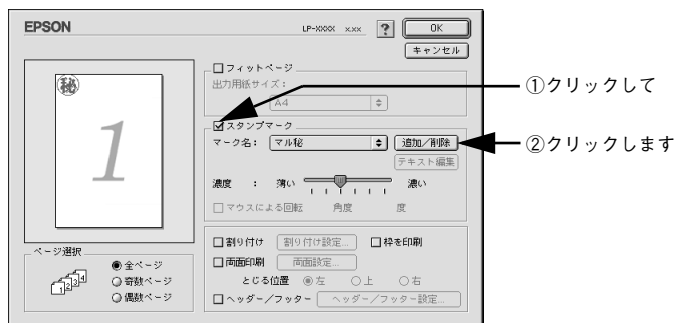
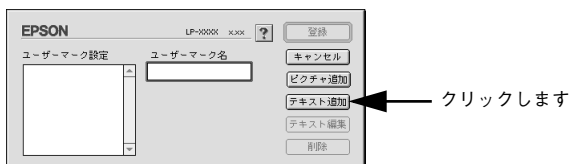
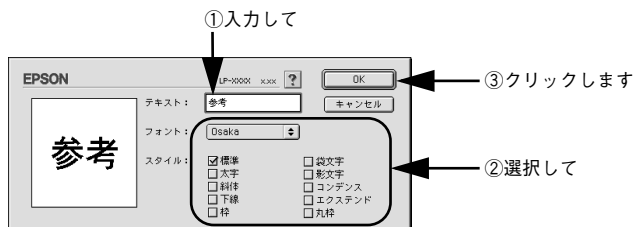
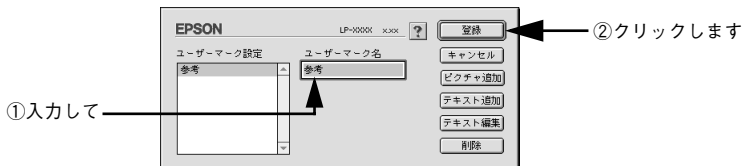
4. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

- オリジナルスタンプマークは 32 件登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

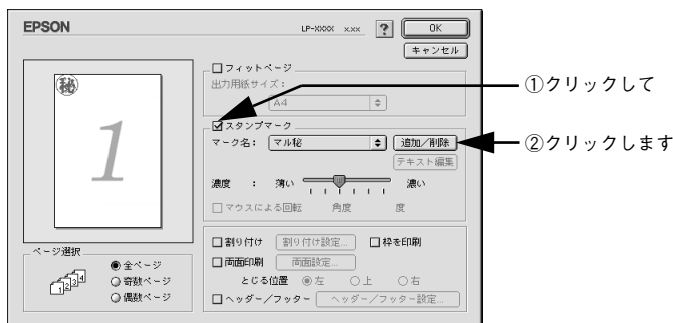
1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 /削除］ボタンをクリックします。

2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。

3. ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］ボタンをクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

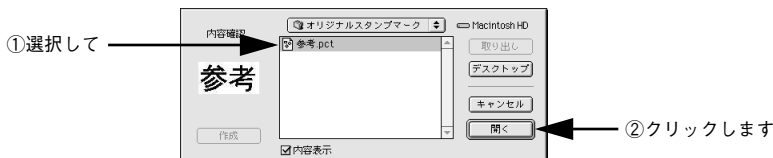
5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。
画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3 ［ピクチャ追加］ボタンをクリックします。

4 **❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。**

［作成］ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

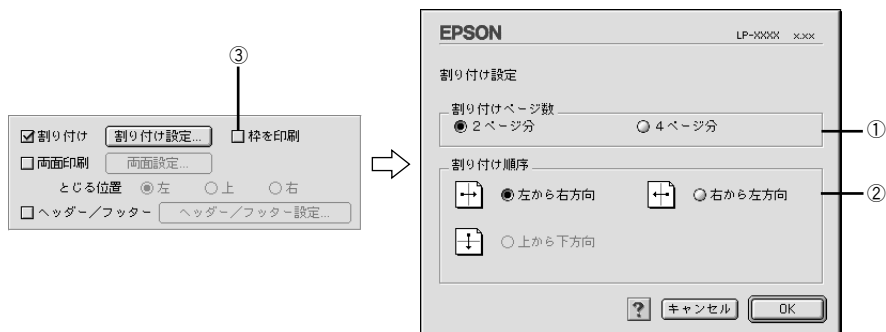
これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックしてチェックマークを付け、［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数
1ページに割り付けるページ数を選択します。

②順序
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

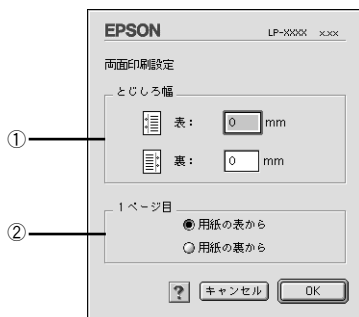
③枠を印刷
割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

割り付け印刷の手順

4ページ分の連続したデータを1枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［割り付け］をクリックしてチェックマークを付けます。
2. ［割り付け設定］ボタンをクリックして、［割り付け設定］ダイアログを開きます。
3. ［割り付けページ数］の［4ページ分］をチェックし、［割り付け順序］を選択します。
4. ［OK］ボタンをクリックして［割り付け設定］ダイアログを閉じます。
5. 割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは、［レイアウト］ダイアログで［枠を印刷］をクリックしてチェックマークを付けます。
6. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］をクリックしてチェックマークを付け、［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され以下の項目が設定できます。

①とじしろ幅

とじしろ幅を用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

②1 ページ目

印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

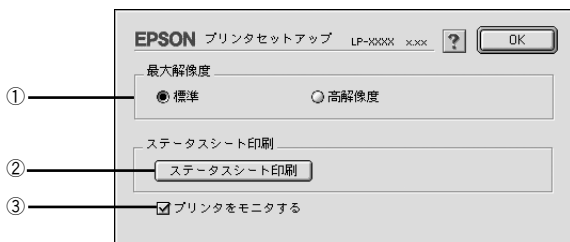
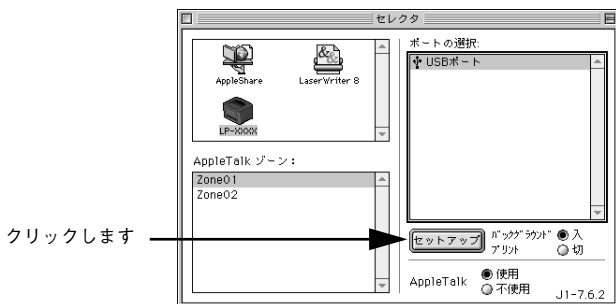
1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。**
2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］をクリックしてチェックマークを付けます。**
3. **［とじる位置］の［左］をクリックします。**
4. **［両面設定］ボタンをクリックして、［両面印刷設定］ダイアログを開きます。**
5. **用紙の表と裏の［とじしろ幅］を設定し、［1 ページ目］を用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを設定します。**
6. **［OK］ボタンをクリックして［両面印刷設定］ダイアログを閉じます。**
7. **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

［プリンタセットアップ］ダイアログ

［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。

アップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。詳しくは、以下のページを参照してください。

スタートアップガイド 43 ページ「プリンタドライバの選択」

例：USB 接続の場合

① 最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

標準：

本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。

高解像度：

本機の解像度を 72dpi/300dpi/600dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。

- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。
- 印刷設定ダイアログで［モード設定］を［きれい］（600dpi）で設定し、印刷するとエラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。

②［ステータスシート印刷］ボタン

ステータスシートを印刷する場合にクリックします。

③プリンタをモニタする

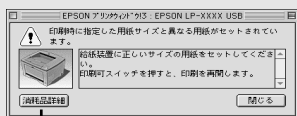
EPSONプリンタウィンドウ!3でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

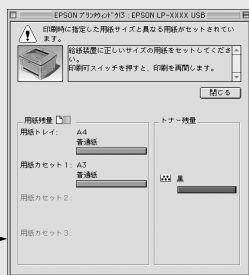
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

プリンタの状態を表示します

ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、[対処方法] ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。[消耗品詳細] ボタンをクリックすると、用紙やトナーの残量が確認できます。

[プリンタ詳細] ウィンドウ

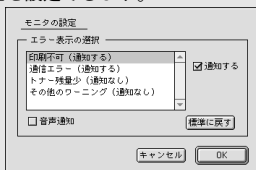
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開きます

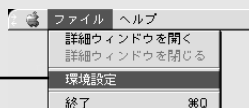
[アップル] メニューから起動

[アップル] メニューから [EPSON プリンタウィンドウ!3] を選択して、[プリンタ詳細] ウィンドウを開くことができます。

動作環境を設定します

[モニタの設定] ダイアログ

どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなど EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定できます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動して、[ファイル] メニューから [環境設定] をクリックすると、[モニタの設定] ダイアログが表示されます。

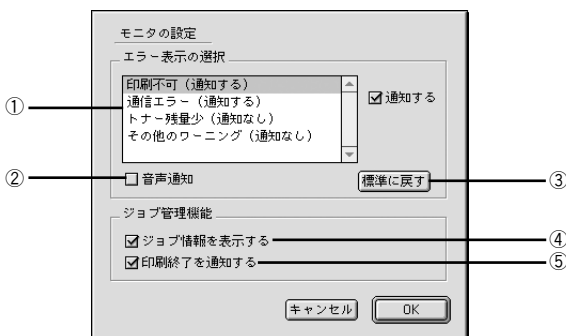
ファイル ヘルプ
詳細ウィンドウを開く
詳細ウィンドウを閉じる
環境設定
終了 ⌘Q

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下の条件でネットワーク接続されている必要があります。

- Open Transport Ver. 1.1.1 以上

Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。

[モニタの設定] ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、[ファイル] メニューから [環境設定] をクリックすると、[モニタの設定] ダイアログが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 のモニタ機能を設定します。

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを、画面通知するかどうかを選択します。リスト内のエラー状況を選択して [通知する] チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③[標準に戻す] ボタン

[エラー表示の選択] を標準（初期）設定に戻します。

④ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に、[プリンタ詳細]ウィンドウにジョブ情報を表示します。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 166 ページ「[ジョブ情報]ウィンドウ」

⑤印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合に、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

本書 167 ページ「[印刷終了通知]ダイアログ」

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、[ジョブ情報を表示する]と[印刷終了を通知する]が表示されます。

本書 162 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、2 通りの方法で[プリンタ詳細]ウィンドウを開くことができます。この[プリンタ詳細]ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

本書 164 ページ「[プリンタ詳細]ウィンドウ」

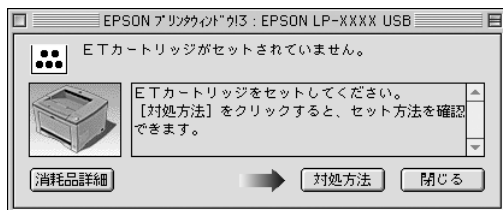
EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが[セレクタ]で選択されているか確認してください。

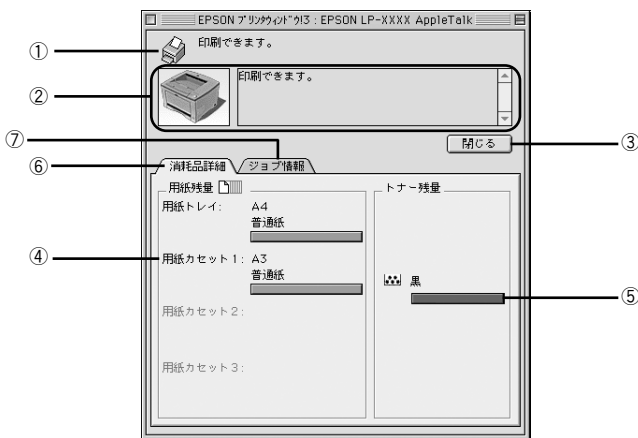
[方法 1]

[アップル]メニューから[EPSON プリンタウィンドウ !3]をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、[プリンタ詳細]ウィンドウが表示されます。

［方法 2］

アプリケーションソフトから印刷を実行して、エラーが発生した場合にプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 168 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

④用紙残量
給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

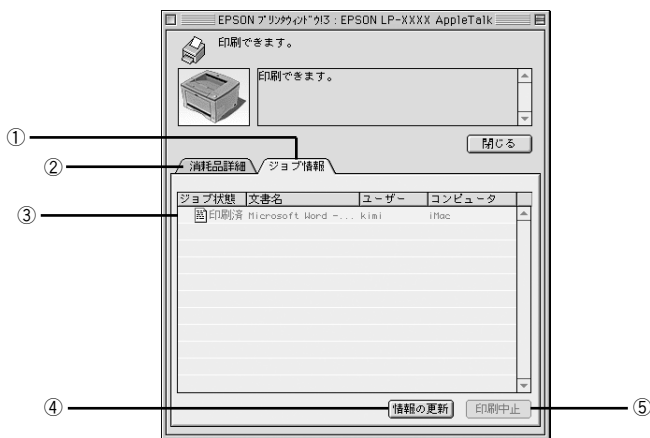
⑤トナー残量
ET カートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

⑥消耗品詳細
ジョブ管理ができる場合に［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。

⑦ジョブ情報
ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示します。詳細は、以下のページを参照してください。
本書 166 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。
本書 162 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリントジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示します。

②消耗品詳細

［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。詳細は、以下のページを参照してください。

本書 164 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

プリンタを直接（ローカル）接続したコンピュータから印刷されたジョブは表示されません。

④［情報の更新］ボタン

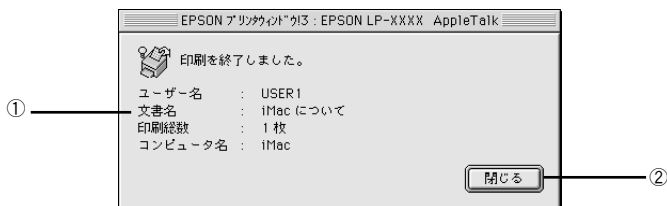
最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

⑤［印刷中止］ボタン

印刷を中止するには、ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックします。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

印刷中止を実行した後でエラーが発生した場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージに従ってエラーを解除してください。
本書 168 ページ「対処が必要な場合は」

［印刷終了通知］ダイアログ

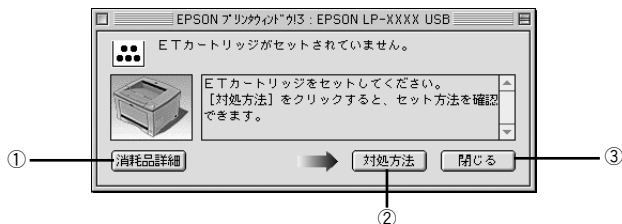
印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。
本書 162 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

① 印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

②［閉じる］ボタン

ダイアログを閉じます。

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①［消耗品詳細］ボタン

クリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 164 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

③［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

EPSON リモートパネル！

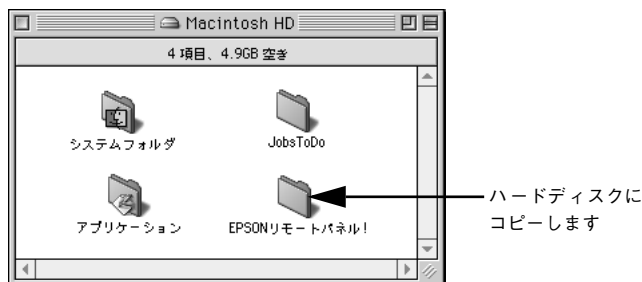
本機のさまざまな機能を設定するには、EPSON リモートパネル！をお使いください。

EPSON リモートパネル！のインストール

EPSON リモートパネル！は、製品添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されています。

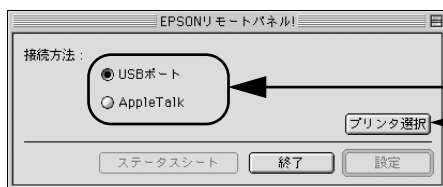
1. **Macintoshを起動した後、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをセットします。**

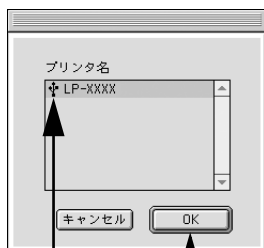
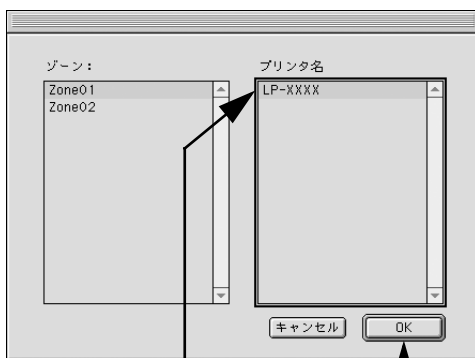
2. **CD-ROM 内の[EPSON リモートパネル !]フォルダを Macintosh のハードディスクにドラッグしてコピーします。**

Macintosh のハードディスク内なら、どこへコピーしてもかまいません。後で探しやすい場所にコピーしてください。

以上でインストールは終了です。

EPSON リモートパネル！の操作方法

1. EPSON リモートパネル！をコピーしたフォルダを開いて、［EPSON リモートパネル !］アイコンをダブルクリックします。

2. プリンタの［接続方法］を選択して、［プリンタ選択］ボタンをクリックします。
   - USB 接続をしている場合は、［USB ポート］をクリックします。
   - オプションのEthernetインターフェイスカードをプリンタに装着してネットワーク環境に接続している場合は、［AppleTalk］をクリックします。

3. プリンタ名（LP-7700）をクリックして選択し、［OK］ボタンをクリックします。

USB 接続時

AppleTalk 接続時

①選択して　②クリックします

ポイント

- AppleTalkゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。
- AppleTalk 接続の場合は、プリンタ名が変更されている場合があります。ネットワーク管理者にご確認ください。

4 ［設定］ボタンをクリックします。

ポイント

［ステータスシート］ボタンをクリックすると、現在の設定値一覧を印刷します。

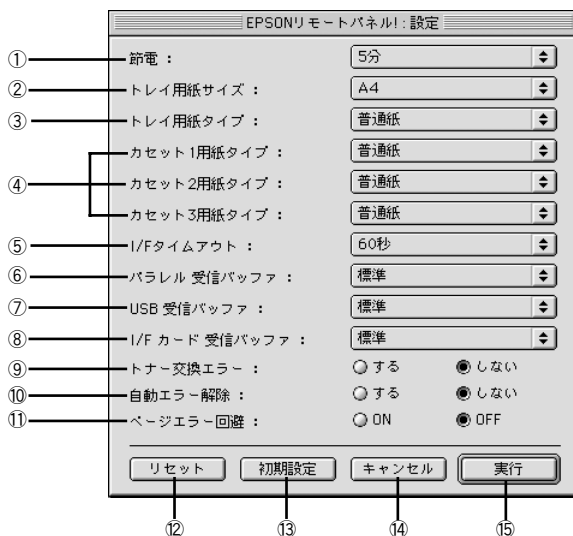
5 ［設定］ダイアログで必要な設定を行ってから［実行］ボタンをクリックします。

詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」

6 ［終了］ボタンをクリックします。

［設定］ダイアログ

［設定］ダイアログでは、以下の機能を設定できます。

設定を変更した場合は［実行］ボタンをクリックすることで有効になります。

① 節電

節電状態に入るまでの時間（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 5 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

② トレイ用紙サイズ

用紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

［用紙設定］ダイアログで設定した［カスタム用紙サイズ］は選択できません。
本書 137 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

③トレイ用紙タイプ

用紙トレイにセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHPシート、ラベル）を設定します。

- 印刷時に設定する［プリント］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイとオプションのロアーカセットユニットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［プリント］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。

本書 31 ページ「用紙タイプ選択機能」

④カセット 1 ～ 3 用紙タイプ

標準の用紙カセット 1 またはオプション用紙カセット 2 ～ 3 にセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき）を設定します。

- 印刷時に設定する［プリント］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイ / カセットとオプションの用紙カセットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［プリント］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。

本書 31 ページ「用紙タイプ選択機能」

［カセット 2 ～ 3 用紙タイプ］は、オプションのユニバーサルカセットユニットまたは大容量カセットユニットを装着している場合のみ設定できます（カセット番号は、上から装着した順番に対応しています）。

⑤I/F タイムアウト

インターフェイスを自動切り替えするときのタイムアウト時間を、20 ～ 600 秒の範囲で 10 秒単位で設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。

⑥パラレル受信バッファ

パラレルインターフェイスの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑦USB 受信バッファ

USB インターフェイスの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑧I/F カード受信バッファ

本機に装着したオプションのインターフェイスカードの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってから電源の再投入をしてください。

設定値	標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑨トナー交換エラー

ET カートリッジのトナーがなくなった場合の対応を設定できます。

設定値	しない（初期設定）	トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。
	する	トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

⑩自動エラー解除

一部のエラー（ページエラーオーバーラン、用紙交換、メモリオーバー）が発生した場合、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。

設定値	しない（初期設定）	上記のエラーが発生した場合、［印刷可］スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。
	する	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約 5 秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

⑪ページエラー回避

複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。

設定値	OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
	ON	ページエラー回避機能を使用します。

- ページエラー回避機能を使用すると場合によっては印刷時間が長くなりますので、通常はオフに設定し、ページエラーが発生するときだけオンに設定してください。
- ［ページエラー回避］をオンにすると、メモリ不足によるメモリオーバーエラーも回避できる場合があります。なお、オンにしてもメモリオーバーエラーが発生した場合は、メモリを増設してください（使用する［受信バッファ］の設定を［最小］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

⑫［リセット］ボタン

プリンタ本体に記憶されている設定値と［設定］ダイアログに表示されている設定値を、一度に工場出荷時の初期値に戻します。確認のダイアログが表示されますので、リセットを実行するかどうかを決定してください。

⑬［初期設定］ボタン

［設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。ただし、設定表示が初期設定になるだけですので、初期設定を有効にするには必ず［実行］ボタンをクリックしてください。

⑭［キャンセル］ボタン

変更した設定を無効にします。

⑮［実行］ボタン

設定を変更した場合は必ずクリックしてください。設定値がプリンタのメモリに書き込まれて有効となります。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、Macintosh がほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。

バックグラウンドプリントを行う場合は、Macintosh ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

例：USB 接続の場合

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も Macintosh で他の作業ができますが、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が使用できます。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止するときにクリックします。

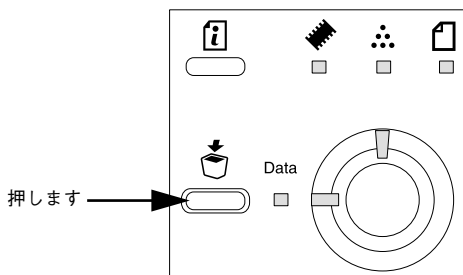
印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④［削除］ボタン

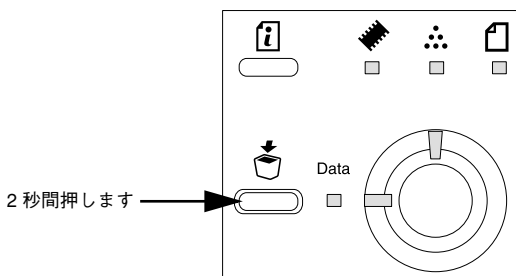
印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

印刷の中止方法

プリンタ上の印刷処理を中止するときは、以下の方法で印刷データを削除します。

1 プリンタの［ジョブキャンセル］スイッチを押します。

印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

2 さらにすべての印刷データを削除するには、［ジョブキャンセル］スイッチを約 2 秒間押し続けます。

プリンタが受信したすべての印刷データが消去され、データランプが消灯します。

コンピュータ上の処理が続いているときは、以下の方法で削除します。

1 コマンド（ ⌘）キーを押したままピリオド（ . ）キーを押して、印刷を中止します。

アプリケーションソフトによっては、印刷中に［印刷］ダイアログを表示するものがあります。ダイアログの印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

2 バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリントモニタ!3 を開いて、印刷状況を確かめます。

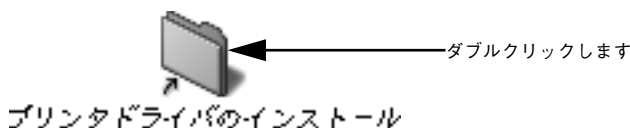
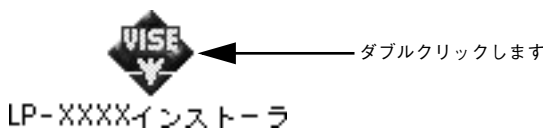
☞ 本書 177 ページ「印刷状況を表示する」

3 EPSON プリントモニタ !3 で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。

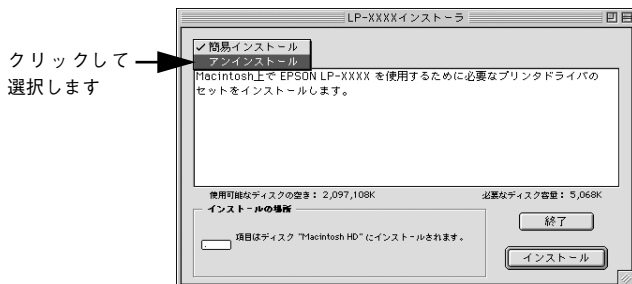
印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

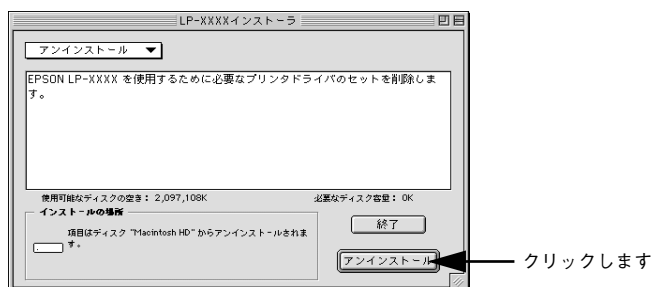
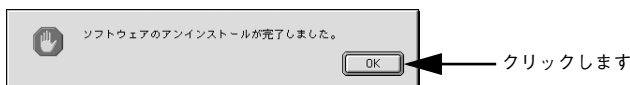
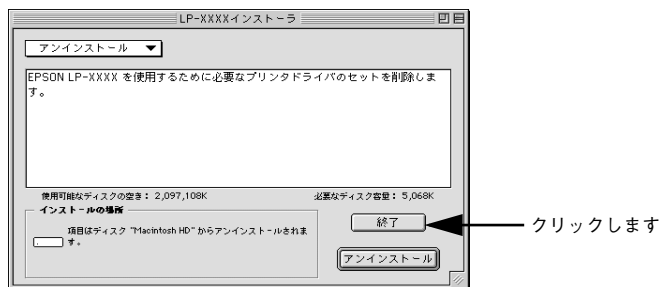
プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

1. 起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。
2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。
3. ［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックして開き、さらにお使いのプリンタのフォルダをダブルクリックして開きます。

4. LP-7700 のインストーラアイコンをダブルクリックします。

5. ［続ける ...］ボタンをクリックします。

6. 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

7 インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。

8 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

プリンタドライバの削除が始まります。

9 ［OK］ボタンをクリックします。

10 ［終了］ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除は終了です。

添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法について説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

EPSON バーコードフォントは、本機で印刷できるバーコードフォントです。バーコード印刷する必要がある場合に、Windows にインストールしてご利用ください。

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B*1 フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。

*1　OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、各種のバーコードを簡単に作成・印刷するためのフォントです。このフォントを使ってデータキャラクタとして必要な文字のみを入力すれば、バーコードに必要なコードやキャラクタは自動的に指定され、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルが簡単に作成・印刷できます。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット*1	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット*1	備考
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

*1　チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。
［基本設定］の［印刷品質］：きれい（600dpi）
［基本設定］-［詳細設定］の［トナーセーブ］：チェックマークなし（OFF）
［レイアウト］の［拡大 / 縮小］：チェックマークなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
（例＜＝＞ ⇨ ⇔）

入力時の注意について

- Code39、Code128 において、一つの行に 2 つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間は TAB で区切ってください。スペース（空白）で区切る場合はバーコードフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。
- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。

- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- Code39、Code128、Interleaved 2of5、NW-7 は、バーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるようにサイズを自動調整します。このため印刷されるバーコードの高さが入力時よりも下方向に大きくなる場合があるため、バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- Code128 において、アプリケーションソフトが行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数のスペースをタブに置き換えるなどの処理を自動的に行うと、スペースを含む Code128 のバーコードは正しく出力されないことがあります。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。

本書 188 ページ「各バーコードの概要」

トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

スタートアップガイド 33 ページ「システム条件の確認」

ハードディスク：15 〜 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

1. コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

3. 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名（LP-7700）をクリックして［次へ］をクリックします。

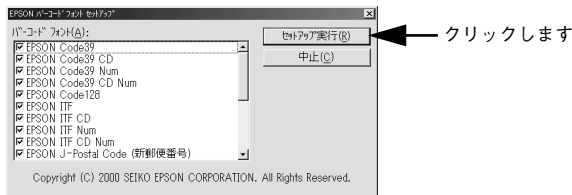
4. 以下の画面が表示されたら［バーコードフォントのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

ポイント

上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

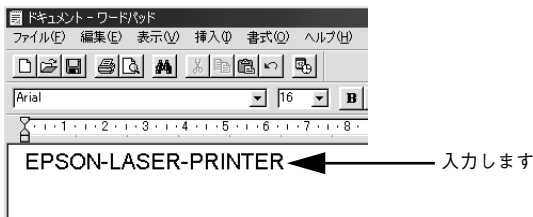
5. 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

6. インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］ボタンをクリックします。

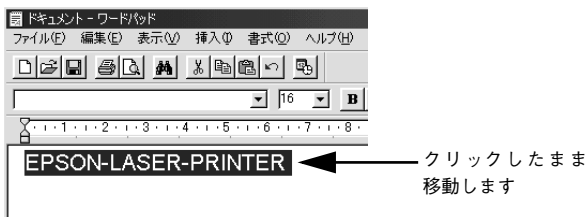
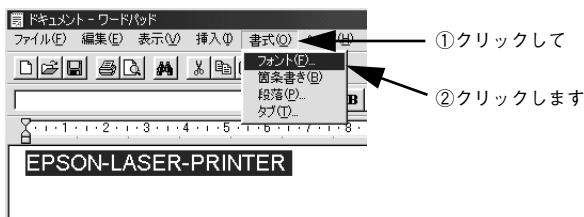
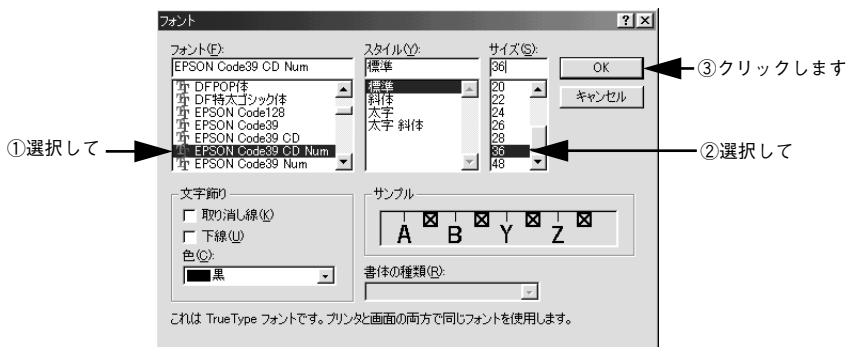
使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

これでEPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここでは Windows 95/98/Me に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

1. ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。

文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

2. 入力した文字をマウスでドラッグして選択します。

選択した範囲が反転表示になります。

3. ［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。

4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSONバーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/2000 では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。

6 印刷を実行します。

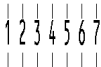
入力したデータがバーコードとして印刷されます。

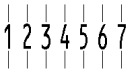
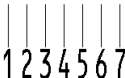
入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8（JAN 短縮バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。
• EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">52 ～ 130pt（Windows NT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-8と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 ～90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

JAN-13（標準バージョン）			
● JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。 ● EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	12 桁		
キャラクタのサイズ	60 〜 150pt（Windows NT/2000 は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● レフト / ライトマージン　● レフト / ライトガードバー ● チェックキャラクタ　● OCR-B　● センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
● JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。 ● バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 ● 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	12 桁		
キャラクタのサイズ	36 〜90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● レフト / ライトマージン　● レフト / ライトガードバー ● チェックキャラクタ　● OCR-B　● センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 Short に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。(UPC Symbol Specification Manual)
• Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">11 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 〜 150pt（Windows NT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">6 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 〜 150pt（Windows NT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• OCR-B　• チェックデジット　• ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">
● Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
● EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
● Code39 ではスペースを“_”(アンダーライン)に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“_”(アンダーライン)を入力してください。
● Code39 で 1 行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字(A ~ Z、0 ~9)
記号(ー . スペース $ / + %)</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B なしの場合:26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合:36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt(Windows NT/2000 は 96pt まで)</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン ● スタート / ストップキャラクタ ● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

Code128

- Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
  Code128 で 1 行に2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

項目	内容
入力可能なキャラクタ	全ての ASCII 文字（95 文字）
入力するキャラクタの桁数	制限なし
キャラクタのサイズ	26 ～ 104pt（Windows NT/2000 は 96pt まで） 保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt

次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

- 左 / 右クワイエットゾーン
- スタート / ストップキャラクタ
- コードセットの変更キャラクタ
- チェックデジット

	入力時	EPSON Code128 に変換	印刷
印刷例	1234567	1234567	

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
- EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000 は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン　● スタート / ストップキャラクタ　● チェックデジット
● 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">
● NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
● EPSONバーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4 種類のフォントを用意しています。
● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはNW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
● スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSONバーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
● スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000は 96ptまで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン　● スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
- EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）ー新郵便番号（4 桁）ー住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
- 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
- アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）、英文字（A 〜 Z）、記号（ー）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 〜 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

- バーコードの上下左右 2mm の空白
- 入力時のー（ハイフン）の削除
- スタート / ストップコード
- 住所表示番号の 13 桁調整
- チェックデジット

</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 ー 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。

本製品に添付のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMにはEPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

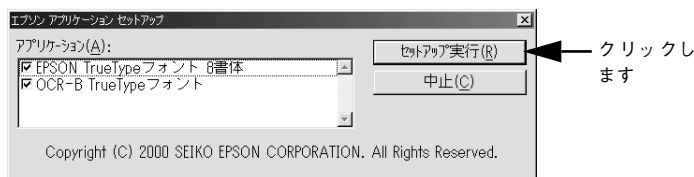
Windows でのインストール

1. コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。
2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
3. 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名（LP-7700）をクリックして［次へ］をクリックします。
4. 以下の画面が表示されたら、［アプリケーションのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

上の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

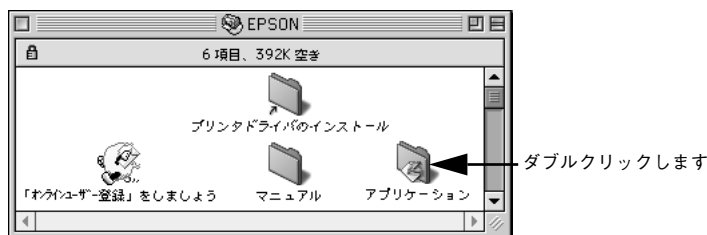
5 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意する] をクリックします。**

6 **インストールするフォントをチェックして [セットアップ実行] ボタンをクリックします。**

使用しないフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

Macintosh でのインストール

1 **Macintoshを起動した後、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをセットします。**

2 **[アプリケーション] フォルダをダブルクリックして開きます。**

3 **インストールするアプリケーションのフォルダをダブルクリックします。**

4 ［フォントインストール］アイコンをダブルクリックします。

5 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意します］をクリックします。

6 フォントをインストールします。

- ［簡易インストール］を選択すると、すべてのフォントがインストールされます。［インストール］ボタンをクリックします。
- ［カスタムインストール］を選択すると、インストールするフォントが選択できます。インストールする書体を選択して、［インストール］ボタンをクリックします。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介と装着方法について説明します。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2001 年 11 月現在のものです。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

	メーカー	機種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	ー
	NEC	PC-98NX シリーズ		
PC-98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	#8238	*1 *2
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1 *2
		PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
	NEC	PC-9801 シリーズデスクトップ（14 ピン）	#8238	*1 *2 *3
		PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1 *2 *3

*1 拡張漢字（表示専用 7921 ～ 7C7E）は印刷できません。
*2 Windows 95/98/Me の双方向通信機能および EPSON プリンタウィンドウ !3 は、コンピュータの機能制限により対応できません。
*3 ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。

- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECP モード対応コンピュータを ECP モードで接続する場合、PRCB4N をご使用ください。

接続方法については以下のページを参照してください。
☞ スタートアップガイド 19 ページ「パラレルインターフェイスケーブルの接続」

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

● EPSON USB ケーブル（型番：USBCB1）

ポイント

USB ハブ（HUB：複数のコンピュータをネットワーク環境へ接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法については以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド 19 ページ「USB インターフェイスケーブルの接続」

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。設定などについてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
PRIF4	シリアルI/F カード（バッファ：32KB）	本機をシリアルで接続するためのオプションです。
PRIF5E	IEEE1284 双方向パラレル I/F カード	本機に IEEE1284 規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう 1 つ増設するためのオプションです。
PRIF13	IBM5577 プリンタエミュレーションカード	本機に装着することで、IBM5577-H02 プリンタのエミュレーションを実現するオプションです。
PRIFNW3S	100BASE-TX/10BASE-T マルチプロトコルEthernet I/F カード	IPX/SPX 、TCP/IP 、AppleTalk 、NetBEUI に対応しています。本機を Ethernet 接続するためには、次のいずれかのケーブルが必要です。 • Ethernet 100BASE-TX シールドツイストペアケーブル（カテゴリー5） • Ethernet 10BASE-T ツイストペアケーブル

取り付け方法については以下のページを参照してください。

☞ 本書 213 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

両面印刷ユニット

用紙の両面に印刷するための装置です。

型番	商品名	備考
LPDSP4	両面印刷ユニット	• 使用できる用紙種類：普通紙* • 使用できる用紙サイズ： A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）

* 普通紙については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

取り付け方法については以下のページを参照してください。
☞ 本書 216 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」

用紙カセットユニット

オプションの用紙カセットユニットをプリンタ下部に 2 段まで自由に組み合わせて装着することができます。

型番	商品名	備考
LPUC2	ユニバーサルカセットユニット（標準で付いているカセットユニットと同じ型です）	• 使用できる用紙サイズ： A3、A4、B4、B5、A5、Letter（LT）、Legal（LGL） • 用紙カセット容量:最大250枚(普通紙64g/m²)
LPDC7	大容量カセットユニット	• 使用できる用紙サイズ：A4 のみ • 用紙カセット容量： 最大500 枚（普通紙 64g/m²）

取り付け方法については以下のページを参照してください。
☞ 本書 219 ページ「オプションカセットユニットの取り付け」

また、標準の用紙カセットまたはオプション（LPUC2）の用紙カセットと差し替えて使用できる用紙カセットのみをご用意しています。

型番	商品名	備考
LPYC6	用紙カセット	• 使用できる用紙サイズ： A3、B4、A4、A5、B5、Letter（LT）、Legal（LGL） • 用紙カセット容量： 最大250 枚（普通紙 64g/m²）

ET カートリッジ

印刷用トナーとドラムが一体になったカートリッジです。

型番	商品名
LPA3ETC12	ET カートリッジ（A4 画占率 5% で約 6,000 枚印刷可能）*
LPA3ETC13	ET カートリッジ（A4 画占率 5% で約 10,000 枚印刷可能）*

* ET カートリッジの寿命は、トナー残量のほかに感光ドラムの回転数（印刷時や、ウォームアップおよび印刷終了時の回転）によって決まるため、印刷条件（画占率、用紙サイズ、印刷の間隔など）によってはトナーがなくなる前に ET カートリッジの寿命に達することがあります。

交換方法については以下のページを参照してください。

☞ 本書 227 ページ「ET カートリッジの交換」

LP-8700/LP-8100 用 ET カートリッジ（LPA3ETC7/LPA3ETC8）はご使用になれません。

増設メモリ

メルコ製の以下のメモリを使用することにより、プリンタの内部メモリ（標準搭載メモリ容量 8MB*1）を増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。

*1 標準搭載のメモリを取り外すことはできません。

使用できるメモリの入手方法などについては、（株）メルコのお客様窓口までお問い合わせください。

型番	容量	使用可能なメモリ容量
EP01-16M	16MB	24MB
EP01-32M	32MB	40MB
EP01-64M	64MB	72MB
EP01-128M	128MB	136MB

取り付け方法については以下のページを参照してください。

☞ 本書 206 ページ「増設メモリの取り付け」

フォームオーバーレイユーティリティソフト

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。フォームオーバーレイユーティリティソフトは、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷は Windows プリンタドライバ上で行います。

型番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（Windows 上で使用可能）

リファレンスマニュアル

プリンタ制御コマンドの説明書です。ESC/Page または ESC/P コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名	機種固有情報について
ESC/Page リファレンスマニュアル－第 4 版－	ESC/Page リファレンスマニュアルの情報にはすべての機種に共通な情報と機種固有の情報があります。本機の機種固有情報につきましては、LP-9200 の項目をご覧ください。
ESC/P リファレンスマニュアル－第 2 版－	本機は ESC/P J84 に分類されます。

ポイント

上記マニュアルにつきましてはエプソン OA サプライ（株）にてお取り扱いをしています。エプソン OA サプライ（株）のお問い合わせ先は、スタートアップガイド巻末に記載されています。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：0120 − 251 − 528（フリーダイヤル）
	受付時間：AM9:30 〜 PM6:15（土・日・祝祭日を除く）
FAX で	「FAX 情報サービス」をご利用ください。ファクシミリ付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）から電話をおかけになり、音声案内に従って操作してください。必要な情報が 24 時間いつでも取り出せます。
	電話番号:03 −4306 −1182 「FAX 情報サービスメニュー」のBOX番号は001です。

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日PM4:30 までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日
	北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	お取扱いカード ：UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
	支払い回数 ：1 回払い
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。
	電話番号：0120 − 251 − 528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。5,000 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のインターネット、電話、FAX にてご確認ください。

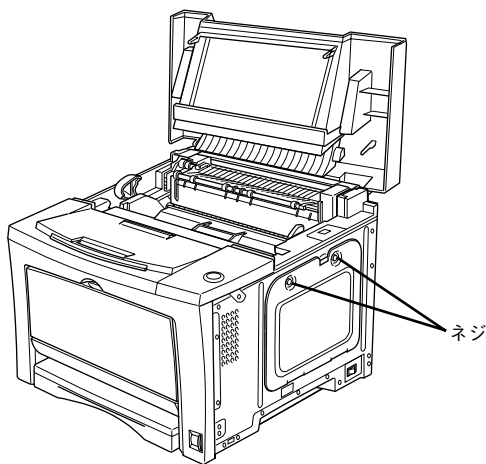
増設メモリの取り付け

ここでは、増設メモリを取り付ける方法について説明します。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

メルコ製の以下のメモリ（1枚のみ）を取り付けることができます（2001年11月現在）。

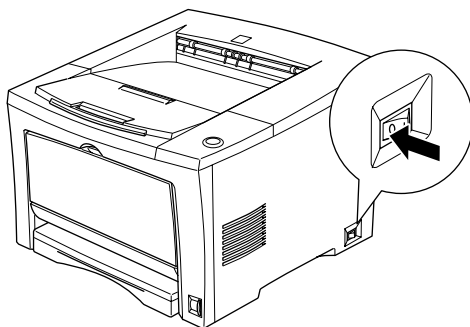
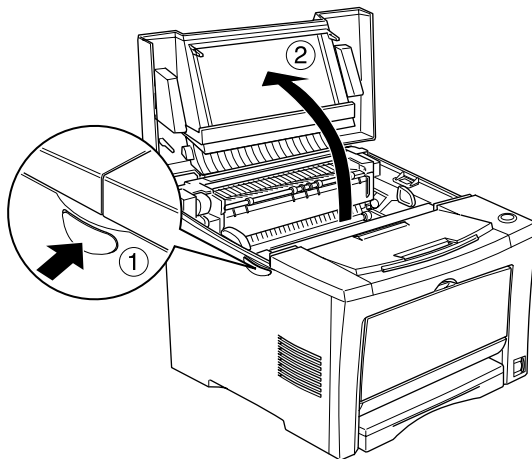
型番	容量	使用可能なメモリ容量
EP01-16M	16MB	24MB
EP01-32M	32MB	40MB
EP01-64M	64MB	72MB
EP01-128M	128MB	136MB

使用できるメモリの入手方法などについては、（株）メルコのお客様窓口までお問い合わせください。

⚠警告
- 指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。
- 本作業で取り外すネジは下図の2個です。指示以外のネジは取り外さないでください。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。

⚠注意	本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

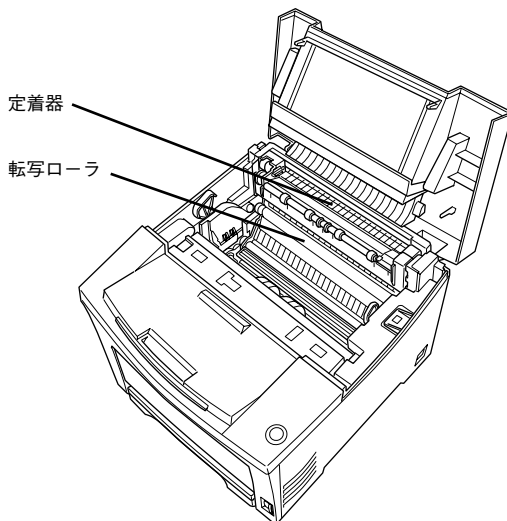
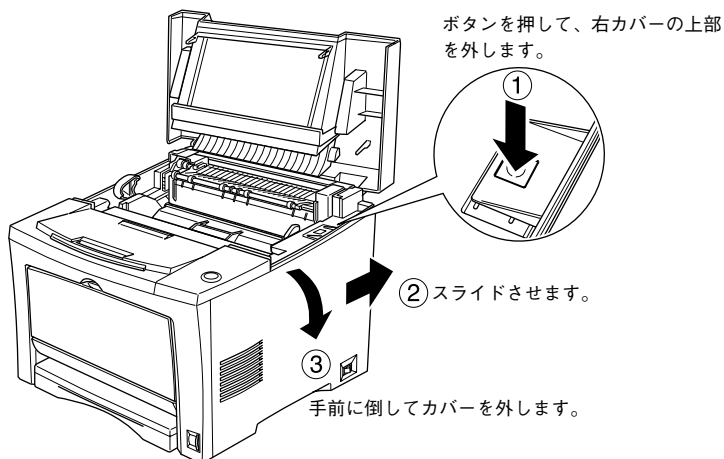
	増設メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

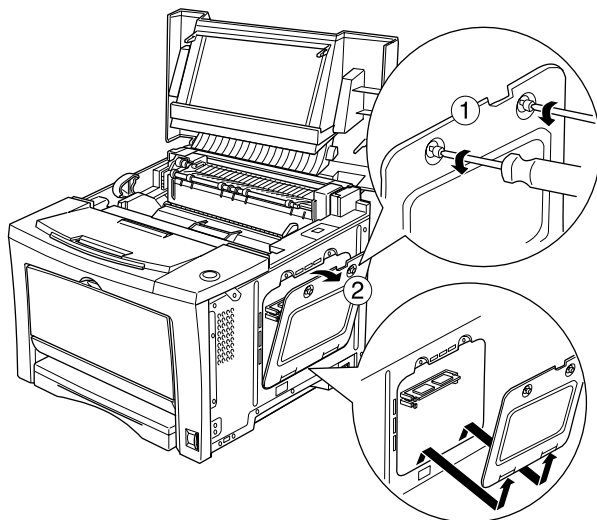
1 プリンタの電源をオフ(○)にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。

2 ラッチを押して、上カバーを開けます。

⚠注意

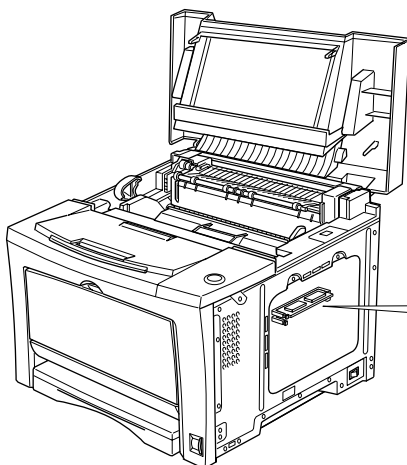
カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

- 定着器部分（内部は約 190 度以下と高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）

定着器

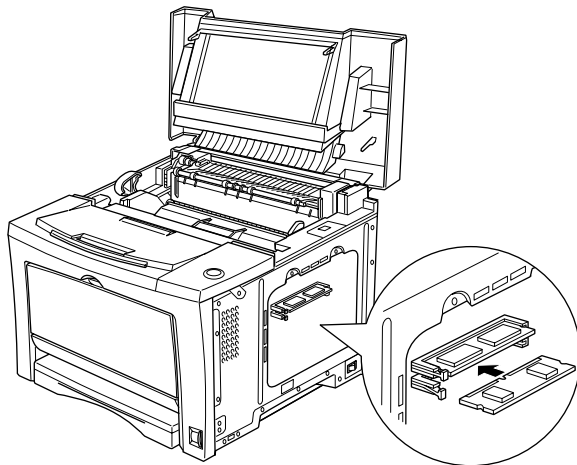
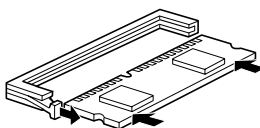
転写ローラ

3 プリンタ正面から見て右側のカバーを外します。

4 **金属のカバーを取り外します。**

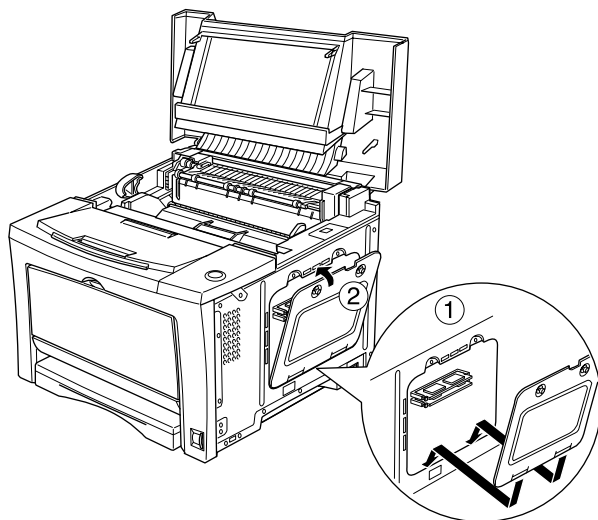
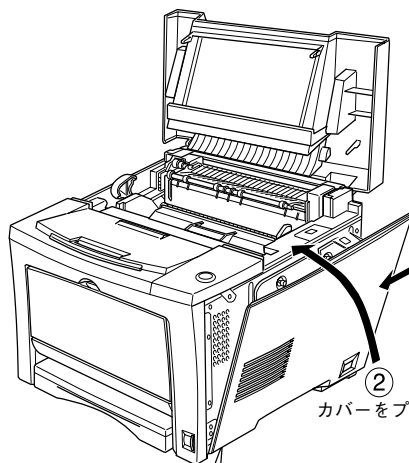
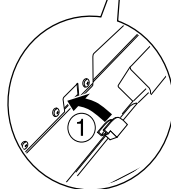
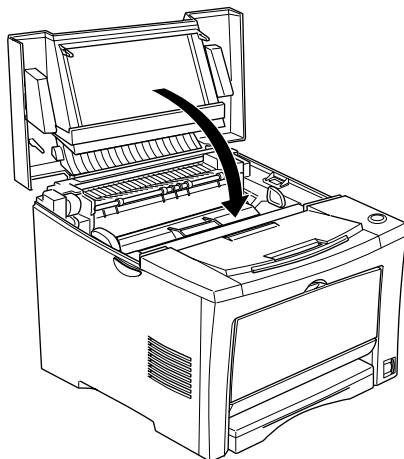
プラスドライバを使用して、止めネジ（2 本）をゆるめます。カバーの上側にある切り欠き部を持ち、手前に外します。

金属のカバーの止めネジを、プリンタ本体の中へ落とし たり紛失しないようにしてください。

5 **増設メモリ用ソケットの位置を確認します。**

6 **増設メモリを次の手順で取り付けます。**

- 増設メモリを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリは、逆差ししないように注意してください。

増設メモリは、1 枚取り付けられます。

① 増設メモリ底面のくぼみがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を定めて、増設メモリをソケットに差し込みます。

② ソケット左側のボタンが上がるまで、メモリ上部の両端をゆっくりと均等に押し込みます。

7 金属のカバーを取り付け、ネジで固定します。

カバー下側のツメを本体部分に引っかけてから、カバーを取り付けます。2 本のネジでカバーを固定します。

8 プリンタ右側のカバーを取り付けます。

9 上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。

10 取り外したインターフェイスケーブルと電源ケーブルを元通りに接続します。

11 プリンタが増設メモリを正しく認識しているかを次の手順で確認します。

① プリンタの電源をオン（ | ）にします。

② 用紙カセットに用紙が正しくセットされていること、印刷可能状態になっている（印刷可ランプが点灯している）ことを確認します。

③ 操作パネルの［ステータスシート］スイッチを押します。ステータスシートが印刷されますので、印刷されたメモリ容量の値が［標準装備のメモリ容量（8MB）＋増設メモリの容量］となっていることを確認してください。

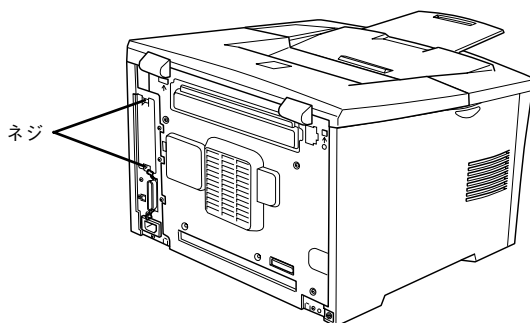
- 本機は、メモリが効率的に使用されるような設定をプリンタのコントローラが自動的に行っていますので、キャッシュバッファや受信バッファの容量の設定は基本的に不要です。
- Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。
  本書 223 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

インターフェイスカードの取り付け

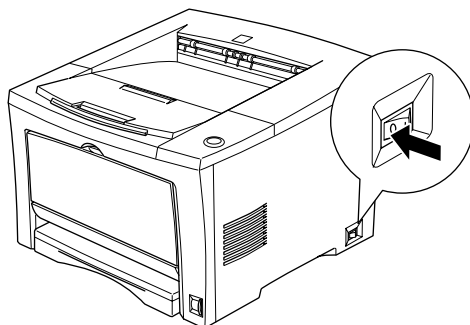
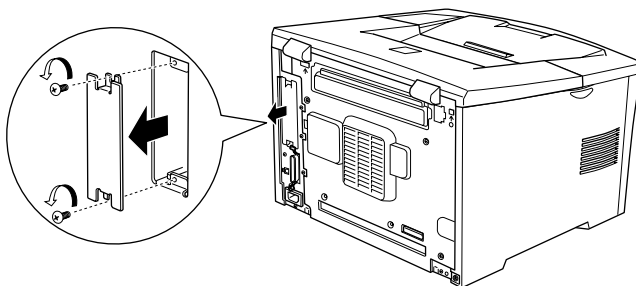
ここでは、オプションのインターフェイスカードを取り付ける方法について説明します。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

インターフェイスカードによっては、プリンタへの取り付けの前に、カード上のディップスイッチや、ジャンパースイッチの設定が必要な場合があります。インターフェイスカードの取扱説明書に従って、それぞれの設定をしてください。本書では、設定を終えたインターフェイスカードを取り付ける手順について説明しています。

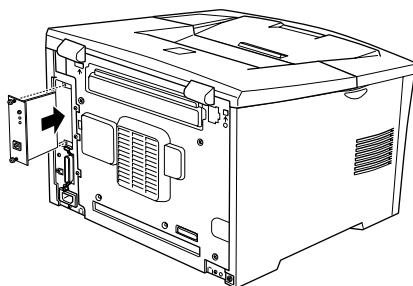
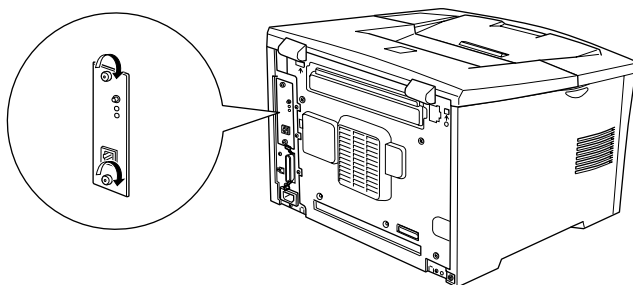
⚠警告

- 指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。
- 本作業で取り外すネジは下図の2個です。指示以外のネジは取り外さないでください。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。

⚠注意　本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってくだ さい。感電の原因となるおそれがあります。

1. **プリンタの電源をオフ(○)にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**

2. **本体背面のコネクタカバーをプラスドライバを使って取り外します。**

ポイント　取り外したコネクタカバーとネジは大切に保管してください。

3 **インターフェイスカードを取り付けます。**

インターフェイスカードの左右両側をプリンタ内部のみぞに合わせて差し込みます。インターフェイスカードのコネクタと、プリンタ本体のコネクタがきちんと合うまで差し込んでください。

4 **付属のネジでインターフェイスカードを固定します。**

5 **取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続し、電源をオン（I）にします。**

6 **ステータスシートを印刷して正しく取り付けられたか確認します。**

① 用紙カセットに用紙が正しくセットされていること、印刷可能状態になっている（印刷可ランプが点灯している）ことを確認します。

② 操作パネルの［ステータスシート］スイッチを押します。

正しく取り付けられているときは、［インターフェイス］の項目に［I/F カード］と印刷されます。

＜例＞

ハードウェア環境			
実装メモリ容量	XXXXKB		
インタフェース	パラレル	USB	I/F カード
給紙装置	用紙トレイ	カセット 1	

ポイント

インターフェイスカードを使用するためには、インターフェイスカードの設定が必要です。詳細はインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

両面印刷ユニットの取り付け

ここでは、両面印刷ユニット（型番：LPDSP4）を取り付ける方法について説明しています。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

両面印刷ユニットで両面印刷ができる用紙の仕様は以下の通りです。

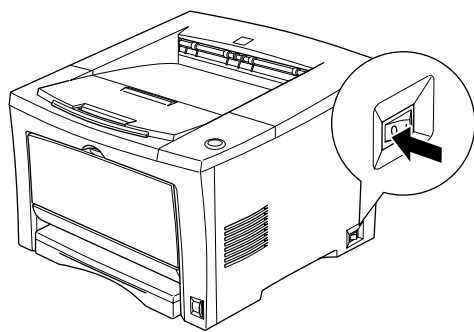
用紙種類	普通紙
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）

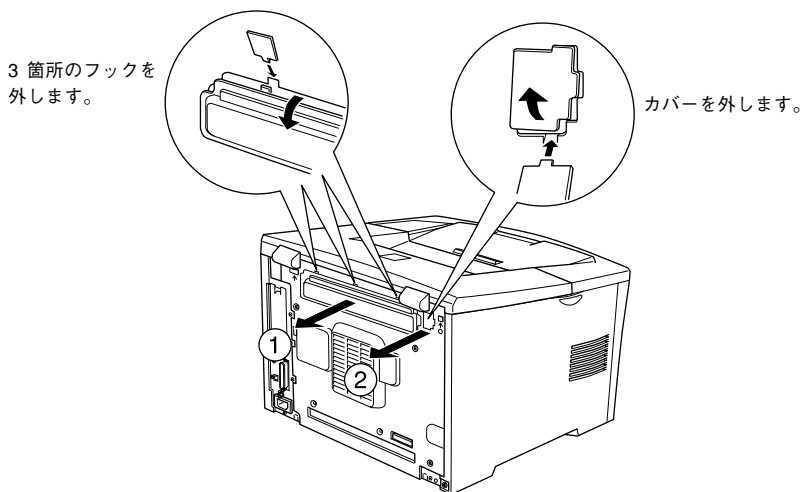
ポイント

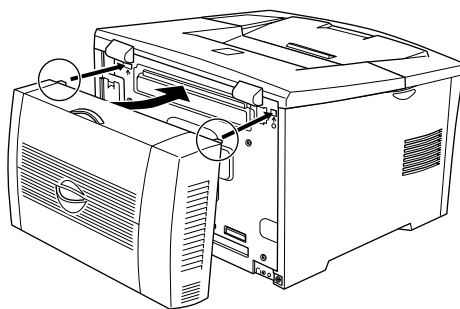
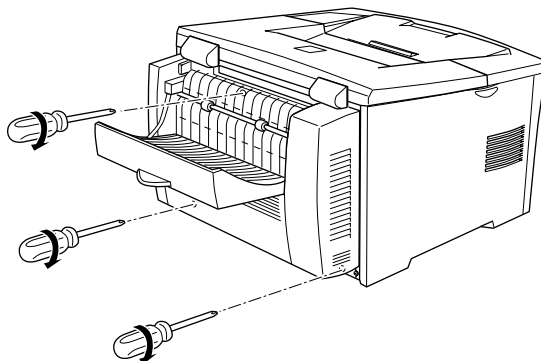
両面印刷を行う場合は、プリンタメモリの増設をお勧めします。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。

⚠注意 本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

1. プリンタの電源をオフ（○）にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。

2 **両面印刷ユニットに同梱されている取り外し用の部品を使って、背面のカバー（2 個）を取り外します。**

取り外し用の部品の凸部をプリンタ本体の凹部に差し込んでからカバーを持ち上げます。

3 **両面印刷ユニットを取り付けます。**

図のようにプリンタ背面の受け部に両面印刷ユニットのツメをかけます。

4 両面印刷ユニットの上カバーを開けて、ネジ（3 個）で固定します。

5 取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続します。

ポイント

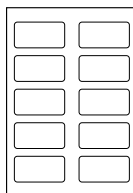
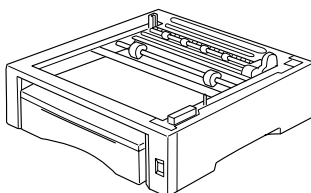
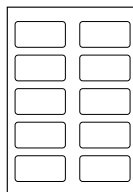
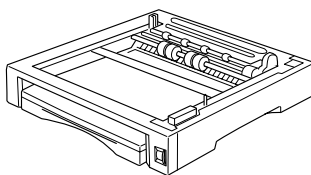
Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。

本書 223 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

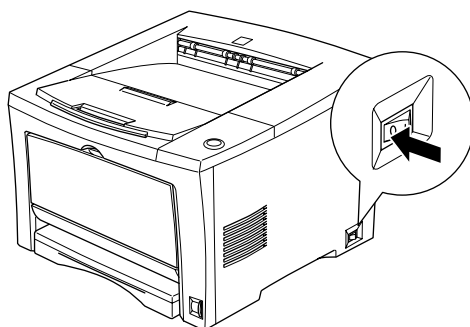
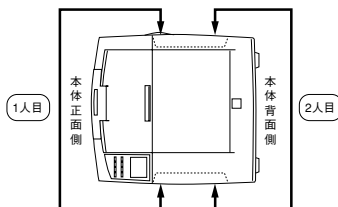
オプションカセットユニットの取り付け

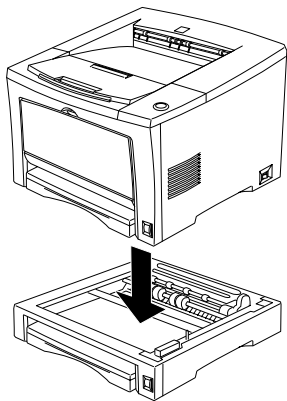
ここでは、大容量カセットユニット（型番：LPDC7）とユニバーサルカセットユニット（型番：LPUC2）を取り付ける方法について説明しています。

ポイント

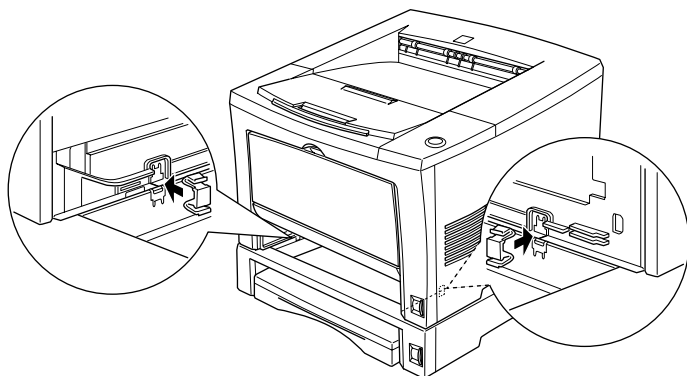
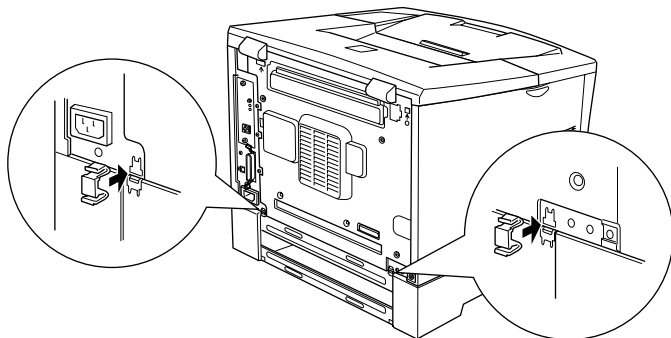
- 大容量カセットユニット（LPDC7）には、以下の同梱品が入っています。取り付けの前に同梱品の不足や損傷のないこと、カセットの保護材を取り外してあることを確認してから作業を始めてください。

- ユニバーサルカセットユニット（LPUC2）には、以下の同梱品が入っています。取り付けの前に同梱品の不足や損傷のないこと、カセットの保護材を取り外してあることを確認してから作業を始めてください。

オプションのカセットユニット（LPDC7 または LPUC2）は、最大 2 段まで自由な組み合わせで増設が可能です。取り付けは以下の手順に従って行ってください。

⚠注意　本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

1 プリンタの電源をオフ（○）にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。

- プリンタは重い（約 19kg）ので、持ち運びには十分注意してください。プリンタを持つときは右図のように本体をはさんで 2 人で持ち、取っ手に手をかけて運んでください。
- プリンタを運ぶ際は右図以外の部分に手をかけないでください。プリンタが破損するおそれがあります。

2 プリンタを設置する場所に大容量カセットユニットまたはユニバーサルカセットユニットを置き、その上にプリンタを置きます。

<例>ユニバーサルカセットユニットを1段増設

オプションカセットユニットを2段増設する場合は、プリンタを設置する場所に3段目（一番下）にするオプションカセットユニットを置き、その上に2段目にするオプションカセットユニットを置いてからプリンタを置いてください。

3 **オプションカセットユニットに同梱の取り付け用部品（4 個）で、プリンタ本体とオプションカセットユニットを固定します。**

①プリンタ本体の用紙カセットを取り出し、下図の 2 箇所に取り付け用部品を取り付けます。

②プリンタ背面の下図の 2 箇所に取り付け用部品を取り付けます。

ポイント

オプションカセットユニットを 2 段増設する場合は、2 段目のオプションカセットユニットと 3 段目のオプションカセットユニットを同様の手順で固定してください。

4 **取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続します。**

ポイント

Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。

本書 223 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

オプション装着時の設定（Windows）

メモリや給紙装置などのオプションを装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。オプションを装着していない場合や Macintosh でお使いの場合は、設定の必要はありません。

- Windows NT4.0/2000 の場合、管理者権限（Administrators）のあるユーザーでログオンする必要があります。
- ここでは Windows 98 のプロパティ画面を掲載しますが、手順は同じです。

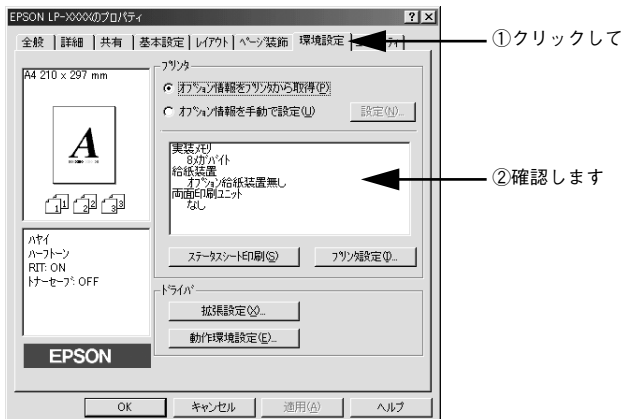
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. LP-7700 のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。

通信エラーが発生した場合は、［OK］ボタンをクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 ［環境設定］タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。

- ［オプション情報をプリンタから取得］が選択された状態で自動的にオプション情報が取得できれば、装着したオプションをリストに表示します。6 へ進みます。
- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。4 へ進みます。

4 ［オプション情報を手動で設定］をクリックして、［設定］ボタンをクリックします。

［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

5 **装着したオプションを選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

- ［実装メモリ］リストから、増設したメモリの容量を含めてプリンタの総メモリ容量を選択します。
- ［オプション給紙装置］リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。
- 両面印刷ユニットを装着した場合は、チェックボックスをチェックします。

6 **［OK］ボタンをクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。**

以上でオプションの設定は終了です。

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。

① 用紙カセットに用紙が正しくセットされていること､印刷可能状態になっている（印刷可ランプが点灯している）ことを確認します。

② 操作パネルの［ステータスシート］スイッチを押します。

プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などについて説明しています。

ET カートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

使用できる ET カートリッジの当社純正品は、次の通りです。

- 型番：LPA3ETC12（約 6,000 枚：A4、画占率 5%）*
- 型番：LPA3ETC13（約 10,000 枚：A4、画占率 5%）*

* ET カートリッジの寿命は、トナー残量のほかに感光ドラムの回転数（印刷時や、ウォームアップおよび印刷終了時の回転）によって決まるため、印刷条件（画占率、用紙サイズ、印刷の間隔など）によってはトナーがなくなる前に ET カートリッジの寿命に達することがあります。

- トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。
- 寒い場所から暖かい場所にETカートリッジを移動した場合は、室温に慣らすため 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- LP-8700/LP-8100 用ETカートリッジ（LPA3ETC7/LPA3ETC8）はご使用になれません。
- 本製品は純正 ET カートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

交換時期

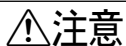
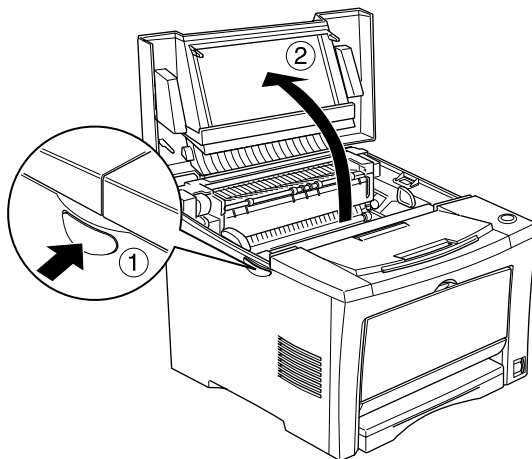
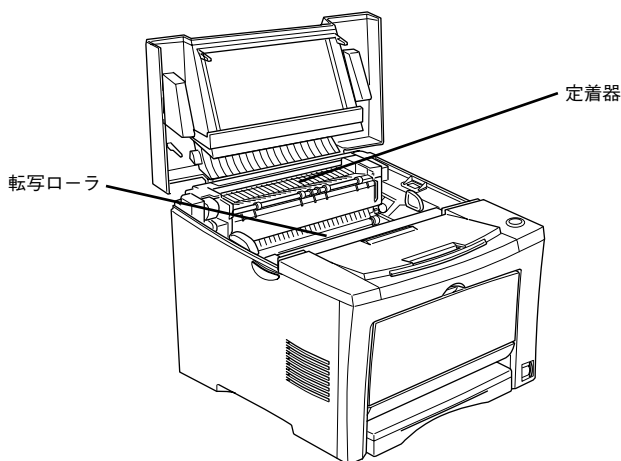
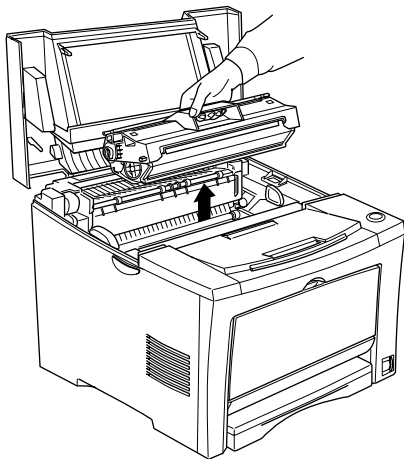
- 1つのETカートリッジで約6,000枚（LPA3ETC12）または約10,000枚（LPA3ETC13）（A4、画占率 5%）まで印刷できます。ただし、使用状況によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 では、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。トナーが残り少なくなると交換を促すメッセージが表示されますので、新しい ET カートリッジと交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しい ET カートリッジと交換してください。

  ☞ Windows：本書 75 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  ☞ Macintosh：本書 161 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
- トナーランプが点滅している場合は、まだ印刷が可能です。ET カートリッジ交換の必要はありません。ただし、トナー残量は目安ですので、印刷がかすれたり薄くなった場合は、交換してください。
- トナーランプとエラー解除ランプが点灯している場合は、印刷は可能ですが印刷結果から判断して交換してください。

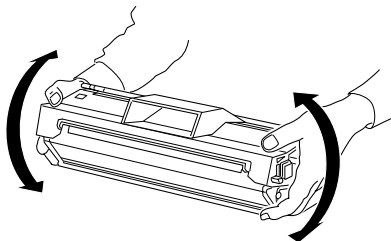
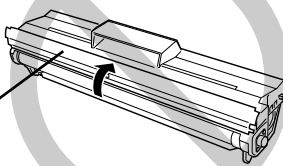
交換の手順

ET カートリッジの交換は以下の手順に従ってください。

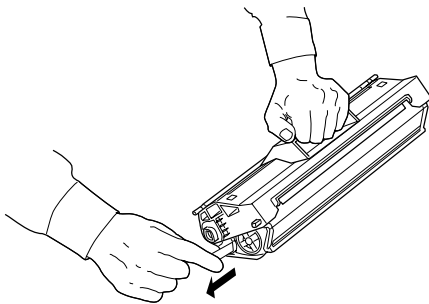
⚠注意　交換作業中は、プリンタ内部の ET カートリッジ以外に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

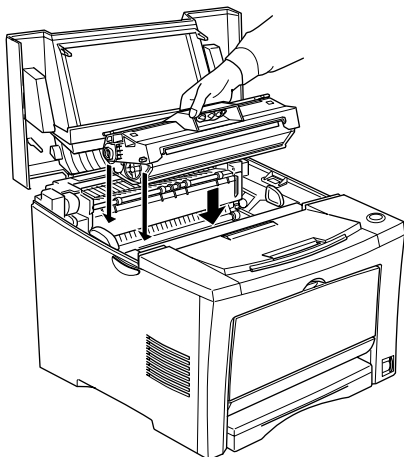
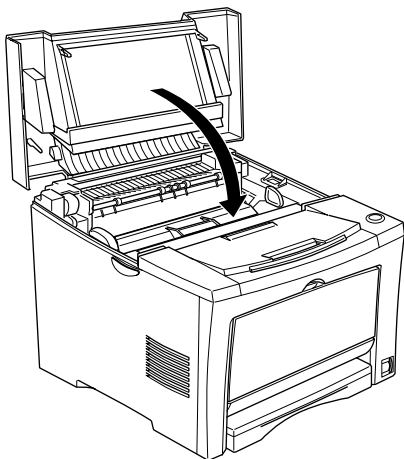
1. ラッチを押して、上カバーを開けます。

⚠注意　カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。
- 定着器部分（内部は約 190 度以下と高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）

2 取っ手を持ち、使用済みの ET カートリッジを取り出します。

⚠警告 ET カートリッジは火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

3 新しいETカートリッジを梱包箱から取り出し、図のように左右に傾けながら7～8回振ります。

ET カートリッジ内部のトナーが均一な状態にします。

- 感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

- 取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

ET カートリッジの入っていた梱包箱は、プリンタの移動や輸送の際、または使用済みのカートリッジを回収する際に必要となります。梱包材は、次回の交換時まで大切に保管してください。

4 ET カートリッジを平らな場所に置き、シールドテープを引き抜きます。

5 **ET カートリッジ上面に表示されている矢印をプリンタの上カバー側に向けて ET カートリッジをセットします。**

両側のガイドを合わせながら底に突き当たるまで確実にセットします。このとき、プリンタ内部のローラやギアなどには手を触れないでください。

6 **上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。**

ET カートリッジを取り付けたまま、プリンタを運搬しないでください。トナーがプリンタ内部にこぼれ、印刷品質に影響を与えたり、故障の原因となります。

使用済み ET カートリッジの回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み ET カートリッジの回収方法については、新しい ET カートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済み ET カートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告　ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

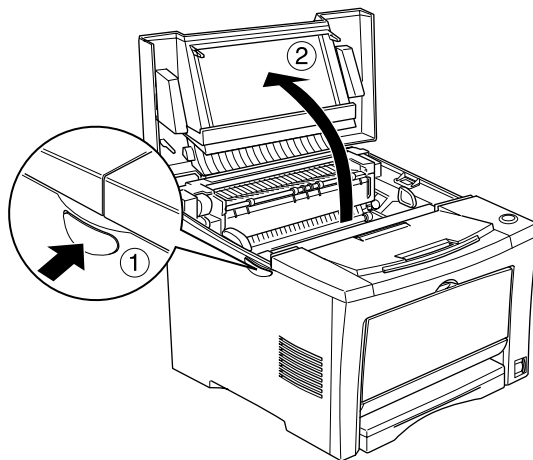
用紙トレイ給紙ローラのクリーニング

用紙トレイから給紙する場合、絵入りハガキなどに使用されている絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなることがあります。このようなときには給紙ローラのクリーニングを行ってください。

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

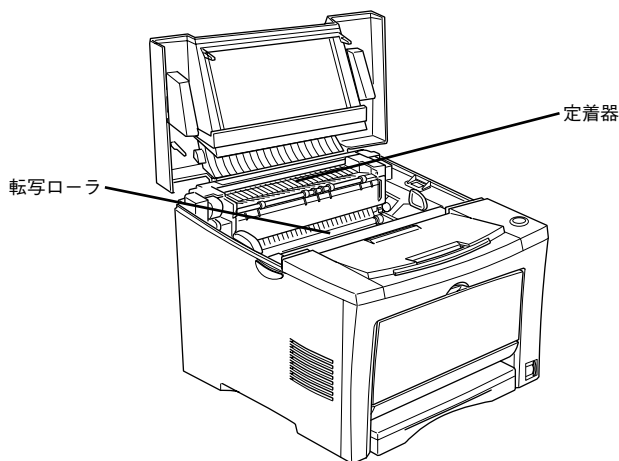
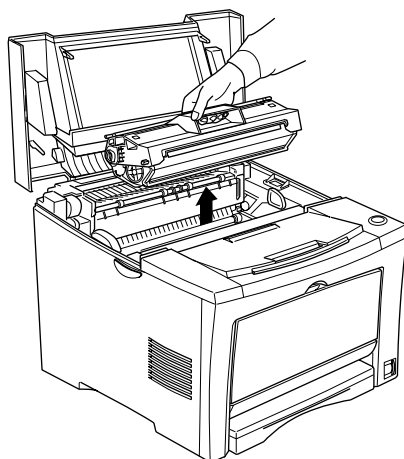
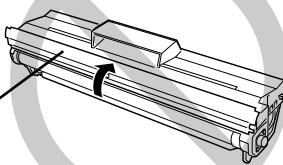
用紙トレイから給紙できなくなったときは、以下の手順に従って給紙ローラを固く絞った布でていねいに拭いてください。

⚠注意　給紙ローラのクリーニングは、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

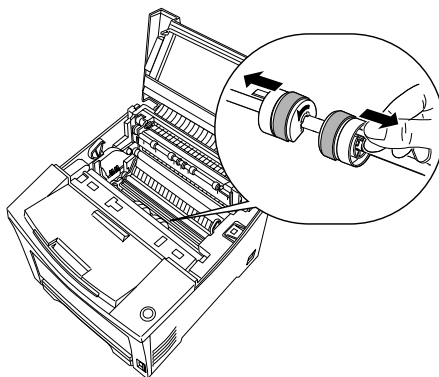
1. ラッチを押して、上カバーを開けます。

⚠注意 カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

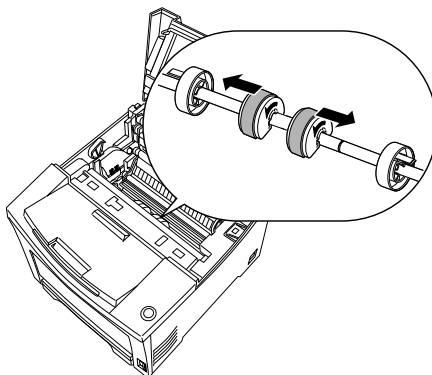
- 定着器部分（内部は約 190 度以下と高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）

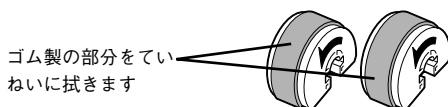
定着器

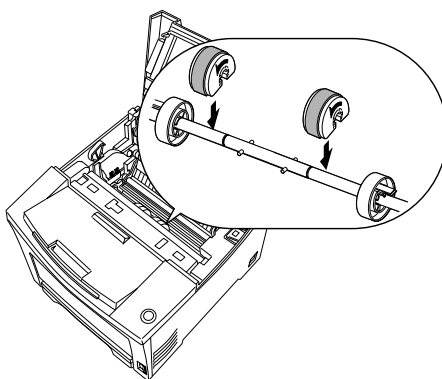
転写ローラ

2 ET カートリッジを取り出します。

- 感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

- 取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

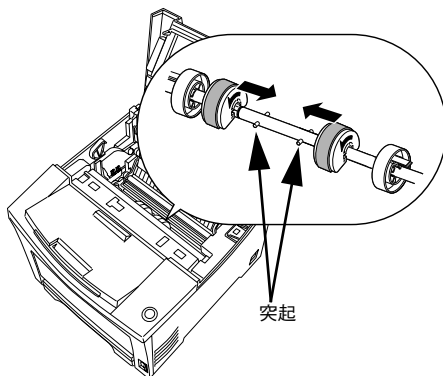
3 **ガイドをずらします。**

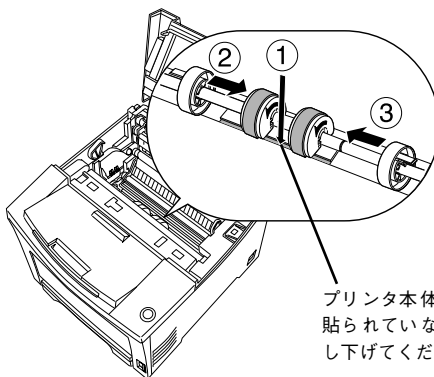
突起部をつまんで、左右２つのガイドを外側へずらします。

4 **給紙ローラを取り外します。**

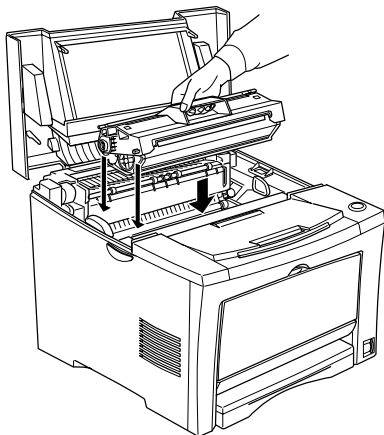
左右２つの給紙ローラを外側にずらして、取り外します。

5 **給紙ローラを固く絞った布でていねいに拭きます。**

給紙ローラは２個あります。

6 **給紙ローラを取り付けます。**

矢印の刻印のある面を右側にして、左右２つの給紙ローラを軸に取り付けます。

7 **給紙ローラを軸に固定します。**

左右 2 つの給紙ローラを内側へずらして、軸上の突起を給紙ローラの溝にはめ込みます。

8 **ガイドをずらして給紙ローラを固定します。**

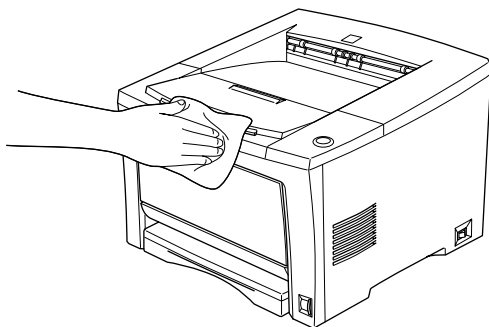
給紙ローラ軸の下にある図の①の部分を指で押した状態で左右のガイドを内側へずらし、左右 2 つの給紙ローラを固定します。

①の押し下げは、ゴムの部分には触れないように、また手袋などをして行ってください。手の脂などで給紙性能が低下するおそれがあります。

9 ETカートリッジを取り付けます。

10 上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

⚠注意　プリンタの清掃は、電源をオフ（○）にして、コンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

プリンタの輸送と移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

輸送の方法

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などをすべて外し、もう一度梱包してください。以下のものが取り付けられている場合は、取り外してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ内の用紙（用紙トレイは閉じてください）
- 用紙カセット
- ET カートリッジ
- オプションの増設カセットユニット（装着時のみ）

輸送の注意

プリンタ本体に梱包材を付けて、梱包箱に入れます。プリンタは精密機械ですので、梱包方法によっては輸送中に思わぬ破損を招くことも考えられます。下記の注意に従って、確実に梱包してください。

- 使用中/使用済みのET カートリッジは、常に水平を保ちながら取り扱ってください。トナーがこぼれることがあります。
- ET カートリッジは斜めや逆さまにして置かないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 製品購入時に使用されていた梱包材を使用して購入時の状態で梱包してください。

- プリンタからETカートリッジを必ず取り外してください。取り外したカートリッジは、製品購入時に梱包されていた箱か袋などに入れて輸送してください。
- 製品購入時に取り付けられていた輸送用の保護材を必ず取り付けて輸送してください。

移動の方法

プリンタを設置していた台を代えたり、隣の部屋に移動する場合は、付属品をすべて取り外す必要はありません。以下の部品のみを取り外して、振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ内の用紙（用紙トレイは閉じてください）
- 用紙カセット
- オプションの増設カセットユニット（装着時のみ）

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

電源コンセントに問題があることがあります。

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。

以上の 3 点を確認の上で電源スイッチをオン (I) にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）、またはお買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口へのご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

印刷しない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ スタートアップガイド 19 ページ「コンピュータと接続する」

プリンタが印刷できない状態です。

プリンタのランプの状態を確認します。エラーが表示されている場合は、以下のページを参照し、対処してから［印刷可］スイッチを押します。

☞ 本書 246 ページ「操作パネル上の各ランプが点灯または点滅していませんか？」

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。解像度を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。ネットワーク環境で印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。オプションのI/F カードの取扱説明書を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows の場合

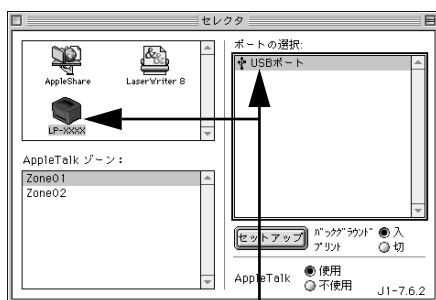
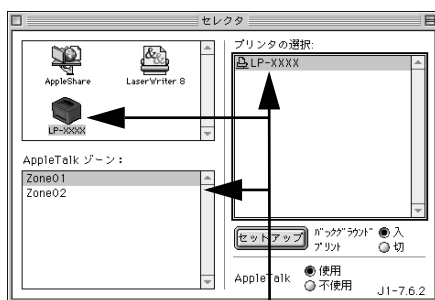
- お使いの機種のプリンタドライバが、コントロールパネルのプリンタフォルダにアイコンとして登録されていますか？
- また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

① [スタート] ボタンをクリックしカーソルを［設定］に合わせ、[プリンタ］をクリックします。

② 使用するプリンタ名を選択し［ファイル］メニューを確認します。

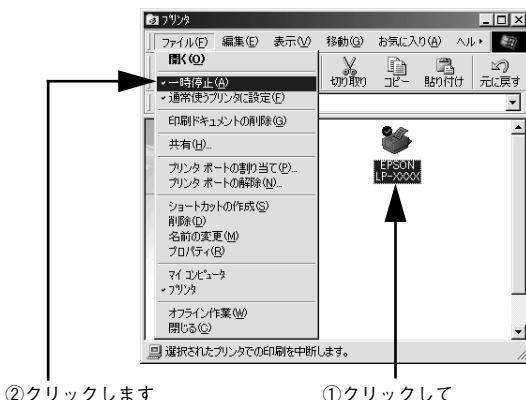
[通常使うプリンタ]にチェックマークが付いているか確認します。

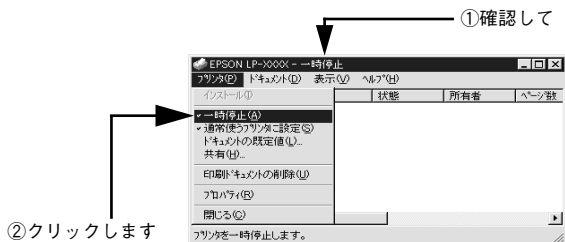
Macintosh の場合：

お使いの機種のプリンタドライバが、セレクタ画面で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

Windows プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows 95/98/Me の場合

①［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。
②使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。

Windows NT4.0/2000 の場合

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。
② 使用するプリンタ名のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］の［一時停止］をクリックしてチェックを外します。

Windows プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。

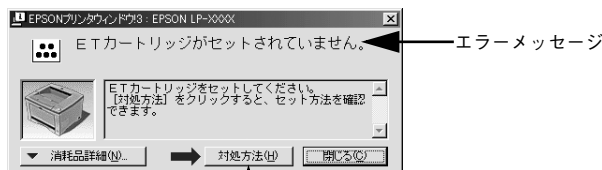
プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

本書 105 ページ「プリンタ接続先の変更」

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にエラーメッセージが表示されていませんか？

EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合に問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されている場合は、その内容を一読して必要な手段を講じてください。

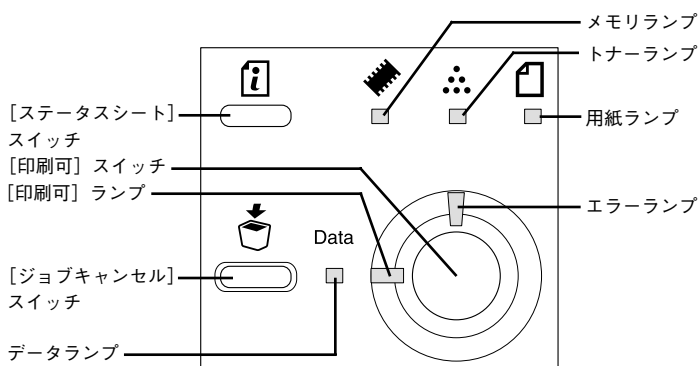
<例> Windows の EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合

［対処方法］ボタンがある場合には、そのボタンをクリックすると対処方法が表示されます。対処方法に従って問題を解決することができます。

ポイント

プリンタエラーや問題が発生すると、プリンタのランプが点灯または点滅してお知らせします。以下のページに詳しく対処方法を説明しています。

本書 246 ページ「操作パネル上の各ランプが点灯または点滅していませんか？」

操作パネル上の各ランプが点灯または点滅していませんか？

ランプが点灯または点滅していたら、次の説明を参照して適切な処置をしてください。

ランプの組み合わせで表示されるプリンタの状態には、ワーニング、エラー、ステータスの3種類があります。

プリンタの状態	説明
ワーニング	プリンタに何らかの問題が発生している状態です。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。ワーニングは、[ステータスシート]スイッチを押して消すことができます。
エラー	プリンタに何らかのエラーが発生していて印刷が実行できない、あるいは指定された条件での印刷が実行できずにプリンタ側で自動的にエラー回避の手段を取ったことを意味します。以降の説明を参照して適切な処置をしてください。
ステータス	プリンタの現在の状態です。

ポイント

- エラーとワーニングが発生している場合は、ワーニングの表示を行いません。
- ワーニング発生中に他のワーニングが発生した場合は、該当するすべてのランプが点滅します。
- 自動復帰できないエラーが発生した場合は、[印刷可]スイッチを押してもエラーを解除することはできません（ただし、エラーランプは一時的に消えます）。[印刷可]スイッチから指を離すとエラーランプが再度点灯しますので、適切な処置を行ってエラーを解除してください。

ランプ状態の記載の意味は、以下の通りです。

記載	意味
点灯	点灯
点滅1	点灯0.3秒、消灯0.3秒の点滅
点滅2	点灯0.6秒、消灯0.6秒の点滅
点滅3	点灯0.6秒、消灯2.4秒の点滅
ー	状況によって点滅・点灯します。
消灯	消灯

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
点灯	消灯	消灯	ー	消灯	点滅 1	**エラー：ページ（オーバーラン）エラーが発生しました。** 印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追いつきません。 - 以下のページを参照して［自動エラー解除］の設定を確認してください。［自動エラー解除］がオフに設定されている場合は、次のどちらかの操作を行ってください（［自動エラー解除］をオンに設定しておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 ☞ Windows：本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 ☞ Macintosh：本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」 • ［印刷可］スイッチを押します。 • ジョブキャンセルを行います。 プリンタドライバの［ページエラー回避］をオンにすると、このエラーは発生しません。 ☞ Windows：本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 ☞ Macintosh：本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」 また、プリンタドライバで印刷品質を［はやい］に設定するか、［印刷モード］を［標準（PC）］（Windows）または［CRT 優先］（Macintosh）にすることによってエラーの発生を回避できる場合があります。 ☞ Windows：本書 67 ページ「［拡張設定］ダイアログ」 ☞ Macintosh：本書 144 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
						エラー：メモリオーバーでメモリが足りません。 処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できません。 - 以下のページを参照して［自動エラー解除］の設定を確認してください。［自動エラー解除］がオフに設定されている場合は、次のどちらかの操作を行ってください（［自動エラー解除］をオンに設定しておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 ☞ Windows：本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 ☞ Macintosh：本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」 • ［印刷可］スイッチを押します。 • ジョブキャンセルを行います。 再度印刷するときは、プリンタドライバで印刷品質を［はやい］に設定するか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
点灯	消灯	消灯	ー	消灯	点滅 1	**エラー：両面印刷メモリが足りません。** オプションの両面印刷ユニットで両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため裏面側が印刷できません。この場合、表面側のみ印刷して排紙します。 - 以下のページを参照して［自動エラー解除］の設定を確認してください。 Windows：本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 Macintosh：本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」 ● ［自動エラー解除］がオフに設定されている場合は、［印刷可］スイッチを押します。［印刷可］スイッチを押すと、裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され排紙されます。 ● ［自動エラー解除］がオンに設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に自動的にエラー状態が解除され、裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され排紙されます。
点滅 1	消灯	消灯	ー	消灯	点灯	**エラー：I/F カードエラーが発生しました。** 本プリンタでは使用できないインターフェイスカードが挿入されています。 - 電源をオフにした後、インターフェイスカードを抜きます。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
点滅 1	−	−	−	−	消灯	**ワーニング：部数指定できませんでした。** 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリが足りないため、1 部だけ印刷します。 - プリンタドライバで印刷品質を［はやい］に設定して印刷することで、プリンタが扱う印刷データの量が少なくなり、複数部の印刷が可能になる場合があります。
						ワーニング：解像度を落としました。 メモリ不足により指定された印刷品質（解像度）での印刷ができず、解像度を下げて印刷しました。 - 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、ジョブキャンセルを行います。 印刷後に表示を消すには、［ステータスシート］スイッチを押します。 再度印刷するときはプリンタドライバで印刷品質を［はやい］に設定して印刷してください。または、メモリを増設してください。
						ワーニング：メモリの増設をお勧めします。 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。 - 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、ジョブキャンセルを行います。 印刷後に表示を消すには、［ステータスシート］スイッチを押します。 再度印刷するときは、プリンタドライバで印刷品質を［はやい］に設定して印刷してください。または、メモリを増設してください。
消灯	点灯	消灯	−	消灯	点滅2	**エラー：トナーカートリッジを交換してください。** ET カートリッジのトナーがなくなりました。 - 新しい ET カートリッジと交換してください。 本書227 ページ「ET カートリッジの交換」 このメッセージは、［印刷可 ］スイッチを押すと一時的に消去できます。ただし、［トナー交換エラー（表示）］をオンに設定している場合は、1 枚印刷するごとにエラーが発生します。エラーが発生するたびに［印刷可］スイッチを押してエラーを解除してください。 Windows：本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 Macintosh：本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
消灯	点灯	消灯	ー	消灯	点灯	**エラー：トナーカートリッジの ID エラーです。** 取り付けた ET カートリッジは使用できません。 - 正しい ET カートリッジをセットしてください。
						エラー：トナーカートリッジの寿命が切れました。 取り付けられているETカートリッジは使用できなくなりました。新しい ET カートリッジに交換するまで印刷できません。 - 新しい ET カートリッジと交換してください。ET カートリッジをセットし、上カバーを閉じると、エラー状態が自動的に解除されます。 本書227 ページ「ET カートリッジの交換」
						エラー：トナーカートリッジを入れてください。 ET カートリッジがセットされていません。 - ET カートリッジをセットし、上カバーを閉じると、エラー状態が自動的に解除されます。 本書227 ページ「ET カートリッジの交換」
ー	点滅 1	ー	ー	ー	消灯	**ワーニング：トナーが残り少なくなりました。** トナー残量が少なくなりました。 - ［ステータスシート］スイッチを押して、メッセージを消します。（メッセージを消さなくても使用上問題ありません）。
						ワーニング：トナーカートリッジの寿命が間近です。 取り付けられている ET カートリッジは、もうすぐ使用できなくなります。新しい ET カートリッジに交換することを強くお勧めします。 - 新しい ET カートリッジと交換してください。新しい ET カートリッジをセットし、上カバーを閉じると、ワーニング状態が自動的に解除されます。 本書227 ページ「ET カートリッジの交換」

<table>
<tr><th colspan="6">ランプ</th><th rowspan="2">説明 / 処置</th></tr>
<tr><th>メモリ</th><th>トナー</th><th>用紙</th><th>データ
Data</th><th>印刷可</th><th>エラー</th></tr>
<tr><td rowspan="3">消灯</td><td rowspan="3">消灯</td><td rowspan="3">点灯</td><td rowspan="3">ー</td><td rowspan="3">消灯</td><td rowspan="3">点灯</td><td>エラー：排紙部で用紙が詰まりました。
● プリンタ内部の定着器付近で紙詰まりが発生しました。
エラー：用紙が詰まりました。
● プリンタ内部（給紙口以外）で紙詰まりが発生しました。
- -
上カバーを開けて用紙を取り除き、上カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。ウォーミングアップを行った後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。
本書261 ページ「用紙が詰まったときは」</td></tr>
<tr><td>エラー：給紙ミスで用紙が詰まりました。
給紙口で紙詰まりが発生し、正常に給紙が行われませんでした。
- -
給紙口の紙詰まりを取り除き、上カバーを一旦開閉します。
● 用紙カセットから給紙している場合は、カセットをセットし直します。
● 用紙トレイから給紙している場合は、上カバーを開けて用紙の有無を確認してからカバーを閉じます。
ウォーミングアップ終了後、紙詰まりが発生したページから印刷が開始されます。
本書261 ページ「用紙が詰まったときは」</td></tr>
<tr><td>エラー：両面印刷ユニットで用紙が詰まりました。
オプションの両面印刷ユニットで用紙詰まりが発生しました。
- -
両面印刷ユニットのカバーを開けて用紙を取り除き、カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。ウォーミングアップを行った後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。
本書261 ページ「用紙が詰まったときは」</td></tr>
</table>

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
消灯	消灯	点灯	ー	消灯	点滅 1	**エラー：両面印刷ができません。** オプションの両面印刷ユニットで両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能な設定のため、両面印刷の実行を中止します。 - 以下のページを参照して［自動エラー解除］の設定を確認してください。 Windows：本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 Macintosh：本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」 • ［自動エラー解除］がオフに設定されている場合は、［印刷可］スイッチを押します。［印刷可］スイッチを押すと、片面印刷で印刷を再開します。 • ［自動エラー解除］がオンに設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に自動的にエラー状態が解除され、片面印刷で印刷を再開します。
						エラー：両面用紙サイズエラーが発生しました。 オプションの両面印刷ユニットで両面印刷時、給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。裏面を印刷後に用紙を排紙し、印刷を停止しました。 - 正しいサイズの用紙をセットした後で［印刷可］スイッチを押すと、両面印刷を実行します。
消灯	消灯	消灯	ー	消灯	点灯	**エラー：上カバーが開いています。** 上カバーが開いています。 - 上カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。
						エラー：両面印刷ユニットのカバーが開いています。 オプションの両面印刷ユニット装着時、両面ユニットのカバーが開いています。または確実に閉じていません。 - オプションの両面印刷ユニットのカバーを確実に閉じます。カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
ー	ー	点滅 1	ー	ー	消灯	**ワーニング：指定したタイプの用紙がありませんでした。** 印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。 - メッセージは［ステータスシート］スイッチを押すと消えます。以下のページを参照して各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。 Windows：本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 Macintosh：本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」
消灯	消灯	点滅 1	ー	消灯	点灯	**エラー：用紙がありません。** 以下のような場合に表示されます。 ① 印刷のために給紙しようとした給紙装置に、指定サイズの用紙がセットされていません。 ② すべての給紙装置に用紙がセットされていません。 - ①の場合 給紙装置に正しいサイズの用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。 ②の場合 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。
消灯	消灯	点滅 1	ー	消灯	点滅 1	**エラー：用紙を交換してください。** 給紙を行おうとした給紙装置にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズが異なっています。 - 以下のページを参照して［自動エラー解除］の設定を確認してください。［自動エラー解除］がオフに設定されている場合は、以下の 3 つのうちいずれかの操作を行ってください（［自動エラー解除］をオンに設定しておくと、一定時間（5 秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 Windows：本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 Macintosh：本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」 • 給紙装置に正しいサイズの用紙をセットします。［印刷可］スイッチを押して印刷します。 • 用紙を交換しないで［印刷可］スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 • ジョブキャンセルを行います。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
ー	ー	点滅 1	ー	ー	消灯	**ワーニング：用紙サイズが正しくありません。** 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。 - [用紙サイズのチェックをしない]をオンに設定すると、用紙サイズエラーは表示されなくなります。 Windows：本書 67 ページ「[拡張設定]ダイアログ」 Macintosh：本書 147 ページ「[拡張設定]ダイアログ」
ー	ー	ー	点滅 1	ー	消灯	**ステータス：プリンタ内にデータが残っています。** プリンタ内に残っている印刷データは、[印刷可]スイッチによって印刷・排紙します。 - しばらくお待ちください。
ー	ー	ー	ー	点灯	消灯	**ステータス：印刷可能です。** 印刷可状態です。
ー	ー	ー	ー	点滅 1	消灯	**ステータス：ウォーミングアップしています。** ウォーミングアップ中です。 - しばらくお待ちください。
						ステータス：プリンタを冷却中です。 プリンタエンジンを冷却中です。 - しばらくお待ちください。
消灯	ー	消灯	ー	点滅 1	点滅 1	**ステータス：ジョブをキャンセルします。** 印刷処理を中止して、データ（ジョブ単位）を削除しました。
点滅 1	ー	消灯	消灯	点滅 1	点滅 1	**ステータス：全ジョブをキャンセルします。** 印刷処理を中止して、すべてのデータを削除しました。
ー	ー	ー	ー	点滅 3	消灯	**ステータス：節電しています。** 節電状態です。データを受信すると解除されます。 - 節電状態を解除するには、印刷を開始してください。
ー	ー	ー	ー	消灯	点滅 3	**ステータス：印刷できない状態です。** [印刷可]スイッチが押されていません。 - 印刷するには、[印刷可]スイッチを押してください。
消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	**ステータス：ROM をチェックしています。** ROM をチェックしています。 - プリンタが印刷可状態になるまでしばらくお待ちください。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	**ステータス：RAM をチェックしています。** RAM をチェックしています。 - プリンタが印刷可状態になるまでしばらくお待ちください。
点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	**ステータス：システムチェックを行っています。** 自己診断と、初期化を行っています。 - プリンタが印刷可状態になるまでしばらくお待ちください。
データランプ、印刷可ランプ、エラーランプが同時点灯→全消灯→エラーコード点灯→全消灯の順序で繰り返す。						**エラー：サービスへ連絡してください。** サービスコールエラーが発生しました。 - 一旦電源をオフ（○）にし、数分後にオン（｜）にします。再度発生したときは、エラーコード点灯（6つのランプの点灯組み合わせ）を記録してから、保守契約店あるいは販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。連絡先はスタートアップガイド巻末に記載されています。

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する

Windows プリンタドライバの設定が正しくありません。

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合、ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定についての詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Macintosh のセレクタでプリンタを選択していない

正しいプリンタドライバが選択されていません。

本プリンタのプリンタドライバを選択してください。

☞ スタートアップガイド 43 ページ「プリンタドライバの選択」

正しいゾーン、プリンタが選択されていません。

プリンタが接続されているゾーンを確認して、印刷するプリンタを選択してください。

Macintosh のセレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない

QuickDraw GX を使用していませんか？

本プリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。
QuickDraw GX を使用停止にしてください。

☞ スタートアップガイド 41 ページ「システム条件の確認」

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違います。

プリンタの接続されているゾーンを選択してください。

プリンタ名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタを選択してください。

エラーが発生する

Macintosh をお使いの場合、Mac OS 8.1 ～ 9.x を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、MacOS 8.1 ～ 9.x です。

☞ スタートアップガイド 41 ページ「システム条件の確認」

印刷品質（解像度）の設定が［きれい］になっていませんか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷品質（解像度）を［はやい］にすると印刷できる場合があります。

☞ Windows：本書 36 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 139 ページ「［プリント］ダイアログ」

またはプリンタへのメモリの増設をお勧めします。

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？
Macintosh のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？
プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙を使用してください。
☞ 本書 10 ページ「用紙について」

両面印刷ユニットを使用した両面印刷時に、印刷可能な用紙を使用していますか？
両面印刷で使用できる用紙種類、サイズには制限があります。以下のページを参照してください。
☞ 本書 202 ページ「両面印刷ユニット」

用紙をセットする前によくさばいていますか？
用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。

［トレイ紙サイズ］スイッチ、［カセット紙サイズ］スイッチをセットした用紙のサイズに合わせて正しく設定してありますか？
プリンタはセットした用紙のサイズをスイッチの設定から検知します。セットした用紙サイズとスイッチの設定は必ず一致させてください。
☞ 本書 15 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」
☞ 本書 20 ページ「用紙トレイへの用紙のセット」
また［トレイ紙サイズ］スイッチを［ドライバで設定］に設定した場合は、必要に応じてプリンタドライバ（Windows）/EPSON リモートパネル！（Macintosh）で設定を行ってください。
☞ 本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ 本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？
用紙カセットを正しくセットしてください。
本書 15 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？
ステータスシートで、給紙装置の用紙サイズを確認してください。
Windows：本書 59 ページ「［環境設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 159 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？
プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。
Windows：本書 36 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 139 ページ「［プリント］ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？
給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。
アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

改ページ命令がアプリケーションソフトから送られていますか？
アプリケーションソフトによっては、データの最後に排紙命令を出さないものもあります。［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消してから［排紙］スイッチを押してください。

給紙ローラが汚れていませんか？
用紙トレイから給紙されない場合は、給紙ローラを拭いてください。
本書 233 ページ「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
上カバーを一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、エプソンサービスコールセンターまたは保守契約店にご連絡ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？
用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

裏面に印刷された用紙を使用していませんか？
一度印刷した後の裏紙は使用できません。
☞ 本書 11 ページ「印刷できない用紙」
用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。
☞ 本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ I ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。）

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？（ローカル接続時）
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
☞ 本書 200 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？（ローカル接続時）

Windows の場合、双方向通信機能の設定を確認してください。

- Windows 95/98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows NT4.0/2000 の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

I/F カードがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

NetWare 共有プリンタを監視するには、監視するプリンタにインターフェイスカード（PRIFNW3S）を装着する必要があります。

他のインターフェイスから印刷していませんか？

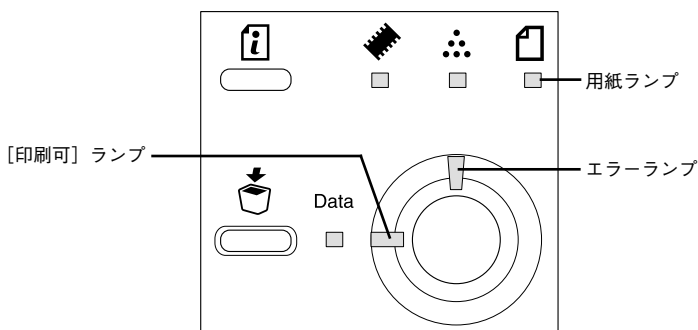
印刷の終了後に再度印刷を実行してみてください。

ポイント

お使いのネットワーク環境（NetBEUI 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時など）によっては、EPSON プリンタウィンドウ !3 がネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。このような場合には、［ユーティリティ］タブ内の［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してお使いください。

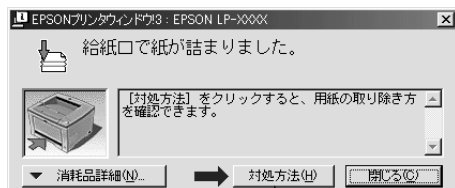
本書 74 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

用紙が詰まったときは

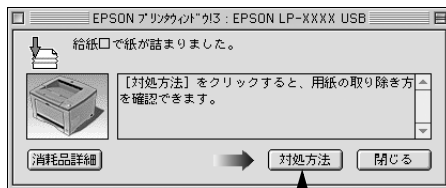
紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプが消灯し、エラーランプと用紙ランプが点灯してお知らせします。本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

また、EPSON プリンタウィンドウ!3 が紙詰まりをお知らせします。［対処方法］ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従ってください。

Windows：本書 75 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Macintosh：本書 161 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

Windows：給紙口で詰まった場合

EPSONプリンタウィンドウ!3 : EPSON LP-XXXX
給紙口で紙が詰まりました。
［対処方法］をクリックすると、用紙の取り除き方を確認できます。
消耗品詳細(N)... 対処方法(H) 閉じる(C)

クリックします

Macintosh：給紙口で詰まった場合

EPSON プリンタウィンドウ!3 : EPSON LP-XXXX USB
給紙口で紙が詰まりました。
［対処方法］をクリックすると、用紙の取り除き方を確認できます。
消耗品詳細 対処方法 閉じる

クリックします

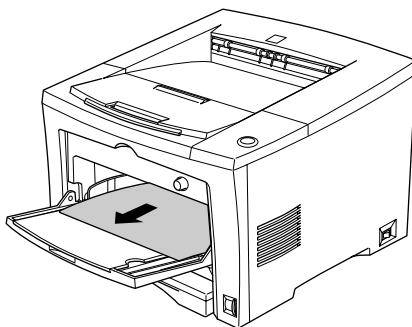
紙詰まりの原因

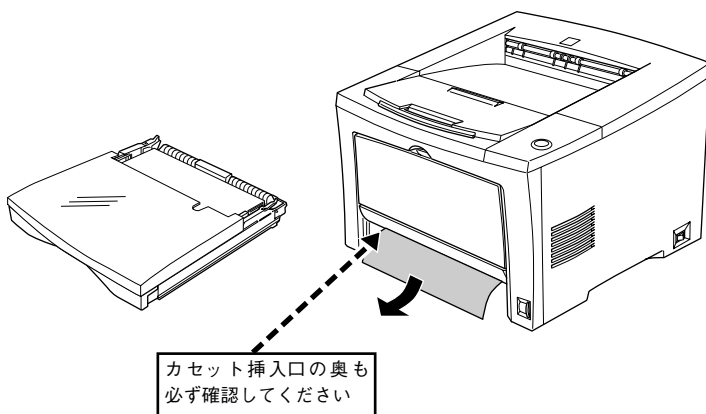
紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- 用紙をセットする前によくさばいていない
- 用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていない
- 用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
  本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている
  本書 233 ページ「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」

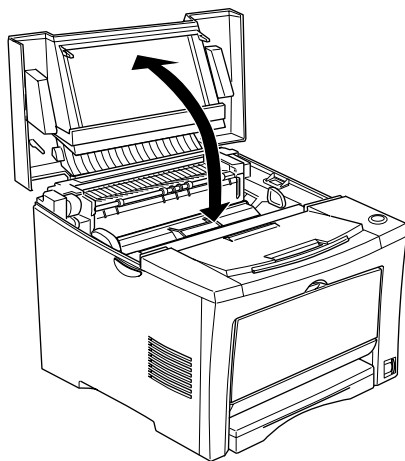
用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

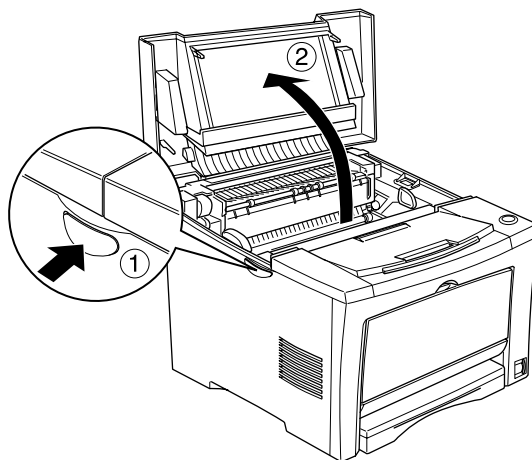
給紙部で用紙が詰まったときは

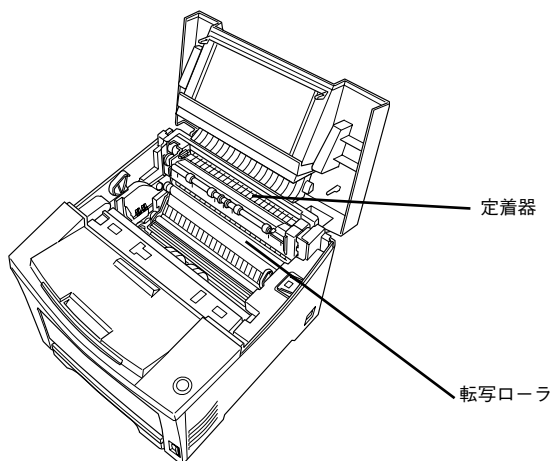
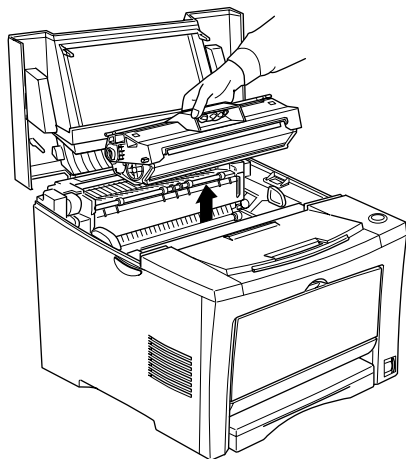
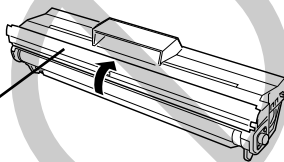
1. **用紙トレイの用紙を取り除き、詰まった用紙があるか確認します。**
   用紙トレイの給紙口で用紙が詰まっているときは、図のように用紙を引き抜きます。

2 **用紙カセットを引き抜き、詰まった用紙があるか確認します。**

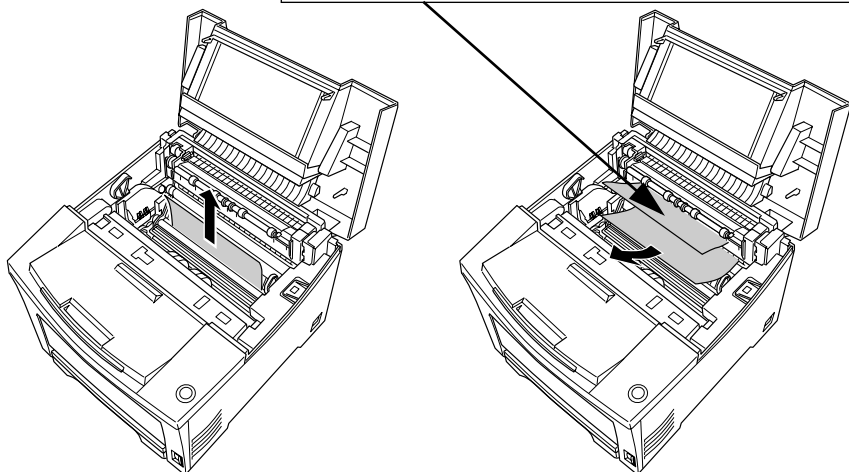
カセットユニット内やプリンタ底部で用紙が詰まっているときは、図のように用紙を引き抜きます。

用紙カセットは、残りの用紙がカセットに正しくセットされていることを確認してからプリンタ本体にセットし直します。

3 **プリンタの上カバーを一旦開閉します。**

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いたあと、プリンタの上カバーを開閉することで解除されます。

プリンタ内部で用紙が詰まったときは

1 ラッチを押して、上カバーを開けます。

⚠注意 カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

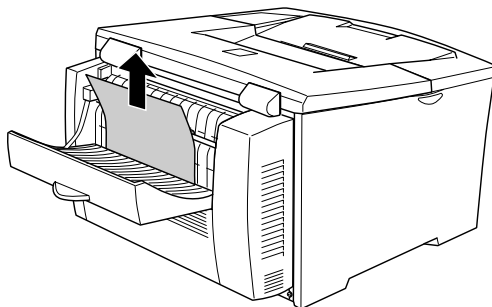
- 定着器部分（内部は約 190 度以下と高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）

2 ETカートリッジを取り出します。

- ETカートリッジを取り出してから、詰まった用紙を取り除いてください。ETカートリッジを取り出さずに詰まった用紙を無理に引き出すと、印字不良等の原因になります。
- 感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

- 取り出したETカートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

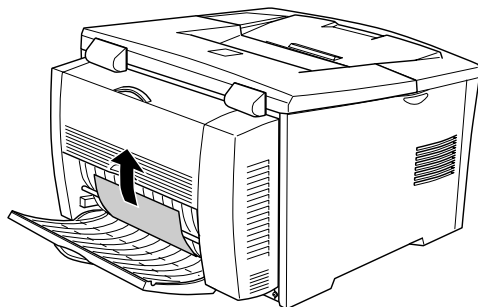
3 詰まっている用紙を引き抜きます。

4 ETカートリッジを取り付け、上カバーを閉じます。

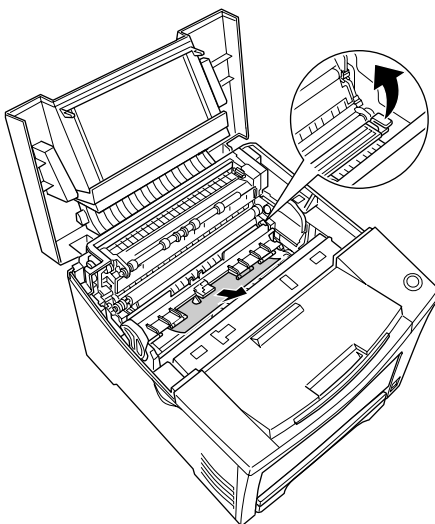
正常に印刷排紙できなかったページは自動的に再度印刷されます。

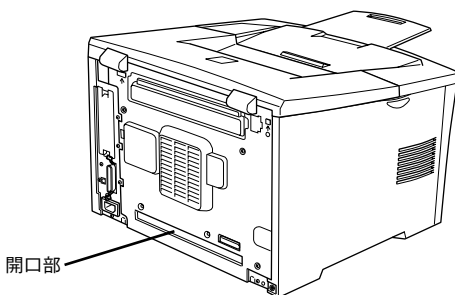
- 用紙トレイや用紙カセットの給紙口から詰まった用紙を引き抜いた場合、用紙を引き抜いた後も用紙ランプとエラー解除ランプが点灯していることがあります。これは、プリンタの上カバーを開閉しないと紙詰まりのエラーが解除されないためです。プリンタ内部に詰まった紙がなくても、上カバーの開閉を1回行ってください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

両面印刷ユニット内で用紙が詰まったときは

1. **両面印刷ユニット上カバーを開けて、詰まった用紙を取り除きます。**

上カバーを元通りに閉じます。

2. **両面印刷ユニット下カバーを開けて、詰まった用紙を取り除きます。**

下カバーを元通りに閉じます。

3 ❶ ❷ の手順で詰まった用紙を発見できなかった場合は、プリンタの上カバーを開けて ET カートリッジを取り外し、下図のカバーを開けて内部に詰まった用紙があったら取り除きます。

取り外した ET カートリッジは元通りに取り付け、上カバーを閉じます。

上記の手順で詰まった用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、両面印刷ユニットをプリンタ本体から取り外し、プリンタ本体背面下部の開口部で紙詰まりが発生していないかを確認してください。

用紙が詰まっていた場合は、その用紙を取り除いた後、両面印刷ユニットを元通りに取り付けてください。

本書 216 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」

印刷品質に関するトラブル

ETカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正ETカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど､プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。ETカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるETカートリッジの当社純正品については以下のページを参照してください。

本書227ページ「ETカートリッジの交換」

きれいに印刷できない

［RIT］機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

Windows：本書39ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書144ページ「［詳細設定］ダイアログ」

印刷品質（解像度）が［きれい］（600dpi）に設定されていますか？

印刷品質（解像度）を［きれい］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、解像度を［はやい］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

Windows：本書36ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書139ページ「［プリント］ダイアログ」

Macintoshで、文字とグラフィックスデータが重なった印刷データを印刷していませんか？

文字とグラフィックスを重ねていて問題がある場合は、印刷モードを［CRT優先］に設定して印刷してください。

Macintosh：本書144ページ「［詳細設定］ダイアログ」

MacintoshでPGIを機能を使用する際に、［画質］が［速度優先］に設定されていませんか？

［PGI］の［画質］を［品質優先］に設定します。

Macintosh ：本書144ページ「［詳細設定］ダイアログ」

トナーセーブ機能を使用していませんか？
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。
Windows：本書 39 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 144 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
本書 227 ページ「ET カートリッジの交換」

印刷の濃淡が思うように印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。
Windows：本書 39 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 144 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

プリンタドライバの [明暗] の設定を確認してください。
Windows の場合は、[グラフィック] の [明暗] 設定を、Macintosh の場合は、[PGI] / [ハーフトーン] の明暗設定を調整してください。
Windows：本書 39 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 144 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

印刷濃度の設定は適切ですか？
印刷濃度を調整してみてください。
Windows：本書 67 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 147 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

印刷が薄いまたはかすれる

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定が正しくありません。
印刷濃度を調整してください。
Windows：本書 67 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 147 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

ETカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しいETカートリッジに交換してください。

本書227ページ「ETカートリッジの交換」

ETカートリッジにトナーが残っていません。

新しいETカートリッジに交換してください。

本書227ページ「ETカートリッジの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能を解除してください。

Windows：本書39ページ「[詳細設定]ダイアログ」
Macintosh：本書144ページ「[詳細設定]ダイアログ」

プリンタドライバの[用紙種類]が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの[用紙種類]の設定が合っていないと（[普通紙]の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、[用紙種類]を設定してください。

Windows：本書36ページ「[基本設定]ダイアログ」
Macintosh：本書139ページ「[プリント]ダイアログ」

黒点が印刷される

使用中の用紙が適切ではありません。

「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。

本書10ページ「印刷できる用紙の種類」

ETカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、新しいETカートリッジに交換してください。

本書227ページ「ETカートリッジの交換」

周期的に汚れがある

プリンタ内の用紙経路が汚れています。

用紙を数枚印刷してください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しいET カートリッジに交換してください。

本書 227 ページ「ET カートリッジの交換」

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいます。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

Windows：本書 36 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 139 ページ「［プリント］ダイアログ」

黒い部分に白点がある

使用中の用紙が適切ではありません。

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

用紙を裏返してセットしてください。

用紙全体が黒く印刷されてしまう

ETカートリッジが正しくセットされていません。
ET カートリッジを正しくセットし直してください。

ETカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
本書 227 ページ「ET カートリッジの交換」

黒線が印刷される

ETカートリッジが損傷または劣化している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
本書 227 ページ「ET カートリッジの交換」

何も印刷されない

ETカートリッジのシールドテープが引き抜かれていません。
ET カートリッジを取り出し、シールドテープを引き抜いてください。

一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ETカートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。
本書 227 ページ「ET カートリッジの交換」

ETカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
本書 227 ページ「ET カートリッジの交換」

白抜けがおこる

用紙が湿気を含んでいます。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。

適切な用紙を使用してください。

本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

印刷濃度の設定が正しくありません。

印刷濃度調整を調整してください。

Windows：本書 67 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 147 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙]の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、[用紙種類] を設定してください。

Windows：本書 36 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 139 ページ「[プリント] ダイアログ」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れています。

用紙を数枚印刷してください。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows：本書 118 ページ「印刷の中止方法」
☞ Macintosh：本書 178 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

TrueType フォントをプリンタフォントに置換していませんか？

プリンタドライバで TrueType フォントをプリンタフォントに置換しないように設定してください。

Windows の場合

［拡張設定］ダイアログの［TrueType フォント］設定［TrueType フォントでそのまま印刷］をクリックします。

☞ 本書 67 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

Macintosh の場合

［プリント］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログにある［プリンタフォント使用］の［漢字］/［欧文］をクリックしてチェックを外します。

☞ 本書 139 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ 本書 144 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

DOS アプリケーションソフトで正しい文字コードを選択していますか？

文字コード表を確認して、正しい文字コードを選択してください。

画面の表示が旧 JIS で表示されていませんか？

本機は、新 JIS コード（JISX0208-1990）を使用しています。アプリケーションの取扱説明書を参照して、画面の表示を新 JIS コードの設定にしてください。

プログラムを組む際に、コントロールコードが間違っていませんか？

ESC/P または ESC/Page のコントロールコードでプログラムしてください。ESC/P では、先頭行に［ESC@］のコードを入れてください。

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

Windows：本書 36 ページ「[基本設定]ダイアログ」
Macintosh：本書 133 ページ「[用紙設定]ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。

Windows：本書 67 ページ「[拡張設定]ダイアログ」
Macintosh：本書 147 ページ「[拡張設定]ダイアログ」

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。

エプソン PC シリーズ、NECPC-9800 シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

- エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
- NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフト、プリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

楕円のような模様が印刷される

トナー残量が残り少ない可能性があります。

トナー残量が少ないと楕円のような 模様が印刷されることがあります。トナー残量を確認してトナーを交換してください。

ハーフトーンの印刷が画面と異なる

［PGI］機能を使用していませんか。

アプリケーションソフトが独自のハーフトーン処理を行っている場合、［PGI］機能を使用すると、意図した印刷結果が得られない場合があります。［PGI］機能を使用しないで印刷してください。

Windows：本書 39 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 144 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

外字データまたはフォーマットデータが印刷できない

I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？

I/F タイムアウトの設定を長くしてください。

本書 63 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
本書 172 ページ「［設定］ダイアログ」

USB 接続時のトラブル

インストールできない（Windows）

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000 プレインストールマシンまたは Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000 にアップグレードしたマシンですか？

Windows 95 から Windows 98/Me/2000 へアップグレードしたコンピュータや USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

☞ スタートアップガイド 20 ページ「OS およびコンピュータの条件」

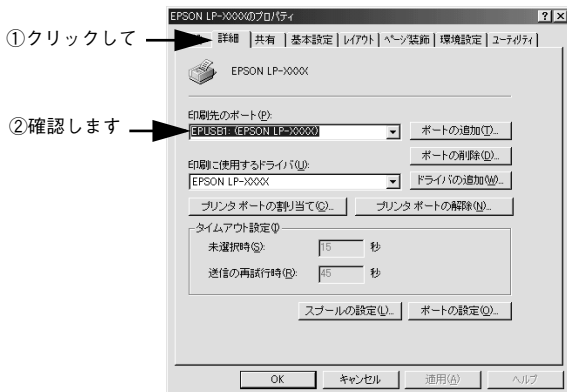
印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。

② お使いの機種名のアイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

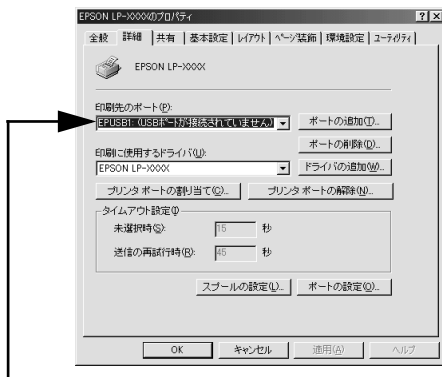
③［詳細］タブをクリックして［印刷先のポート］を確認します。
USB 接続で本機をご利用の場合は［EPUSBx: (EPSON LP-XXXX（お使いの機種名））］（Windows 98/Me）／［USBx］（Windows 2000）と表示されていることを確認します。この表示があれば、USB プリンタとしてのプリンタドライバが正常に組み込まれています。

ポイント

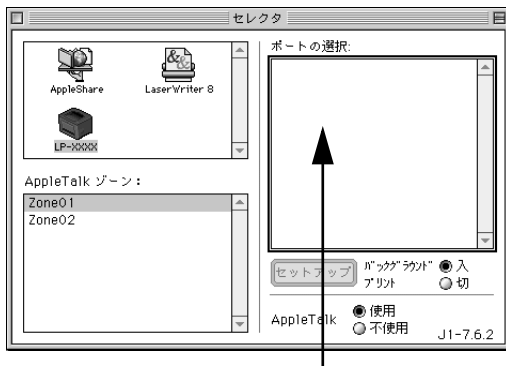
- パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。
- Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは、USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。
本書 120 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Windows の場合

正しく表示されていない

Macintosh の場合

ポート名が表示されていない

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、1 段目の接続を推奨します。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

Windows が USB ハブを正しく認識していますか？

Windows の [デバイスマネージャ] の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

漏洩電流について

本機は、社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。しかし、多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。

このようなときには、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。本機からアースを取る場合には、インフォメーションセンターまたはエプソンの修理窓口までお問い合わせください。エプソンの修理窓口に関する詳細は「保守サービスのご案内」の項を参照してください。

印刷に時間がかかる

TrueType フォントを使用して印刷していませんか？

TrueType フォントはグラフィックとして処理されますので、印刷が遅くなる場合があります。TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷してください。

☞ Windows：本書 70 ページ「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

☞ Macintosh：本書 134 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

Macintosh をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Macintosh をお使いの場合、[バックグラウンドプリント]を[入]にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

☞ 本書 176 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

プログラムリスト / ハードコピーがとれない

エプソン PC シリーズ、NECPC-9800 シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

- エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
- NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

ステータスシートを印刷します。
操作パネルの［ステータスシート］スイッチを押します。

印刷できる　　　　　　　　　　印刷できない

プリンタ本体に問題はありません。プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？（DOS を除く） できる　　　　できない	**プリンタ本体のトラブルです。保守契約をされていますか？** している　　　　していない

できる	できない	している	していない
エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。	● ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。 ● ネットワーク接続している場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。	保守契約店にご相談ください。	以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 289 ページ「保守サービス」 ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

ポイント

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートのご案内をいたします。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ドライバダウンロード

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

エプソン FAX インフォメーション

EPSON 製品に関する最新情報を 24 時間 FAX でお引き出しいただけます。
FAX付属の電話機(プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種)からおかけください。

FAX 番号	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
情報内容	製品情報（カタログ、機能概要） 技術情報（Q&A 他） パソコンスクール、サービスセンター情報など

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせはスタートアップガイド巻末の一覧をご覧ください。

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページからダウンロードできます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ドライバダウンロード

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソン販売（株）のホームページまたは FAX インフォメーションにてご確認ください。ホームページまたは FAX インフォメーションの詳細については、スタートアップガイドの巻末にてご案内しております。

インストール手順

ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮[*1] ファイルとなっていますので、次の手順でファイルを解凍[*2] してからインストールしてください。

[*1] 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
[*2] 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。
Windows：本書 120 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
Macintosh：本書 179 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1. プリンタドライバをハードディスク内のディレクトリへダウンロードします。

2. ［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックし、表示されるページを参照して、解凍とインストールを実行してください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

保守サービス

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
  （スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください）
  受付日時：月曜日〜金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間：9:00 〜 17:30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、次の保守サービスを用意しています。使用頻度や使用目的に合せてお選びください。詳細については、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th rowspan="2" colspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金と支払方法</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代･部品代* の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（トナー、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代･部品代* の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
* 消耗品（トナー、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後、そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>• 故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りに伺うサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドアto ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア toドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドアto ドアサービス料金+修理代のみ）</td></tr>
</table>

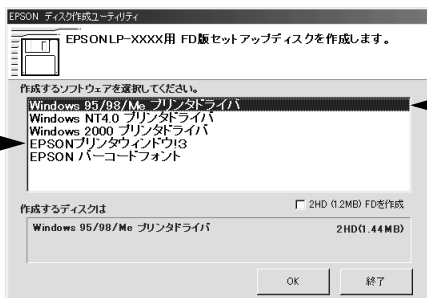
フロッピーディスクについて（Windows）

添付のプリンタドライバは、CD-ROM で提供しております。3.5 インチのフロッピーディスクからのインストールをご希望のお客様は、以下の手順でセットアップディスクを作成してからインストールを行ってください。

セットアップディスク作成ユーティリティは、お使いのコンピュータに CD-ROM ドライバがなくても、お近くに CD-ROM とフロッピーディスクを使用できるコンピュータがあれば、セットアップディスクを作成できるユーティリティです。このユーティリティを使用してセットアップディスクを作成してからプリンタドライバのインストールを行います。

フロッピーディスクを作成する

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
2. 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名（LP-7700）をクリックして［次へ］をクリックします。
3. 以下の画面が表示されたら、［フロッピーディスク版セットアップディスクの作成］をクリックして［次へ］をクリックします。

4 フロッピーディスクを作成するプリンタソフトウェアを選択します。

5 この後は、画面の指示に従ってディスクを作成してください。

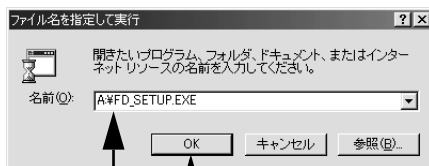
ローカル接続時のインストール

フロッピーディスクをご利用の場合、CD-ROM からのインストールとは手順が多少異なります。以下の説明とスタートアップガイドを併せてご覧いただき、インストールを実行してください。

以下の手順に従ってください。

1 画面下の［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

2 セットしたドライブ名と実行コマンド「FD_SETUP.EXE」を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

<入力例> A ドライブにセットした場合：
A:¥FD_SETUP.EXE

3 **インストール方法を選択して、インストールを開始します。**

- ［インストールする］を選択して［開始］ボタンをクリックすると、ローカルハードディスクのテンポラリフォルダに CD-ROM でのイメージを展開します。以降は画面のメッセージに従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。
- ［ハードディスクにコピーする］を選択して［開始］ボタンをクリックすると、上記の CD-ROM でのイメージを任意のフォルダに展開することができます。

4 **プリンタドライバのインストールが終了すると、2で展開されたCD-ROMでのイメージがハードディスクから自動的に削除されます。**

EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールする場合は、プリンタドライバと同様にセットアップディスクを作成してインストールを実行してください。

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式1成分トナー電子写真方式
解像度	300dpi/600dpi dpi：25.4mm｛1インチ｝あたりのドット数　(Dots Per Inch)
プリント速度 (標準用紙カセット)	片面印刷時　：　21.6PPM（A4横送り）、13.5PPM（B4）、11.6PPM（A3）
	両面印刷時　：　16.6PPM（A4横送り）、8.5PPM（B4）、7.8PPM（A3） PPM＝枚/分（Pages Per Minute）
ウォームアップ時間	13秒以内（22℃定格電圧にて） * 節電モードから7秒以内
ファーストプリント (用紙トレイ/標準用紙カセット)	印刷可能時 はやい（300dpi）　：　7.6秒（A4） きれい（600dpi）　：　9.5秒（A4）
	節電時 きれい（600dpi）　：　14.0秒（A4）
稼働音 (本体のみ)	待機時：約32dB（A）
	稼働時：約50dB（A）

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990準拠
書体	欧文 ローマン、サンセリフ Windows対応TrueType互換14書体 • DutchTM 801 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • SwissTM 721 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • Courier (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • Symbol • WingBats 和文 • 明朝、ゴシック

パネル操作

16進ダンプ	[印刷可] スイッチを押したままプリンタの電源オンにし、印刷可ランプとエラーランプが点灯したらスイッチから指を離します。通常の印刷モードに戻るには、電源をオフにして、しばらく時間がたってから電源をオンにします。

用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

給紙装置		使用できる用紙	容量	用紙サイズ （　）内は、プリンタドライバでの表記です。
標準	用紙トレイ[*1]	普通紙	200 枚[*3]	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）[*5]、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4、不定形紙
		厚紙	10 枚[*4]	
		ラベル紙	75 枚	
		OHP シート		
		封筒[*6]	10 枚	洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号
		長尺紙	1 枚	297 × 508 〜 900mm
		官製ハガキ	50 枚	100 × 148mm
		往復ハガキ		148 × 200mm
	用紙カセット[*2]	普通紙	250 枚[*3]	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
オプション	ユニバーサルカセットユニット（LPUC2）	普通紙	250 枚[*3]	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
	大容量カセットユニット（LPDC7）	普通紙	500 枚[*3]	A4
	用紙カセット[*7]（LPYC6）	普通紙	250 枚[*3]	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）

[*1] 用紙トレイにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（↓表示）までです。
[*2] 用紙カセットにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（↑表示）までです。
[*3] 64g/m^2 の場合です。
[*4] 135g/m^2 の場合です。
[*5] ［トレイ紙サイズ］スイッチまたは［カセット紙サイズ］スイッチでは［LG14”］に設定します。
[*6] 定形サイズ以外の封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで使用する封筒のサイズを設定して使用してください。
[*7] 標準の用紙カセットまたはオプション（LPUC2）の用紙カセットと差し替えて使用します。

排紙容量	最大 250 枚（普通紙 64g/m^2）
用紙の種類	普通紙 • 60 〜 90g/m^2 • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、色つき、レターヘッド
	特殊紙[*1] • ラベル紙、官製ハガキ（往復ハガキ）、封筒、OHP シート、厚紙（90 〜 135g/m^2）、不定形紙、長尺紙

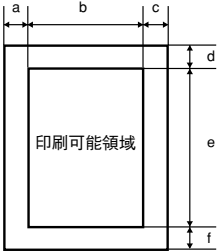
[*1] 用紙トレイからのみ給紙できます。

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ			用紙トレイ	用紙カセット[*1]	大容量カセット[*2]	両面印刷の可否[*3]
A3		297 × 420mm	○	○	−	○
A4		210 × 297mm	○[*4]	○[*4]	○[*4]	○
A5		148 × 210mm	○[*4]	○[*4]	−	○
B4		257 × 364mm	○	○	−	○
B5		182 × 257mm	○[*4]	○[*4]	−	○
Letter（LT）		215.9 × 279.4mm（8.5 × 11 インチ）	○[*4]	○[*4]	−	○
Half-Letter（HLT）		139.7 × 215.9mm（5.5 × 8.5 インチ）	○[*4]	−	−	○
Legal（LGL）／（LG14"）		215.9 × 355.6mm（8.5 × 14 インチ）	○	○	−	○
Executive（EXE）		184.15 × 266.7mm（7.25 × 10.5 インチ）	○[*4]	−	−	○
Government Legal（GLG）		215.9 × 330.2mm（8.5 × 13 インチ）	○	−	−	○
Government Letter（GLT）		203.2 × 266.7mm（8 × 10.5 インチ）	○[*4]	−	−	−
Ledger（B）		279.4 × 432mm（11 × 17 インチ）	○	−	−	○
F4		210 × 330mm	○	−	−	−
不定形紙		用紙幅 87 ～ 297mm 用紙長 100 ～ 900mm	○[*5]	−	−	−
長尺紙		297 × 900mm	○[*5]	−	−	−
官製ハガキ		100 × 148mm	○[*4]	−	−	−
往復ハガキ		148 × 200mm	○[*4]	−	−	−
封筒	洋形０号	120 × 235mm	○[*4]	−	−	−
	洋形４号	105 × 235mm	○[*4]	−	−	−
	長形３号	235 × 120mm	○	−	−	−
	角形２号	332 × 240mm	○	−	−	−

*1 標準装備のカセット 1、オプションのユニバーサルカセットユニット（LPUC2）および用紙カセット（LPYC6）です。
*2 オプションの大容量給紙ユニット（LPDC7）です。
*3 オプションの両面印刷ユニット（LPDSP4）です。
*4 用紙の給紙方向に対して横長になる向きでセットします。
*5 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

印刷可能領域

用紙の各端面から5mmを除く
領域に印刷可能

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名　称		a	b	c	d	e	f
A3		120	6776	120	120	9680	120
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B4		120	5832	120	120	8360	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）		120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
Ledger（B）		120	6360	120	120	9960	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
往復ハガキ		120	3256	120	120	4484	120
封筒	洋形０号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形４号	120	2240	120	120	5310	120
	長形３号	120	2594	120	120	5310	120
	角形２号	120	5430	120	120	7602	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3256	120
最大サイズ	120	6776	120	120	21020	120

アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙および長尺紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	9.5A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz（国内向）	
消費電力	最大	：950W以下
	連続プリント時	：450W以下
	節電時	：10W以下（ヒーターオフ時）

環境使用条件

動作時	温度	：5 ～ 32 度
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：740 hPa 以上（2500m 以下）
	水平度	：傾き5 度以下
	照度	：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	：上方400mm、左側方 200mm、右側方 200mm、前方700mm、後方200mm（両面印刷ユニット非装着時）、後方 300mm（両面印刷ユニット装着時）
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35 度
	湿度	：15 ～ 80%（ただし結露しないこと）

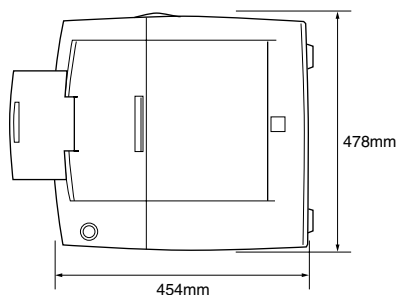
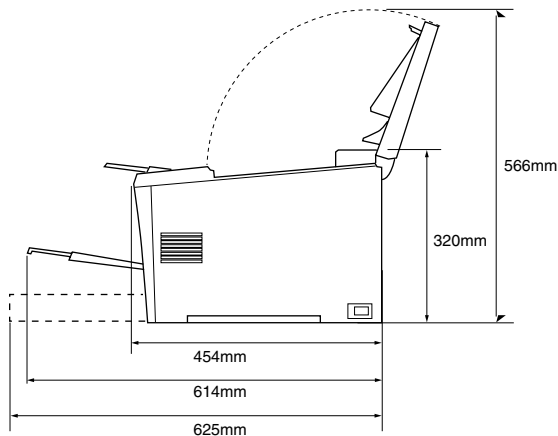
コントローラ基本仕様

RAM	標準	：8MB
	オプション増設時	：標準搭載メモリ＋最大 128MB
インターフェイス	標準	：パラレル　IEEE1284 準拠双方向 コンパチブル、ニブルモード、ECP モード USB
	オプション	：Type B I/F（1 スロット）
内蔵モード	標準	：ESC/Page モード（双方向機能） ESC/P モード（VP-1000 エミュレーション） ESC/PS モード（PC-PR201H エミュレーションと ESC/P を自動判別）
	その他	：EJL モード（双方向機能）

外観仕様

外形寸法	幅478mm ×奥行き 454*mm ×高さ 320mm * 用紙カセットを最大に伸ばすと 625mmになります。
重量	約 19.3kg （消耗品、オプション類は含まない）

寸法図

上面図

側面図

オプション装着時

ユニバーサルカセットユニット（LPUC2）装着時	幅 478mm ×奥行き 454*mm ×高さ 399mm * 用紙カセットを最大に伸ばすと 625mm
大容量カセットユニット（LPDC7）装着時	幅 478mm ×奥行き 454*mm ×高さ 428mm * 用紙カセットを最大に伸ばすと 625mm
ユニバーサルカセットユニット（LPUC2）2段装着時	幅 478mm ×奥行き 454*mm ×高さ 479mm * 用紙カセットを最大に伸ばすと 625mm
ユニバーサルカセットユニット（LPUC2）および 大容量カセットユニット（LPDC7）装着時	幅 478mm ×奥行き 454*mm ×高さ 507mm * 用紙カセットを最大に伸ばすと 625mm
大容量カセットユニット（LPDC7）2 段装着時	幅 478mm ×奥行き 454*mm ×高さ 536mm * プリンタ本体の用紙カセットを最大に伸ばすと 625mm
両面印刷ユニット（LPDSP4）装着時	幅 478mm ×奥行き 517mm ×高さ 320mm

索引

数字

A

C

D

E

I

J

N

O

P

R

T

U

あ

い

う

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

へ

ほ

め

も

ゆ

よ